

2019
講義要綱
SYLLABUS

北翔大学 生涯スポーツ学部 1 年次
HOKUSHO UNIVERSITY
School of lifelong sport

2019年度 北翔大学・北翔大学短期大学部 学事日程

月		火		水		木		金		土		日		備考
4 / 1		4 / 2	在学生オリエンテーション	4 / 3	入学式	4 / 4	オリエンテーション	4 / 5	オリエンテーション	4 / 6		4 / 7		教育学科養護教諭コース3年次 養護実習：4 / 8～4 / 26 こども学科2年次 教育実習：5 / 13～5 / 31
4 / 8	①	4 / 9	①	4 / 10	①	4 / 11	①	4 / 12	①	4 / 13		4 / 14		
4 / 15	②	4 / 16	②	4 / 17	②	4 / 18	②	4 / 19	②	4 / 20		4 / 21		
4 / 22	③	4 / 23	③	4 / 24	③	4 / 25	③	4 / 26	③	4 / 27		4 / 28		
4 / 29	昭和の日	4 / 30	休日	5 / 1	祝日	5 / 2	休日	5 / 3	憲法記念日	5 / 4	みどりの日	5 / 5	こどもの日	
5 / 6	振替休日④	5 / 7	④	5 / 8	④	5 / 9	④	5 / 10	④	5 / 11		5 / 12		
5 / 13	⑤	5 / 14	⑤	5 / 15	⑤	5 / 16	⑤	5 / 17	⑤	5 / 18		5 / 19		
5 / 20	⑥	5 / 21	⑥	5 / 22	⑥	5 / 23	⑥	5 / 24	⑥	5 / 25		5 / 26		
5 / 27	⑦	5 / 28	⑦	5 / 29	⑦	5 / 30	⑦	5 / 31	⑦	6 / 1		6 / 2		
6 / 3	⑧	6 / 4	⑧	6 / 5	⑧	6 / 6	⑧	6 / 7	⑧	6 / 8		6 / 9		
6 / 10	⑨	6 / 11	⑨	6 / 12	⑨	6 / 13	⑨	6 / 14	⑨	6 / 15		6 / 16		
6 / 17	⑩	6 / 18	⑩	6 / 19	⑩	6 / 20	⑩	6 / 21	⑩	6 / 22		6 / 23	健康福祉学科（介護）4年次 訪問介護実習：6 / 18～6 / 28 健康福祉学科（介護）2年次 介護基礎実習：6 / 26～28 教育学科養護教諭コース2年次 看護学臨床実習：7月～9月	
6 / 24	⑪	6 / 25	⑪	6 / 26	⑪	6 / 27	⑪	6 / 28	⑪	6 / 29		6 / 30		
7 / 1	⑫	7 / 2	⑫	7 / 3	⑫	7 / 4	⑫	7 / 5	⑫	7 / 6		7 / 7		
7 / 8	⑬	7 / 9	⑬	7 / 10	⑬	7 / 11	⑬	7 / 12	⑬	7 / 13		7 / 14		
7 / 15	海の日⑭	7 / 16	⑭	7 / 17	⑭	7 / 18	⑭	7 / 19	⑭	7 / 20		7 / 21		
7 / 22	⑮	7 / 23	⑮	7 / 24	⑮	7 / 25	⑮	7 / 26	⑮	7 / 27		7 / 28		
7 / 29	補講・試験日⑯	7 / 30	補講・試験日⑯	7 / 31	補講・試験日⑯	8 / 1	補講・試験日⑯	8 / 2	補講・試験日⑯	8 / 3		8 / 4		
8 / 5		8 / 6		8 / 7		8 / 8		8 / 9		8 / 10		8 / 11		山の日
8 / 12	振替休日	8 / 13		8 / 14		8 / 15		8 / 16		8 / 17		8 / 18		
8 / 19		8 / 20		8 / 21		8 / 22		8 / 23		8 / 24		8 / 25		
8 / 26		8 / 27		8 / 28		8 / 29		8 / 30		8 / 31		9 / 1		
9 / 2		9 / 3		9 / 4		9 / 5	創立記念日	9 / 6	5 / 6の振替休日	9 / 7		9 / 8	教育学科4年次 保育実習Ⅱ又は保育 実習Ⅲ：8 / 19～8 / 31 教育学科3年次 教育実習Ⅰ（幼・小）： 幼稚園8 / 19～9 / 6 小学校8 / 19～9 / 13	
9 / 9		9 / 10		9 / 11		9 / 12		9 / 13		9 / 14		9 / 15		
9 / 16	敬老の日	9 / 17	7 / 15の振替休日	9 / 18		9 / 19		9 / 20		9 / 21		9 / 22		
9 / 23	秋分の日	9 / 24		9 / 25		9 / 26	オリエンテーション	9 / 27	大学祭準備	9 / 28	大学祭	9 / 29		
9 / 30	① 前期学位記授与式	10 / 1	①	10 / 2	①	10 / 3	①	10 / 4	①	10 / 5		10 / 6		
10 / 7	②	10 / 8	②	10 / 9	②	10 / 10	②	10 / 11	②	10 / 12		10 / 13		
10 / 14	体育の日	10 / 15	③	10 / 16	③	10 / 17	③	10 / 18	③	10 / 19		10 / 20		
10 / 21	③	10 / 22	祝日	10 / 23	④	10 / 24	④	10 / 25	④	10 / 26		10 / 27		
10 / 28	④	10 / 29	④	10 / 30	⑤	10 / 31	⑤	11 / 1	⑤	11 / 2		11 / 3		文化の日
11 / 4	振替休日⑤	11 / 5	⑤	11 / 6	⑥	11 / 7	⑥	11 / 8	⑥	11 / 9		11 / 10		
11 / 11	⑥	11 / 12	⑥	11 / 13	⑦	11 / 14	⑦	11 / 15	⑦	11 / 16		11 / 17		
11 / 18	⑦	11 / 19	⑦	11 / 20	⑧	11 / 21	⑧	11 / 22	⑧	11 / 23	勤労感謝の日	11 / 24		
11 / 25	⑧	11 / 26	⑧	11 / 27	⑨	11 / 28	⑨	11 / 29	⑨	11 / 30		12 / 1		
12 / 2	⑨	12 / 3	⑨	12 / 4	⑩	12 / 5	⑩	12 / 6	⑩	12 / 7		12 / 8		
12 / 9	⑩	12 / 10	⑩	12 / 11	⑪	12 / 12	⑪	12 / 13	⑪	12 / 14		12 / 15		
12 / 16	⑪	12 / 17	⑪	12 / 18	⑫	12 / 19	⑫	12 / 20	⑫	12 / 21		12 / 22		
12 / 23	⑫	12 / 24	⑫	12 / 25		12 / 26		12 / 27		12 / 28		12 / 29		
12 / 30		12 / 31		1 / 1	元旦	1 / 2		1 / 3		1 / 4		1 / 5		
1 / 6	⑬	1 / 7	⑬	1 / 8	⑬	1 / 9	⑬	1 / 10	⑬	1 / 11		1 / 12		
1 / 13	成人の日	1 / 14	11 / 4の振替休日	1 / 15	⑭	1 / 16	⑭	1 / 17	⑭	1 / 18		1 / 19		
1 / 20	⑭	1 / 21	⑭	1 / 22	⑮	1 / 23	⑮	1 / 24	⑮	1 / 25		1 / 26		
1 / 27	⑮	1 / 28	⑮	1 / 29	補講・試験日⑯	1 / 30	補講・試験日⑯	1 / 31	補講・試験日⑯	2 / 1		2 / 2		
2 / 3	補講・試験日⑯	2 / 4	補講・試験日⑯	2 / 5		2 / 6		2 / 7		2 / 8		2 / 9		
2 / 10		2 / 11	建国記念の日	2 / 12		2 / 13		2 / 14		2 / 15		2 / 16		
2 / 17		2 / 18		2 / 19		2 / 20		2 / 21		2 / 22		2 / 23	（天皇誕生日）	
2 / 24	振替休日	2 / 25		2 / 26		2 / 27		2 / 28		2 / 29		3 / 1		
3 / 2		3 / 3		3 / 4		3 / 5		3 / 6		3 / 7		3 / 8		
3 / 9		3 / 10		3 / 11		3 / 12		3 / 13		3 / 14		3 / 15		
3 / 16		3 / 17		3 / 18	学位記授与式	3 / 19		3 / 20	春分の日	3 / 21		3 / 22		
3 / 23		3 / 24		3 / 25		3 / 26		3 / 27		3 / 28		3 / 29		
3 / 30		3 / 31												
教育学科3年次 保育実習Ⅰ（施設）：3 / 2～3 / 14														

講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2019年度に開講される授業科目の概要が記載されています。

授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

- ・ 授業のねらい
- ・ 到達目標
- ・ 授業計画
- ・ 準備学習の内容（事前・事後の学習）
- ・ 使用するテキスト（教科書）や、参考書
- ・ 成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
- ・ 質問への対応（連絡先など）
- ・ その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。〇〇発表会、〇〇報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（3人から6人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返し	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実にかかる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。

教 育 課 程 表

生涯スポーツ学部 全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
導入科目							
基礎教育セミナーⅠ	演習	①		担当教員	スポーツ教育学科 集中講義		1
				担当教員	健康福祉学科		2
基礎教育セミナーⅡ	演習	①		担当教員	スポーツ教育学科 集中講義		3
				担当教員	健康福祉学科		4
基礎科目							
日本語表現	講義	①		小杉直美			5
				岩本希			
				小坂守孝			
				村松幹男			
				石原深雪			
				小原信夫			
				前川公美夫			
				福田信一			
数学入門	講義	①		松澤衛			6
				佐藤克之			
				竹内雅明			
				三浦公裕			
				水野信太郎			
				菊地隆夫			
				佐々木雅史			
				西村光弘			
情報機器操作Ⅰ	演習	②		伊藤博晃	スポーツ教育学科	[ス]中・高1種(保健体育)_必修、 社会教育主事_選必	7
				槇洋一			
				大関慎	健康福祉学科	[健]社会教育主事_選必	8
情報機器操作Ⅱ	演習	②		伊藤博晃	スポーツ教育学科		9
				槇洋一			
				伊藤博晃	健康福祉学科		10
健康体育(実技を含む)	講義実技	2		畠中智志	スポーツ教育学科 集中講義(実技)		11
				永谷稔			
				浅尾秀樹			
				重成敏史			
英語コミュニケーションⅠ	演習	②		C. B. サイモンズ	スポーツ教育学科	[ス]中・高1種(保健体育)_必修	12
				ロバート ニューマン	健康福祉学科		
外国語科目							
英語コミュニケーションⅡ	演習		2	C. B. サイモンズ	スポーツ教育学科		14
				ロバート ニューマン	健康福祉学科		15

生涯スポーツ学部 全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
就業力養成科目							
キャリアデザインⅠ	講義	①		永井 秀 岳			16
				小川 美 夏			
外国人留学生科目							
日 本 語	講義	2		田 光 子			17
現 代 日 本 の 文 化	講義		2	菊 地 達 夫	集中講義		18

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 発展科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
心身・健康に関する科目群							
心 理 学 概 論	講義	2		澤 聡 一	健康福祉学科・ 心理カウンセリング学科 専門科目	[健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、 社会福祉主事_選必 [心]公認心理師_必修、精神保健福祉士_選必、 認定心理士_必修、福祉心理士_選必、 社会福祉主事_選必	19
発 達 心 理 学	講義	2		新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、 福祉心理士_選必	20
人 間 関 係 の 心 理 学	講義		2	小 坂 守 孝	心理カウンセリング学科 専門科目	[ス][健]社会教育主事_選必	21
乳 幼 児 心 理 学	講義		2	新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	22
福 祉 心 理 学	講義		2	佐 藤 至 英	心理カウンセリング学科 専門科目	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、 福祉心理士_選必	23
社会と生活に関する科目群							
社 会 学	講義	2		森 下 義 亜	心理カウンセリング学科 専門科目	[ス][教][芸]社会教育主事_選必 [心]精神保健福祉士_選必、 社会福祉主事_選必、社会教育主事_選必	24
文化と芸術に関する科目群							
音 楽 概 論	講義		2	今 井 敏 勝	教育学科(音)専門科目	[教]中・高1種(音楽)_必修	25
ファッションデザイン概論	講義	2		大信田 静 子 富 田 玲 子	芸術学科専門科目		26
インテリアデザイン	演習	2		千 里 政 文	芸術学科専門科目		27
ユニバーサルデザイン	講義		2	千 里 政 文	芸術学科専門科目	[芸]1・2級建築士_選必、 インテリアプランナー_選必	28

生涯スポーツ学部 健康福祉学科 発展科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
心身・健康に関する科目群							
発 達 心 理 学	講義	2		新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、 福祉心理士_選必	20
人 間 関 係 の 心 理 学	講義		2	小 坂 守 孝	心理カウンセリング学科 専門科目	[ス][健]社会教育主事_選必	21
乳 幼 児 心 理 学	講義		2	新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	22
福 祉 心 理 学	講義		2	佐 藤 至 英	心理カウンセリング学科 専門科目	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、 福祉心理士_選必	23
文化と芸術に関する科目群							
音 楽 概 論	講義		2	今 井 敏 勝	教育学科(音)専門科目	[教]中・高1種(音楽)_必修	25
ファッションデザイン概論	講義	2		大信田 静 子 富 田 玲 子	芸術学科専門科目		26
インテリアデザイン	演習	2		千 里 政 文	芸術学科専門科目		27
ユニバーサルデザイン	講義		2	千 里 政 文	芸術学科専門科目	[芸]1・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	28

生涯スポーツ学部 学部共通科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
生 涯 ス ポ ー ツ 学	講義	②		川 西 正 志	スポーツ教育学科	[ス]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修	29
				小坂井 留 美	健康福祉学科	[健]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修	30
生 涯 学 習 論	講義	2		谷 川 松 芳		[ス][健]社会教育主事_必修	31
栄 養 と 健 康	講義		2	黒 田 裕 太		[ス]実践指導者_必修、指導士_必修、認定トレーニング_必修、 公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修、社会教育主事_選必 [健]実践指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修、 社会教育主事_選必	32
健 康 学	講義	②		小 田 史 郎		[ス]実践指導者_必修、指導士_必修 [健]介護福祉士_選必、実践指導者_必修	33
介 護 予 防 論	講義	2		小 田 史 郎	健康福祉学科		34
				小坂井 留 美			
				吉 田 修 大			
ス ポ ー ツ 心 理 学	講義	2		吉 田 聡 美		[ス]中・高1種(保健体育)_必修、 JPSUスポーツトレーナー_必修、認定トレーニング_必修、 公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修、レク・コーディネ_必修 [健]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修	35
ス ポ ー ツ 運 動 学	講義	2		廣 田 修 平		[ス]中・高1種(保健体育)_必修	36
生 理 学	講義	2		柴 田 啓 介		[ス]中・高1種(保健体育)_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修 [健]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修	37

生涯スポーツ学部 学部共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
運 動 生 理 学	講義		2	井 出 幸二郎		[ス]中・高1種(保健体育)_必修、実践指導者_必修、指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修、認定トレーニング_必修、アスレティックトレーナー_必修、レク・コーディネ_必修	38

スポーツ教育学科 学科専門科目 コース共通科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
ス ポ ー ツ 教 育 学 概 論	講義	②		永 谷 稔		[ス]JPSUスポーツトレーナー_必修、 レク・コーディネ_必修	39
				阿 部 達 彦			
				上 田 知 行			
				菊 地 はるひ			
				小坂井 留 美			
				竹 田 唯 史			
				吉 田 真			
基 礎 解 剖 学	講義	2		高 田 真 吾	健康福祉学科同時展開	[ス]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修、実践指導者_必修、 指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修 [健]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修	40
機 能 解 剖 学	講義		2	吉 田 真		[ス]認定トレーニング_必修、アスレティックトレーナー_必修	41
ト レ ー ニ ン グ 論	講義		2	山 本 敏 美	健康福祉学科同時展開	[ス]実践指導者_必修、指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修、 認定トレーニング_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修 [健]実践指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修	42
コ ー チ 学	講義		2	大 宮 真 一	健康福祉学科同時展開	[ス]認定トレーニング_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修 [健]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修	43
				畠 中 智 志			
				竹 内 雅 明			
生涯スポーツ(水泳・水中運動)	実技	1		花 井 篤 子	選択必修科目	[ス]中・高1種(保健体育)_必修、 JPSUスポーツトレーナー_選必	44
				高屋敷 亨 子			
				中 村 恵			
				畠 山 綾 子			
生涯スポーツ(陸上競技)	実技	1		大 宮 真 一	選択必修科目 健康福祉学科同時展開	[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必	45
				重 成 敏 史			
				品 田 吉 博			
				松 橋 昌 巳			
生涯スポーツ(器械運動)	実技		1	川 端 茂 夫	選択必修科目	[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必	46
生涯スポーツ(エアロビック)	実技	1		是 枝 亮	選択必修科目 健康福祉学科同時展開	[ス]実践指導者_必修、JPSUスポーツトレーナー_選必、 エアロビック指導員_必修 [健]実践指導者_必修、エアロビック指導員_必修	47
生涯スポーツ(バドミントン)	実技	1		竹 内 雅 明	選択必修科目	[ス]中・高1種(保健体育)_選択、 JPSUスポーツトレーナー_選必	48
				北 村 優 明			

スポーツ教育学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
生涯スポーツ(バレーボール)	実技		1	永 谷 稔	選択必修科目	[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必	49
			工 藤 憲	健康福祉学科同時展開			
生涯スポーツ(バスケットボール)	実技		1	畝 中 智 志	選択必修科目	[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必	50
			横 山 茜 理				
冬季スポーツボランティア実習	実習		2	石 井 由 依	集中講義		51
			竹 田 唯 史				

スポーツ教育学科 学科専門科目 スポーツ教育コース専門科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
特 別 支 援 教 育 総 論	講義		2	瀧 澤 聡	教育学科同時展開	[ス][教]特支1種_必修	52
			阿 部 達 彦				
			佐 藤 至 英				
			石 川 大				
			石 塚 誠 之				
			磯 貝 隆 之				

スポーツ教育学科 学科専門科目 スポーツトレーナーコース専門科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
アスレティックトレーナー概論	講義		②	吉 田 真		[ス]アスレティックトレーナー_必修	53

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 教科及び教職に関する科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
教 育 原 理 講義		②	堂 徳 将 人		[ス]中・高1種(保健体育)_必修	55	
教 職 概 論 講義		②	西 村 貴 之		[ス]中・高1種(保健体育)_必修	56	
教 育 心 理 学 講義		②	新 川 広 樹		[ス]中・高1種(保健体育)_必修	57	

健康福祉学科 学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
健 康 福 祉 学 概 論	講義	②		小 田 史 郎			59
				本 間 美 幸			
				吉 田 修 大			
健 康 運 動 実 践 論	講義		2	小 田 史 郎		[健]実践指導者_必修	60
			新開谷 深				
コ ー チ 学	講義		2	大 宮 真 一	スポーツ教育学科同時展開	[健]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修 [ス]認定トレーニング_必修、 公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修	61
				畠 中 智 志			
				竹 内 雅 明			
基 礎 解 剖 学	講義	2		高 田 真 吾	スポーツ教育学科同時展開	[健]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修 [ス]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修、 実践指導者_必修、指導士_必修、 JPSUスポーツトレーナー_必修	62
ト レ ー ニ ン グ 論	講義		2	山 本 敏 美	スポーツ教育学科同時展開	[健]実践指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修 [ス]実践指導者_必修、指導士_必修、 JPSUスポーツトレーナー_必修、認定トレーニング_必修、 公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修	63
レジャー・レクリエーション論	講義		2	坂 谷 充	スポーツ教育学科同時展開	[健]レク・インスト_必修 [ス]レク・インスト_必修、レク・コーディネ_必修	64
生涯スポーツ(陸上競技)	実技	1		大 宮 真 一	スポーツ教育学科同時展開	[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必	65
				重 成 敏 史			
				品 田 吉 博			
				松 橋 昌 巳			
生涯スポーツ(バレーボール)	実技		1	永 谷 稔	スポーツ教育学科同時展開	[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必	66
生涯スポーツ(エアロビック)	実技	1		是 枝 亮	スポーツ教育学科同時展開	[健]実践指導者_必修、エアロビック指導員_必修 [ス]実践指導者_必修、JPSUスポーツトレーナー_選必、 エアロビック指導員_必修	67
精 神 保 健	講義	2		杉 岡 品 子		[健]介護福祉士_必修	68
生 活 の 中 の 介 護 福 祉	講義	2		福 島 義 典		[健]介護福祉士_必修	69

健康福祉学科 学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
介護予防実践演習	演習		2	小 田 史 郎	集中講義		70
				阿 部 豊			
				岩 本 希			
				尾 形 良 子			
				梶 晴 美			
				黒 澤 直 子			
				小坂井 留 美			
				佐 藤 郁 子			
				佐 藤 克 之			
				杉 岡 品 子			
				本 間 美 幸			
				八 巻 貴 穂			
				吉 田 修 大			
医 学 概 論	講義	2		大宮司 信		[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、 社会福祉主事_選必	71
医 学 知 識	講義		2	大宮司 信	心理カウンセリング学科 同時展開	[健]介護福祉士_必修	72
社 会 学	講義	2		松 下 守 邦		[健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、 社会福祉主事_選必、社会教育主事_選必	73
心 理 学 概 論	講義	2		澤 聡 一	発展科目 心理カウンセリング学科 同時展開	[健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、 社会福祉主事_選必 [心]公認心理師_必修、精神保健福祉士_選必、 認定心理士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必	74
ソーシャルワーク概説Ⅰ	講義	②		岩 本 希	心理カウンセリング学科 同時展開	[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、 社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、 社会福祉主事_選必	75
ソーシャルワーク概説Ⅱ	講義		2	岩 本 希	心理カウンセリング学科 同時展開	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、 社会福祉主事_選必	76
ソーシャルワーク論Ⅰ	講義		2	尾 形 良 子		[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修	77
高 齢 者 福 祉 論 Ⅰ	講義		2	吉 田 修 大	介護福祉士養成課程以外	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	78
				若 狹 重 克	介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	79
児 童 ・ 家 庭 福 祉 論	講義	2		小 松 留美子		[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	80
生 活 生 理 学	講義		2	長 屋 智 美		[健]介護福祉士_必修	81
介 護 概 論 Ⅰ	講義		2	本 間 美 幸	介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修、社会福祉主事_選必	82
介 護 技 術 演 習 Ⅰ	演習		1	藤 原 素 子	介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修	83

全学共通科目

科目名		基礎教育セミナーⅠ			授業形態	演習	単位数	1
教員名		スポーツ教育学科担当教員						
授業の目的	ねらい	本講義では大学での講義をより効果的に受けていくために、基本的な講義受講のポイントや文章の書き方、あるいは図書検索・レポートの書き方や環境学習の基礎知識を学ぶ。講義は10名程度の少人数での展開とクラスごとの展開で構成され、入学後4年間の学習に活かせる学芸技能の習得を目指す。また、教育の理念、建学の精神を理解することを目的とする。						
	到達目標	(1)講義の受講の仕方を身に付ける。 (2)文章の書き方を身に付ける。 (3)図書検索・レポートの書き方を身に付ける。 (4)教員の専門分野について知る。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の展開を説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。					A	
	第2回	【テーマ】ノートの取り方 【計画内容】ノートの取り方の基礎を理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A、K	
	第3回	【テーマ】メンタルヘルス 【計画内容】心理カウンセラーの講話を通して、健康やメンタルヘルスの重要性を理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A、G、K	
	第4回	【テーマ】大学で学ぶこと 【計画内容】学長講話を通して、大学で学ぶことの意義と姿勢を理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A、G	
	第5回	【テーマ】文章の書き方 【計画内容】文章の書き方・手紙の書き方の基礎を理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A、K	
	第6回	【テーマ】図書館オリエンテーション 【計画内容】本学図書館の施設を理解したうえで、図書検索の方法を学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A	
	第7回	【テーマ】文章の書き方・手紙添削 【計画内容】前の週までに作成した高校への手紙を確認しながら、必要に応じて添削する。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A、K	
	第8回	【テーマ】ノートの取り方・レポートの書き方 【計画内容】ノートの取り方・レポートの書き方について練習を行う。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A、K	
	第9回	【テーマ】レポートの書き方 【計画内容】レポートの書き方について学習する。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A、K	
	第10回	【テーマ】学部・学科教員の専門分野に関するブリーフィング1 【計画内容】担当教員の専門分野について学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A、G	
	第11回	【テーマ】学部・学科教員の専門分野に関するブリーフィング2 【計画内容】担当教員の専門分野について学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A、G	
	第12回	【テーマ】学部・学科教員の専門分野に関するブリーフィング3 【計画内容】担当教員の専門分野について学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A、G	
	第13回	【テーマ】学部・学科教員の専門分野に関するブリーフィング4 【計画内容】担当教員の専門分野について学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A、G	
	第14回	【テーマ】学部・学科教員の専門分野に関するブリーフィング5 【計画内容】担当教員の専門分野について学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A、G	
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】前学期の振り返りを行い、理解度を確認する。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					F、L	
テキスト		大学での学び方、2013年、『大学生・短大生のための大学での学び方』、旺文社						
参考書		テキスト及びプリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			20%		60%	20%	
	補足			平時		平時	学力到達度	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資格								
その他		「基礎学力向上」に関する評価を実施し、担当より返却します。						

科目名		基礎教育セミナーⅠ				授業形態	演習	単位数	1
教員名		健康福祉学科担当教員							
授業の目的	ねらい	本講義では、本学の教育理念、建学の精神を理解し、大学での講義をより効果的に受けるために必要な情報検索、ノートテイキング、リーディング等の基礎知識を習得する。また、大学生活に必要な基本的なマナー(姿勢、態度、言葉遣い)を身につける。さらに、地域貢献の前提となる基礎知識を学び、実践する準備を行う。							
	到達目標	(1)講義の受講の仕方を身につける。 (2)文章の読解力を身につける。 (3)図書検索・情報検索の方法を身につける。 (4)人と接する際の基本的なマナーを身につける。 (5)地域貢献活動のため地域への理解を進め、コミュニケーションや活動スキルの基礎を身につける。							
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の展開を説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。						A	
	第2回	【テーマ】大学で学ぶということ 【計画内容】学長講話を通して、大学で学ぶことの意義と姿勢を理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。						A	
	第3回	【テーマ】図書館利用(ガイダンス) 【計画内容】図書館ガイダンスにより、図書館の活用方法について学ぶ。 【準備学習の内容】指定した内容に取り組むこと。						A、B	
	第4回	【テーマ】メンタルヘルス講演会 【計画内容】学生相談室心理カウンセラーの講話を通して、メンタルヘルスについて学び、その重要性を理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。						A	
	第5回	【テーマ】文章表現の基礎(母校への手紙①) 【計画内容】出身高校への大学入学後の近況報告の手紙を送付することを通して、目上の方などに送る、基本的な手紙の文章構成と書き方を知る。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。						A、B	
	第6回	【テーマ】演習(母校への手紙②) 【計画内容】各自がワープロで作成した出身高校への手紙の添削を受け、手紙の書き方を学び、文章表現力を向上させる。 【準備学習の内容】手紙を書いて用意する。						B	
	第7回	【テーマ】ノートの取り方 【計画内容】ノートを取ることの意味、ノートテイクの基本、効果的なノートテイクの技法を学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。						A、K	
	第8回	【テーマ】文献・情報検索(情報リテラシー) 【計画内容】図書館ガイダンスで学んだことを生かし実際に自分の関心あるキーワードで文献検索を行い、図書館でその文献を借りるまでを、体験を通して学ぶ。 【準備学習の内容】図書館ガイダンスで学んだことを復習してくる。						B	
	第9回	【テーマ】テキストの読み方 【計画内容】効率良く文章を読む方法を学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。						A、B	
	第10回	【テーマ】レポートの書き方 【計画内容】レポートの作成方法を通して文章の書き方を学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当章を読んでおくこと。						A、B	
	第11回	【テーマ】キャリア教育① 【計画内容】プレゼンテーションなど話すときの基本的なマナー(姿勢、態度、言葉遣い)を学ぶ。 【準備学習の内容】マナーについて調べてくる。						A、B	
	第12回	【テーマ】地域貢献1-地域食堂・子ども食堂オリエンテーション 【計画内容】地域貢献の一環として実施している地域食堂・子ども食堂に運営として参加するためのオリエンテーションを行う。 【準備学習の内容】地域食堂・子ども食堂について調べておく。						A	
	第13回	【テーマ】地域貢献2-地域食堂・子ども食堂 事前準備 【計画内容】地域食堂・子ども食堂に参加するために必要な、基本的な調理や喫茶の知識および技術を学ぶ。 【準備学習の内容】前回のオリエンテーションの内容を復習をしてくる。						A、D	
	第14回	【テーマ】地域貢献3-地域食堂・子ども食堂 事前準備2 【計画内容】地域食堂・子ども食堂に参加するために必要な、基本的な調理や喫茶の知識および技術を学ぶ。 【準備学習の内容】前回のオリエンテーションの内容を復習をしてくる。						A、D	
	第15回	【テーマ】前学期の振り返りとまとめ 【計画内容】前学期の振り返りを行い、理解度を確認する。 【準備学習の内容】前学期の学びを振り返り復習しておくこと。						L	
テキスト		長尾佳代子、谷川裕穂、中園篤典、2013年、『大学生・短大生のための大学での学び方』、旺文社							
参考書		プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分 補足			40%		60%			
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。							
資格									
その他		4～5回 常識力を確認します。							

科 目 名		基礎教育セミナーⅡ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		スポーツ教育学科担当教員						
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では「基礎教育セミナーⅠ」で習得した内容の向上を目指す。また、2年次以降の学習に向けて、本学部・学科についての知識や理解度も深めていくとともに、レポート作成における適切な日本語表現を習得することを目指す。						
	到達目標	(1)「基礎教育セミナーⅠ」で習得した内容を向上させる。 (2)レポート作成のための適切な日本語表現を身に着ける。 (3)2年次以降の学習の方向性を明確にする。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の展開を説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】レポートの書き方1 【計画内容】レポート作成における適切な日本語表現について学ぶ。 【準備学習の内容】配付されたプリントを予習しておくこと。						A、K
	第3回	【テーマ】防犯講話 【計画内容】SNSなどを対象とした防犯の方法について学ぶ。 【準備学習の内容】配付されたプリントを予習しておくこと。						A、G
	第4回	【テーマ】キャリア講話 【計画内容】就職活動に必要なコミュニケーションの技術を学ぶ。 【準備学習の内容】配付されたプリントを予習しておくこと。						A、G
	第5回	【テーマ】レポートの書き方2 【計画内容】レポート作成における適切な日本語表現について学ぶ。 【準備学習の内容】配付されたプリントを予習しておくこと。						A、K
	第6回	【テーマ】レポートの書き方3 【計画内容】レポート作成における適切な日本語表現について学ぶ。 【準備学習の内容】配付されたプリントを予習しておくこと。						A、K
	第7回	【テーマ】先輩に学ぶ1 【計画内容】教員採用試験に向けた4年間の大学生生活の過ごし方を学ぶ。 【準備学習の内容】配付されたプリントを予習しておくこと。						A、G
	第8回	【テーマ】先輩に学ぶ2 【計画内容】スポーツ系職業への就職に向けた4年間の大学生生活の過ごし方を学ぶ。 【準備学習の内容】配付されたプリントを予習しておくこと。						A、G
	第9回	【テーマ】G Tとの面談 【計画内容】各G Tとの面談を通じて大学生生活の満足度や課題について考える。 【準備学習の内容】配付されたプリントを予習しておくこと。						A、H
	第10回	【テーマ】レポートの書き方4 【計画内容】レポート作成における適切な日本語表現について学ぶ。 【準備学習の内容】配付されたプリントを予習しておくこと。						A、K
	第11回	【テーマ】レポートの書き方5 【計画内容】レポート作成における適切な日本語表現について学ぶ。 【準備学習の内容】配付されたプリントを予習しておくこと。						A、K
	第12回	【テーマ】レポートの書き方6 【計画内容】レポート作成における適切な日本語表現について学ぶ。 【準備学習の内容】配付されたプリントを予習しておくこと。						A、K
	第13回	【テーマ】レポートの書き方7 【計画内容】レポート作成における適切な日本語表現について学ぶ。 【準備学習の内容】配付されたプリントを予習しておくこと。						A、K
	第14回	【テーマ】レポートの書き方8 【計画内容】レポート作成における適切な日本語表現について学ぶ。 【準備学習の内容】配付されたプリントを予習しておくこと。						A、K
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】後学期の振り返りを行い、理解度を確認する。 【準備学習の内容】基礎学力向上テストならびに後学期全体の振り返りをしていくこと。						L
テキスト		大学での学び方、2013年、『大学生・短大生のための大学での学び方』、旺文社						
参 考 書		テキスト及びプリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			20%		60%	20%	
	補足			平時		平時	学力到達度	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他		「基礎学力向上」に関する評価を実施し、担当より返却します。						

科 目 名		基礎教育セミナーⅡ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		健康福祉学科担当教員						
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、大学での講義で必要なライティングの基礎を習得する。また、福祉教養としてボランティアについて基礎を学び、実践につながる力を養う。さらに健康福祉学科の特徴である地域貢献事業を実践し、回を重ねるごとに地域住民との双方向性のコミュニケーションのあり方を身につけ、人生の先輩からさまざまなことを学びながら、自らも役立つという経験を深めていく。						
	到達目標	(1)基本的なレポート作成方法を身につける。 (2)福祉教養としてのボランティアについて理解し、実践力を身につける。 (3)地域住民と円滑なコミュニケーションができるようになる。 (4)さまざまな地域住民から成り立っている地域社会のあり方を理解する。 (5)他者への配慮や大学生という特性を生かした活動を経験する。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の展開を説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。					A	
	第2回	【テーマ】キャリア教育②(ビジネスマナー) 【計画内容】人と接する際の基本的なマナー(姿勢、態度、言葉遣い)を学ぶ。 【準備学習の内容】マナーについて調べてくる。					A、B	
	第3回	【テーマ】ライティング1 【計画内容】事実と意見を区別する書き方を学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A、B	
	第4回	【テーマ】ライティング2 【計画内容】問題提起をするための文章表現を学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A、B	
	第5回	【テーマ】ライティング3 【計画内容】レポートの構成方法を学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A、B	
	第6回	【テーマ】福祉教養1 【計画内容】外部講師を招き、ボランティアについて、ボランティアの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】ボランティアについて調べてくる。					A	
	第7回	【テーマ】プレゼンテーションの方法 【計画内容】卒業研究報告会に参加し、プレゼンテーション方法について理解を深める。 【準備学習の内容】指定したテキストを読んでおくこと。					A、K	
	第8回	【テーマ】地域貢献4-地域食堂・子ども食堂 事前説明 【計画内容】地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加するための事前説明を行う。 【準備学習の内容】説明内容を復習し実践に備える。					A	
	第9回	【テーマ】地域貢献5-地域食堂・子ども食堂参加1 【計画内容】地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民との交流する。 【準備学習の内容】事前説明の内容を復習し実践に備える。					M	
	第10回	【テーマ】地域貢献6-地域食堂・子ども食堂参加2 【計画内容】地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民との交流する。 【準備学習の内容】事前説明の内容を復習し実践に備える。					M	
	第11回	【テーマ】地域貢献7-地域食堂・子ども食堂参加3 【計画内容】地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民との交流を通して住民のニーズを知る。 【準備学習の内容】事前説明の内容を復習し実践に備える。					M	
	第12回	【テーマ】地域貢献8-地域食堂・子ども食堂参加4 【計画内容】地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民との交流を通して住民のニーズを知る。 【準備学習の内容】事前説明の内容を復習し実践に備える。					M	
	第13回	【テーマ】地域貢献9-地域食堂・子ども食堂参加5 【計画内容】地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民との交流を通して地域の課題を考える。 【準備学習の内容】事前説明の内容を復習し実践に備える。					M	
	第14回	【テーマ】地域貢献10-地域食堂・子ども食堂参加6 【計画内容】地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民との交流を通して地域の課題を考える。 【準備学習の内容】事前説明の内容を復習し実践に備える。					M	
	第15回	【テーマ】後学期の振り返りとまとめ 【計画内容】後学期の振り返りを行い、理解度を確認する。 【準備学習の内容】後学期の振り返りを行っておくこと。					L	
テキスト		長尾佳代子、谷川裕穂、中國篤典、2013年、『大学生・短大生のための大学での学び方』、旺文社						
参考書		プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			40%		60%		
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資格								
その他		4～5回 常識力を確認します。						

科 目 名	日本語表現				授業形態	講義	単 位 数	1
教 員 名	小杉 直美、岩本 希、小坂 守孝、村松 幹男、石原 深雪、小原 信夫、前川 公美夫、福田 信一							
授 業 の 目 的	ねらい	日本語による表現能力の向上と、基本的知識の修得を目的とします。その表記方法(文字・語彙・文法・文体等)を学習し、文章の種類・形態と文章を書くときの要領について学習します。 伝えることの大切さを意識すると同時に、日本語の各分野における能力を向上させることを目的としています。各自が持つ日本語表現能力を向上させ、効果的で円滑なコミュニケーションを図ることができるように、基礎的な力を付けることを目的としています。						
	到達目標	(1)自らの日本語の能力を知り、言葉の大切さを意識することができる。 (2)自らの日本語表現能力を高めることができる。 (3)必要な情報を読み取り、適切に伝えることができる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】書き言葉を使いこなすために 【計画内容】レポートや報告書を作成するための基本的なスキルとして書き言葉のルールを確認します。(岩本希) 【準備学習の内容】テキスト第1章「書き言葉を使いこなすために」部分を予習しておくこと。						A、G、H
	第2回	【テーマ】筆順について 【計画内容】筆順の考え方を、「筆順指導の手びき」に基づきながら、二つの大原則と、八つの原則に分類して学びます。(福田信一) 【準備学習の内容】テキスト第2章「筆順について」部分を予習しておくこと。						A、G、H
	第3回	【テーマ】四字熟語・慣用句 【計画内容】社会人の常識として必須であり、就職試験(SPI-Ⅱなど)にも出題頻度の高い、四字熟語・慣用句の知識を確認し、理解不足を補う機会とします。(小坂守孝) 【準備学習の内容】テキスト第3章「四字熟語・慣用句」部分を予習しておくこと。						A、G、H
	第4回	【テーマ】変わる言葉 【計画内容】「日本語が時とともに変わっていく」ということに焦点をあて、そのことを意識したコミュニケーションの重要性を学びます。(村松幹男) 【準備学習の内容】テキスト第4章「変わる言葉」部分を予習しておくこと。						A、G、H
	第5回	【テーマ】敬意表現 【計画内容】日本語特有の敬意表現について、自己表現、他者との関わりを考慮した表現という視点から、日常生活に即した学びをします。(小杉直美) 【準備学習の内容】テキスト第5章「敬意表現」部分を予習しておくこと。						A、G、H
	第6回	【テーマ】日本語表現の歴史と特徴 【計画内容】日本語がどのようにして生まれ現在にいたるのかを、日本語の表現の特徴に触れながら学びます。(小原信夫) 【準備学習の内容】テキスト第6章「日本語表現の歴史と特徴」部分を予習しておくこと。						A、G、H
	第7回	【テーマ】レポートに適した内容と構成 【計画内容】意見と感想の違いを確認し、レポートに適した構成について学びます。(石原深雪) 【準備学習の内容】テキスト第7章「レポートに適した内容と構成」部分を予習しておくこと。						A、G、H
	第8回	【テーマ】正しく伝える 【計画内容】考えを相手に正しく伝えるには「自分の文章を他人の目になって読む」ことが必要です。新聞記事などを例に「文章作りのポイント」を学びます。(前川公美夫) 【準備学習の内容】テキスト第8章「正しく伝える」部分に目を通しておくこと。						A、G、H
テキスト	テキストを入学時に配付します							
参 考 書	講義時に指示します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分					40%	60%	
	補足					演習等取組意欲	理解度の確認	
質問への対応	講義時とともに、メールでも質問を受け付けます。 E-Mail:nihongo@hokusho-u.ac.jp							
資 格								
そ の 他	大学生活を送る上で必要な日本語表現を基本から学ぶ機会です。積極的に取り組んでください。 毎週、理解度確認などにより評価を行います。 補講は致しませんが、理解度に不足があると認められた学生には、12週目に特別な試験を行います。 3回欠席した場合は単位の認定はされませんので、注意してください。 クラスによってテーマの順番が変わりますので、初回講義には必ず出席すること。							

科 目 名		数学入門		授業形態	講義	単 位 数	1
教 員 名		松澤 衛、佐藤 克之、竹内 雅明、三浦 公裕、水野 信太郎、菊池 隆夫、佐々木 雅史、西村 光弘					
授 業 の 目 的	ねらい	現代社会のように高度に発達した情報化社会では、物事を論理的に考える力が求められております。数学は、論理的な思考能力を養うとてもよい学習です。 「数学入門」では数学教材を題材に、多様な見方・考え方、就業力に必要な数学の基礎を学びます。					
	到達目標	(1)物事を論理的に考えることができる。 (2)数学の面白さと楽しさを感じることができる。 (3)就業力に必要な数学の基礎が理解できる。					
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】 数とは?情報の仕組みを通して数を理解しよう! 【計画内容】 人間が都合よく作り出してきた数、その数の仕組みを理解して、この情報化社会を乗り切るための基本的な考えを学びます。(松澤衛) 【準備学習の内容】 テキスト第1章「数とは?情報の仕組みを通して数を理解しよう!」を読み、頭の中を柔らかくしておくこと。					A、H
	第2回	【テーマ】 点と線と面(図形の基本) 【計画内容】 サザエさんの住まいを題材に、長さと面積を考えます。その中で、次元の概念と次元を変えることで見えることについて解説します。 各自が簡易製図板を使用して、自ら線を写す(トレース)作業を行いながら、長さ、面積を理解して量(たたみ)、間取り、建物等、小さな寸法(スケール)で書かれている図形から実際の空間を把握し、数値と次元の重要性を学びます。(佐藤克之) 【準備学習の内容】 テキスト第2章「点と線と面 (図形の基本)」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。					A、J
	第3回	【テーマ】 身のまわりの「速さ・時間・距離」を「はじき公式」で理解しよう 【計画内容】 「速さ・時間・距離」を身近な事例を通して理解し、「はじき公式」の適用問題を教材に就業力数学への基礎的・基本的なスキルを学びます。(菊池隆夫) 【準備学習の内容】 テキスト第3章「身のまわりの「速さ・時間・距離」を「はじき公式」で理解しよう」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。					A
	第4回	【テーマ】 身のまわりのプロポーショナル(比率) 【計画内容】 比例・比率、平方根、A3ならびにB5などの意味を学びます。(水野信太郎) 【準備学習の内容】 テキスト第4章「身のまわりのプロポーショナル(比率)」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。					A、H
	第5回	【テーマ】 順列・組合せの意味理解とその活用 【計画内容】 身近にある具体的な事柄を素材に、起こりうる場合を順序よく整理して調べる活動を通して、公式の意味を理解しその活用の仕方を学びます。(三浦公裕) 【準備学習の内容】 テキスト第5章「順列・組合せの意味理解とその活用」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。					A
	第6回	【テーマ】 金利の基礎知識と計算方法を通じて数的なセンスを身につける 【計画内容】 金利のしくみ、基本概念について学びます。(単利・複利、カードでの購入と支払い、分割払いとリボ計算など。)(竹内雅明) 【準備学習の内容】 テキスト第6章「金利の基礎知識と計算方法を通じて数的なセンスを身につける」を読み、クレジットカード等について調べておくこと。					A
	第7回	【テーマ】 相手とリズムミカルな変わり方をする数量調べ! 【計画内容】 規則的でリズムミカルなきまりを示しながら数が並んでいたり、不思議な順序や変化をして表れたりする数の変わり方を調べて、関数的な見方・考え方、活用の仕方に触れてみます。(西村光弘) 【準備学習の内容】 テキスト第7章「相手とリズムミカルな変わり方をする数量調べ!」を読み、数量の規則的な変化に関心をもち、疑問点などを明らかにしておくこと。					A
	第8回	【テーマ】 日常生活で役に立つ “集合” 【計画内容】 事象を分類整理する活動や典型問題の解決を通して、集合の考えのよさとその活用の仕方を学びます。(佐々木雅史) 【準備学習の内容】 テキスト第8章「日常生活で役に立つ “集合”」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。					A
テキスト		テキストを配付します					
参 考 書		講義時に指示します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分 補 足			60%		40%	
質問への対応		講義時とともに、メールでも質問を受け付けます。E-Mail:suugaku@hokusho-u.ac.jp					
資 格							
そ の 他		これからの時代を生き抜くために必要な数学を基本から学ぶ機会です。積極的に取り組んでください。 毎回、理解度の確認などにより評価を行います。 8回の授業です。3回欠席した場合は単位の認定はされませんので、注意してください。 クラスによってテーマの順番が変わりますので初回講義には必ず出席すること。 第4章「身のまわりのプロポーショナル(比率)」を受講する際は、定規とコンパスを持参すること。					

科目名	情報機器操作Ⅰ			授業形態	演習	単位数	2
教員名	伊藤 博晃、横 洋一						
授業の目的	ねらい	情報処理の基本を理解するとともに、日本語文書処理ソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアを使い、実際にパーソナルコンピュータの活用を通じて、日本語文書処理の技能の基本とプレゼンテーション用資料作成の基礎を学びます。情報モラルの必要性について学びます。					
	到達目標	(1)日本語文書作成の基本的な知識・技術が理解できる。 (2)通信文書の基本形式と構成要素について習得し、これからの学習や生活の場面でパソコンを活用できる。 (3)プレゼンテーション用資料作成の基礎的な知識・技術が理解できる。 (4)情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的な活用の仕方がわかる。 (5)情報社会における情報モラルの必要性や情報に対する責任について考える態度を養うことができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーションとWindowsの基本操作 【計画内容】講義計画と受講心得について理解し、パソコンの基本操作・利用心得・情報モラルについて基礎的な学習をします。 【準備学習の内容】シラバス内容を熟読しておくこと。					B、L
	第2回	【テーマ】日本語文書処理の基本1 【計画内容】キーボード操作とタッチタイピングについて確認を行い、日本語の処理操作について学習します。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第3回	【テーマ】日本語文書処理の基本2 【計画内容】文章の入力方法と複写・削除・移動の操作について学習します。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第4回	【テーマ】日本語文書処理の基本3 【計画内容】一般的な通信文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第5回	【テーマ】日本語文書処理の基本4 【計画内容】一般的な通信文書の作成を行い、編集機能の基本的操作を身につけます。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第6回	【テーマ】日本語文書処理の応用1 【計画内容】一般的な文書における表の作成方法、編集の操作について学習します。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第7回	【テーマ】日本語文書処理の応用2 【計画内容】一般的な文書について段組みなどの編集方法について理解し、ページ編集の操作について学習します。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。					B、L
	第8回	【テーマ】日本語文書処理の応用3 【計画内容】ビジュアルを重視した文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第9回	【テーマ】日本語文書処理の応用4 【計画内容】応用的な通信文書の基本的な作成について学習し、印刷の操作について理解します。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。					B、L
	第10回	【テーマ】日本語文書処理のまとめ 【計画内容】基本的な操作方法や文書作成について復習し、理解度確認を行い、理解を補います。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第11回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成1 【計画内容】プレゼンテーションの基本について学習し、スライドの作成方法について学習します。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第12回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成2 【計画内容】スライドの基本的な編集方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第13回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成3 【計画内容】外部データの挿入について理解し、アニメーションの設定等技法について学習します。 【準備学習の内容】講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第14回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成4 【計画内容】課題を設定して情報収集を行い、情報を基にしたスライド作成の実習をします。 【準備学習の内容】次の課題作成に向けて、情報収集を充分に行っておくこと。					B、L
	第15回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成5 【計画内容】課題設定したスライド作成の実習を行い、相互に発表します。 【準備学習の内容】スライド作成を完成させて、発表を前提とした練習を行うこと。					B、F、L
テキスト	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します						
参考書	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		25%	25%		25%	25%
	補足		情報モラル・PC基礎 演習課題・レポート等			演習への取組意欲	筆記・実技を含む
質問への対応	初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。						
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修、社会教育主事_選必						
その他	毎時の出席を原則とします。講義計画及び展開方法等を変更する場合があります。初回講義時に全体の流れと受講心得等を説明します。最終確認テストについては、第16回に機会を設定する等、講義時に説明します。						

科 目 名		情報機器操作Ⅰ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		大関 慎						
授 業 の 目 的	ねらい	情報処理の基本を理解するとともに、日本語文書処理ソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアを使い、実際にパーソナルコンピュータの活用を通じて、日本語文書処理の技能の基本とプレゼンテーション用資料作成の基礎を学びます。情報モラルの必要性について学びます。						
	到達目標	(1)日本語文書作成の基本的な知識・技術が理解できる。 (2)通信文書の基本形式と構成要素について習得し、これからの学習や生活の場面でパソコンを活用できる。 (3)プレゼンテーション用資料作成の基礎的な知識・技術が理解できる。 (4)情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的な活用の仕方がわかる。 (5)情報社会における情報モラルの必要性や情報に対する責任について考える態度を養うことができる。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】 オリエンテーションとWindowsの基本操作 【計画内容】 講義計画と受講心得について理解し、パソコンの基本操作・利用心得・情報モラルについて基礎的な学習をします。 【準備学習の内容】 シラバス内容を熟読しておくこと。					B、L	
	第2回	【テーマ】 日本語文書処理の基本1 【計画内容】 キーボード操作とタッチタイピングについて確認を行い、日本語の処理操作について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L	
	第3回	【テーマ】 日本語文書処理の基本2 【計画内容】 文章の入力方法と複写・削除・移動の操作について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L	
	第4回	【テーマ】 日本語文書処理の基本3 【計画内容】 一般的な通信文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L	
	第5回	【テーマ】 日本語文書処理の基本4 【計画内容】 一般的な通信文書の作成を行い、編集機能の基本的操作を身につけます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L	
	第6回	【テーマ】 日本語文書処理の応用1 【計画内容】 一般的な文書における表の作成方法、編集の操作について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L	
	第7回	【テーマ】 日本語文書処理の応用2 【計画内容】 一般的な文書について段組みなどの編集方法について理解し、ページ編集の操作について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。					B、L	
	第8回	【テーマ】 日本語文書処理の応用3 【計画内容】 ビジュアルを重視した文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L	
	第9回	【テーマ】 日本語文書処理の応用4 【計画内容】 応用的な通信文書の基本的な作成について学習し、印刷の操作について理解します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。					B、L	
	第10回	【テーマ】 日本語文書処理のまとめ 【計画内容】 基本的な操作方法や文書作成について復習し、理解度確認を行い、理解を補います。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L	
	第11回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成1 【計画内容】 プレゼンテーションの基本について学習し、スライドの作成方法について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L	
	第12回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成2 【計画内容】 スライドの基本的な編集方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L	
	第13回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成3 【計画内容】 外部データの挿入について理解し、アニメーションの設定等技法について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L	
	第14回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成4 【計画内容】 課題を設定して情報収集を行い、情報を基にしたスライド作成の実習をします。 【準備学習の内容】 次回の課題作成に向けて、情報収集を充分に行っておくこと。					B、L	
	第15回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成5 【計画内容】 課題設定したスライド作成の実習を行い、相互に発表します。 【準備学習の内容】 スライド作成を完成させて、発表を前提とした練習を行うこと。					B、F、L	
テ キ ス ト		講義時に資料またはサンプルファイルを配付します						
参 考 書		講義時に資料またはサンプルファイルを配付します						
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分		25%	25%		25%	25%	
補 足			情報モラル・PC基礎 演習課題・レポート等			演習への取組意欲	筆記・実技を含む	
質問への対応		初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。						
資 格		[健]社会教育主事_選必						
そ の 他		毎時の出席を原則とします。講義計画及び展開方法等を変更する場合があります。初回講義時に全体の流れと受講心得等を説明します。最終確認テストについては、第16回に機会を設定する等、講義時に説明します。						

科目名		情報機器操作Ⅱ			授業形態	演習	単位数	2
教員名		伊藤 博晃、横 洋一						
授 業 の 目 的	ねらい	情報処理の基本を踏まえて、パーソナルコンピュータを活用し、アプリケーションソフトを使い、情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的・応用的な活用の仕方を学びます。また、文書の作成、データの活用、プレゼンテーション等の教育の場面での活用について知識を深めます。加えて、情報モラルについても考察を深めます。						
	到達目標	(1)ICT活用能力(リテラシー)を向上させ、実際に活用できる。 (2)データ処理の基本的な知識・技術が理解できる。 (3)情報モラルについて考えを深めることができる。 (4)基本的なマルチメディアを扱うことができる。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】オリエンテーションとネットワーク上の情報ならびに情報モラルについて 【計画内容】講義計画と受講心得について理解し、テーマについて、概念として理解を深めて、実社会、教育現場等での必要性について、考察を開始します。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。						B
	第2回	【テーマ】データ活用をすること 【計画内容】データについて基本的な概念を理解するとともに、活用の意図や目的を理解し、データ処理について考察をします。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。						B、L
	第3回	【テーマ】データを活用すること 基礎1 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を目的にして、その基本的操作方法について理解を深めます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。						B、L
	第4回	【テーマ】データを活用すること 基礎2 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を伴うデータの処理方法について、理解を深めます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。						B、L
	第5回	【テーマ】データを活用すること 基礎3 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。						B、L
	第6回	【テーマ】データを活用すること 応用1 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題について、深く取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。理解の進んでいない関数について十分に復習しておくこと。						B、L
	第7回	【テーマ】データを活用すること 応用2 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。						B、L
	第8回	【テーマ】データを活用すること 応用3 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、応用的な課題に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。						B、L
	第9回	【テーマ】データベースの活用 その1 【計画内容】PC操作を伴い、データベース機能について、理解を深めます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。						B、L
	第10回	【テーマ】データベースの活用 その2 【計画内容】PC操作を伴い、データベース機能を活用して、課題に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。						B、L
	第11回	【テーマ】データベースの活用 その3 【計画内容】PC操作を伴い、データベース機能を活用して、より発展した課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。						B、L
	第12回	【テーマ】課題への挑戦 その1 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアの基本について理解します。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。						B、H、L
	第13回	【テーマ】課題への挑戦 その2 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを扱い、課題の作成を行います。 【準備学習の内容】次回までに、課題解決方法を駆使して、課題に取り組むこと。						B、H、L
	第14回	【テーマ】課題への挑戦 その3 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを活用して課題設定に伴うデータ処理を行います。 【準備学習の内容】課題の完成度を上げるために、課題解決に取り組むこと。理解できない箇所について復習しておくこと。						B、H、L
	第15回	【テーマ】課題への挑戦 その4 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフト、マルチメディアを活用して、プレゼンテーションを行います。 【準備学習の内容】実践的な課題解決に取り組むため、十分に復習しておくこと。						B、F、L
テキスト		講義時に資料またはサンプルファイルを配付します						
参 考 書		講義時に資料またはサンプルファイルを配付します						
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分		25%	25%		25%	25%	
	補 足	情報モラル・PC基礎		演習課題等		演習への取組意欲		筆記(実技含む)
質問への対応		初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。						
資 格								
そ の 他		毎時の出席を原則とします。単なる機器操作の修得を目的とはしていません。情報活用能力の育成を目指し、その能力を今後に活かすことができるように展開します。 講義計画や展開方法は変更する場合があります。初回講義時に講義の流れと受講心得等を説明します。 最終確認テストについては、第16回に機会を設定する等、講義時に説明します。						

科目名		情報機器操作Ⅱ		授業形態	演習	単位数	2
教員名		伊藤 博晃					
授業の目的	ねらい	情報処理の基本を踏まえて、パーソナルコンピュータを活用し、アプリケーションソフトを使い、情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的・応用的な活用の仕方を学びます。また、文書の作成、データの活用、プレゼンテーション等の教育の場面での活用について知識を深めます。加えて、情報モラルについても考察を深めます。					
	到達目標	(1)ICT活用能力(リテラシー)を向上させ、実際に活用できる。 (2)データ処理の基本的な知識・技術が理解できる。 (3)情報モラルについて考えを深めることができる。 (4)基本的なマルチメディアを扱うことができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーションとネットワーク上の情報ならびに情報モラルについて 【計画内容】講義計画と受講心得について理解し、テーマについて、概念として理解を深めて、実社会、教育現場等での必要性について、考察を開始します。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。					B
	第2回	【テーマ】データ活用をすること 【計画内容】データについて基本的な概念を理解するとともに、活用の意図や目的を理解し、データ処理について考察をします。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第3回	【テーマ】データを活用すること 基礎1 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を目的にして、その基本的操作方法について理解を深めます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第4回	【テーマ】データを活用すること 基礎2 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を伴うデータの処理方法について、理解を深めます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。					B、L
	第5回	【テーマ】データを活用すること 基礎3 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。					B、L
	第6回	【テーマ】データを活用すること 応用1 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題について、深く取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。理解の進んでいない関数について十分に復習しておくこと。					B、L
	第7回	【テーマ】データを活用すること 応用2 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。					B、L
	第8回	【テーマ】データを活用すること 応用3 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、応用的な課題に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第9回	【テーマ】データベースの活用 その1 【計画内容】PC操作を伴い、データベース機能について、理解を深めます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。					B、L
	第10回	【テーマ】データベースの活用 その2 【計画内容】PC操作を伴い、データベース機能を活用して、課題に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第11回	【テーマ】データベースの活用 その3 【計画内容】PC操作を伴い、データベース機能を活用して、より発展した課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第12回	【テーマ】課題への挑戦 その1 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアの基本について理解します。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、H、L
	第13回	【テーマ】課題への挑戦 その2 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを扱い、課題の作成を行います。 【準備学習の内容】次回までに、課題解決方法を駆使して、課題に取り組むこと。					B、H、L
	第14回	【テーマ】課題への挑戦 その3 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを活用して課題設定に伴うデータ処理を行います。 【準備学習の内容】課題の完成度を上げるために、課題解決に取り組むこと。理解できない箇所について復習しておくこと。					B、H、L
	第15回	【テーマ】課題への挑戦 その4 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフト、マルチメディアを活用して、プレゼンテーションを行います。 【準備学習の内容】実践的な課題解決に取り組むため、十分に復習しておくこと。					B、F、L
テキスト		講義時に資料またはサンプルファイルを配付します					
参考書		講義時に資料またはサンプルファイルを配付します					
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	分	25%	25%		25%	25%
補足		情報モラル・PC基礎		演習課題等		演習への取組意欲	筆記(実技含む)
質問への対応		初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。					
資格							
その他		毎時の出席を原則とします。単なる機器操作の修得を目的とはしていません。情報活用能力の育成を目指し、その能力を今後に活かすことができるように展開します。 講義計画や展開方法は変更する場合があります。初回講義時に講義の流れと受講心得等を説明します。 最終確認テストについては、第16回に機会を設定する等、講義時に説明します。					

科 目 名			健康体育(実技を含む)		授業形態	講義・実技	単 位 数	2
教 員 名			畝中 智志、永谷 稔、浅尾 秀樹、重成 敏史					
授 業 の 目 的	ねらい	この授業は生涯健康、生涯スポーツを実践するための基本的事項を学びます。そのために、基礎的な理論学習と実際の運動実技学習として学びます。						
	到達目標	(1)生涯健康の基礎的内容の理解 (2)生涯スポーツの基礎的内容の理解 (3)協力して、安全に運動するための基礎理解と実践						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】体育理論学習のめあて 【計画内容】生涯健康と生涯スポーツについて学ぶ(浅尾秀樹) 【準備学習の内容】事前にシラバスの内容についてよく読んでおく。	A	第13回	【テーマ】スポーツ実技5 【計画内容】シットバレーボールの基本技術とゲーム2(永谷稔) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題12	E		
	第2回	【テーマ】何のためにトレーニングするのか 【計画内容】健康な生活とトレーニングの目的について学ぶ(浅尾秀樹) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題1	A	第14回	【テーマ】スポーツ実技6 【計画内容】バドミントンの基本技術(重成敏史) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題13	E		
	第3回	【テーマ】どのようなトレーニングの方法があるのか1 【計画内容】トレーニングの効果について学ぶ1(浅尾秀樹) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題2	A	第15回	【テーマ】スポーツ実技7 【計画内容】バドミントンの基本技術とゲーム1(重成敏史) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題14	E		
	第4回	【テーマ】どのようなトレーニングの方法があるのか2 【計画内容】トレーニングの効果について学ぶ2(浅尾秀樹) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題3	A	第16回	【テーマ】スポーツ実技8 【計画内容】バドミントンの基本技術とゲーム2(重成敏史) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題15	E		
	第5回	【テーマ】トレーニングすれば必ず効果が出るとは限らない1 【計画内容】トレーニングの方法について学ぶ1(浅尾秀樹) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題4	A	第17回	【テーマ】スポーツ実技9 【計画内容】スボレックの基本技術とゲーム1(重成敏史) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題16	E		
	第6回	【テーマ】トレーニングすれば必ず効果が出るとは限らない2 【計画内容】トレーニングの方法について学ぶ2(浅尾秀樹) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題5	A	第18回	【テーマ】スポーツ実技10 【計画内容】スボレックの基本技術とゲーム2(重成敏史) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題17	E		
	第7回	【テーマ】スポーツで体をこわすこともある 【計画内容】スポーツ障害と予防について学ぶ(浅尾秀樹) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題6	A	第19回	【テーマ】スポーツ実技11 【計画内容】Gボールダンスの作品作りと発表(畝中智志) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題18	E、H		
	第8回	【テーマ】理論学習のまとめと実技学習への導入 【計画内容】理論学習のまとめと生涯スポーツの楽しみ方(浅尾秀樹) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題7	A、L	第20回	【テーマ】スポーツ実技12 【計画内容】ダンス作品作り(畝中智志) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題19	E、H		
	第9回	【テーマ】スポーツ実技1 【計画内容】ソフトバレーボールの基本技術とゲーム1(永谷稔) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題8	E	第21回	【テーマ】スポーツ実技13 【計画内容】ダンス作品作りと発表審査会(畝中智志) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題20	E、H		
	第10回	【テーマ】スポーツ実技2 【計画内容】ソフトバレーボールの基本技術とゲーム2(永谷稔) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題9	E	第22回	【テーマ】スポーツ実技14 【計画内容】スポーツテストと結果の評価①(畝中智志) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題21	E		
	第11回	【テーマ】スポーツ実技3 【計画内容】ソフトバレーボールの基本技術とゲーム3(永谷稔) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題10	E	第23回	【テーマ】スポーツ実技15 【計画内容】スポーツテストと結果の評価②(畝中智志) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題22	E		
	第12回	【テーマ】スポーツ実技4 【計画内容】シットバレーボールの基本技術とゲーム1(永谷稔) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題11	E	第24回	【テーマ】授業のまとめ 【計画内容】授業の総まとめ(全教員) 【準備学習の内容】トレーニング自習課題23	A、E、H		
テキスト		適宜プリントを使用します						
参 考 書		適宜プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足	30%		40%		30%		
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他		他学部他学科と同時展開です。シューズは現在所有のものを、専用使用のこと。初回時に説明する。 講義の8回目に筆記試験を実施します。不合格者には再試験を実施します。すべて終了後に試験問題を返却し質問に対応します。						

科目名	英語コミュニケーションⅠ				授業形態	演習	単位数	2
教員名	C.B.サイモンズ							
授業の目的	ねらい	学生の積極的参加に基づき、オーラルコミュニケーションに重点をおいた講義を行う。身近な日常会話の練習を通し、「聞く」「話す」力を育成する。						
	到達目標	(1)海外で使える会話パターンを習得する。 (2)ロールプレイを完全にできるようにする。 (3)テキストに出ている単語を覚える。						
授業の計画	第1回	【テーマ】初対面のあいさつ・紹介 【計画内容】初対面のあいさつについて学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。						H
	第2回	【テーマ】ホテルの予約 【計画内容】ホテルまでの行き方について尋ねる。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。						H、N
	第3回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第1章の内容をロールプレイする。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。						N
	第4回	【テーマ】キャンパス内の施設について 【計画内容】留学に関するパッセージを読み、質問し合う。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。						H、N
	第5回	【テーマ】ホームステイ 【計画内容】滞在先の家庭のルールについて尋ねる。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。						H、N
	第6回	【テーマ】ハンドアウトを用いて 【計画内容】ハンドアウトを使用し練習する。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。						H
	第7回	【テーマ】道を尋ねる 【計画内容】道の尋ね方について学ぶ。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。						H、N
	第8回	【テーマ】ハンドアウトを用いて 【計画内容】ハンドアウトを使用し練習する。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。						H
	第9回	【テーマ】復習(第1章～第4章) 【計画内容】復習とロールプレイチャレンジ。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。						H、N
	第10回	【テーマ】レストラン 【計画内容】食事の注文、支払いの会話について学ぶ。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。						H、N
	第11回	【テーマ】ビデオ 【計画内容】会話を聞き、日本人の英語の誤りを見つけ訂正する。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。						H
	第12回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第5章の内容をロールプレイする。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。						N
	第13回	【テーマ】レンタルショップ 【計画内容】レンタルショップでの会話について学ぶ。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。						H、N
	第14回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第6章の内容をロールプレイする。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。						N
	第15回	【テーマ】まとめとロールプレイ 【計画内容】テキスト第5章、第6章の内容をロールプレイチャレンジする。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。						N
テキスト	Gershon, Mares, Walker, 2016年、『On the Go』、Longman、9789620052545							
参考書	Gershon, Mares, Walker, 2016年、『On the Go』、Longman、9789620052545							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	40%				40%	20%	
	補足						発表	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。E-Mail:kiffsimons@yahoo.com							
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修							
その他	第16回に試験を行います。							

科目名		英語コミュニケーションⅠ			授業形態	演習	単位数	2
教員名		ロバート ニューマン						
授 業 の 目 的	ねらい	This course will focus on the fundamentals of effective English communication at beginner and higher-beginner levels in a variety of real-world situations. Different modes of communication will be taught and explored during the course with lively and engaging approaches. Students will be encouraged to express themselves as freely as possible in a safe, friendly space. There will be no set textbook so as to allow flexibility and adaptability in topics and course content.						
	到達目標	(1)Learn to enjoy communicating in English. (2)Develop proficiency in appropriate levels of grammar. (3)Learn to communicate with English speakers in ways that will build and maintain connections. (4)Learn appropriate levels of grammar as the foundation for coping with new situations. (5)Communicate with sensitivity.						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】 Introduction 【計画内容】 Introducing oneself and others. Beginning to learn about each other. Meeting New People. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Read provided materials on the course and study guidelines.					A、B、D、E	
	第2回	【テーマ】 Your World 【計画内容】 Talking about the places in your world using weather and visual vocabulary. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Describe your home or other favorite place.					A、B、D、E	
	第3回	【テーマ】 Your Free-time 【計画内容】 Talking about how you spend your free-time. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第4回	【テーマ】 Getting Around 【計画内容】 Using methods of transportation to discuss time, distance and beginner level common usage of 'in' and 'on'. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第5回	【テーマ】 About Us 【計画内容】 Describing different aspects of our personalities. Further discussing one of the major aims of this course: communicating with sensitivity. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第6回	【テーマ】 Time 【計画内容】 Discussing the different units of time. Continuing instruction in the uses of 'in' and 'on' while also introducing 'at' in reference to time. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第7回	【テーマ】 Changes 【計画内容】 Building on last lesson and learning about the ways that things and people change. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第8回	【テーマ】 Basic Review of Weeks 1-7. Pair Presentations. 【計画内容】 Review of grammar and fundamental concepts from the previous lessons. Verbal pair presentations. Class comments, suggestions and review questions. 【準備学習の内容】 Complete homework assignment. Consider any further general questions not raised in class.					F、H、N	
	第9回	【テーマ】 Your Health 【計画内容】 Discussing health issues, injuries and the different parts of our bodies. Asking for help with a simple health issue. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第10回	【テーマ】 How are You Feeling? 【計画内容】 Talking about our feelings. Stress and what makes us happy. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第11回	【テーマ】 Going Shopping 【計画内容】 Language and interactions used when shopping. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第12回	【テーマ】 Going Out 【計画内容】 Language and interactions used when visiting restaurants, sports events and other outdoor events. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment. Think of a restaurant or event you'd like to visit.					A、B、D、E	
	第13回	【テーマ】 Travelling 【計画内容】 Language and interactions used when travelling abroad. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第14回	【テーマ】 Hopes and Dreams 【計画内容】 Language and interactions used when discussing hopes and dreams. Focus on positivity. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment. Think about your hopes and dreams for the future.					A、B、D、E	
	第15回	【テーマ】 Review of Weeks 9-14. Verbal Pair Presentations. 【計画内容】 Review of grammar and fundamental concepts from lessons 9 -14. Verbal pair presentations. Class comments, and review questions. Overall summary. 【準備学習の内容】 Review past work and think of any questions for final class.					F、H、N	
テキスト		[Hand-outs will be distributed.]						
参 考 書		Dictionary (Electronic, Paper, Application, etc.)						
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分					60%	40%	
	補 足						Verbal Pair Presentations in Weeks 8 and 15: 20% + 20%	
質問への対応		Students are encouraged to ask questions after class. Email questions in either English or Japanese can also be sent to newmanrd80@gmail.com						
資 格								
そ の 他								

科 目 名		英語コミュニケーションⅡ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		C.B.サイモンズ						
授 業 の 目 的	ねらい	学生の積極的参加に基づき、オーラルコミュニケーションに重点をおいた講義を行う。身近な日常会話の練習を通し、「聞く」「話す」力が育成される。「読む」「書く」能力の向上については、文法知識の習得だけではなく、日常会話報道などの内容から必要な情報を理解し、自分の考えや意見を正しく表明することができるレベルを目指す。						
	到達目標	(1)海外で使える会話パターンを習得する。 (2)ロールプレイを完全にできるようにする。 (3)テキストに出ている単語を覚える。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】 過去形を用いて 【計画内容】 過去形を使い、夏休みの出来事について話す(ハンドアウトを使用)。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。					H	
	第2回	【テーマ】 ロンドンの街について尋ねる 【計画内容】 公共交通機関、観光地などについて尋ねる方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。					H、N	
	第3回	【テーマ】 ロールプレイ 【計画内容】 テキスト第7章の内容をロールプレイする。 【準備学習の内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。					N	
	第4回	【テーマ】 ホテル 【計画内容】 チェックインをする、ゲストサービスについて尋ねる方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。					H、N	
	第5回	【テーマ】 ロールプレイ 【計画内容】 テキスト第8章の内容をロールプレイする。 【準備学習の内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。					N	
	第6回	【テーマ】 Review Plus 2 【計画内容】 リスニングを行う。 【準備学習の内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。					H、N	
	第7回	【テーマ】 ショッピング 【計画内容】 商品について尋ねる方法を学ぶとともにロールプレイする。 【準備学習の内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。					N	
	第8回	【テーマ】 空港 【計画内容】 チェックインをする方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。					H、N	
	第9回	【テーマ】 ロールプレイ 【計画内容】 中間発表の準備として、ロールプレイを行う。 【準備学習の内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。					N	
	第10回	【テーマ】 ロールプレイチャレンジ 【計画内容】 テキスト第10章までのロールプレイチャレンジを行う。 【準備学習の内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。					N	
	第11回	【テーマ】 自分自身のことを話す 【計画内容】 自分自身のことを話す方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。					H、N	
	第12回	【テーマ】 ツアーに参加する 【計画内容】 ツアーについて尋ね、申し込む方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。					H、N	
	第13回	【テーマ】 日本の観光地について 【計画内容】 外国人に紹介する視点で日本の観光地について調べる。 【準備学習の内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。					H	
	第14回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 今までの復習と確認をする。 【準備学習の内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。					N	
	第15回	【テーマ】 ロールプレイチャレンジ 【計画内容】 今までの復習を行い、さらに会話を上達させることについて学ぶ。 【準備学習の内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。					H、N	
テキスト		Gershon, Mares, Walker, 2016年、『On the Go』、Longman、9789620052545						
参 考 書		Gershon, Mares, Walker, 2016年、『On the Go』、Longman、9789620052545						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	40%				40%	20%	
	補足						発表	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。E-Mail:kiffsimons@yahoo.com						
資 格								
そ の 他		第16回に試験を行います。						

科 目 名		英語コミュニケーションⅡ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		ロバート ニューマン						
授 業 の 目 的	ねらい	This course will focus on the fundamentals of effective English communication at pre-intermediate and intermediate levels. Different modes of communication will be taught and explored during the course with a range of lively and engaging approaches. Students will be encouraged to express themselves as freely as possible in a safe, friendly space. There will be no set textbook so as to allow flexibility and adaptability in topics and course content.						
	到達目標	(1)Learn to enjoy communicating in English. (2)Develop proficiency in appropriate levels of grammar. (3)Learn to communicate with English speakers in ways that will build and maintain connections. (4)Learn appropriate levels of grammar as the foundation for coping with new situations. (5)Communicate with sensitivity.						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 Introduction and Introductions 【計画内容】 Introducing oneself and others. Beginning to learn about each other. Meeting New People. The adjective scale and dynamic delivery. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Read provided materials on the course and study guidelines.					A、B、D、E	
	第2回	【テーマ】 Who We Are 【計画内容】 Going into more detail on the concepts from the last lesson, learning how to describe oneself and others correctly and with sensitivity. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第3回	【テーマ】 Your World 【計画内容】 Talking about the places in your world using weather, visual, and emotional vocabulary. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment. Describe your home or other favorite place.					A、B、D、E	
	第4回	【テーマ】 What are you into? 【計画内容】 Talking in more detail about the things we like, do, or are interested in. How dynamic adjective choices build connections. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第5回	【テーマ】 Getting Around 【計画内容】 Using methods of transportation to discuss time, distance and pre-intermediate and intermediate level common usage of 'in' and 'on'. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第6回	【テーマ】 Time 【計画内容】 Discussing the different units of time. Continuing instruction in the uses of 'in' and 'on' while also introducing 'at' in reference to time. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第7回	【テーマ】 Changes 【計画内容】 Building on last lesson and learning about the ways that things, ways of thinking, people and cultures change. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第8回	【テーマ】 Basic Review of Weeks 1-7. Pair Presentations. 【計画内容】 Review of grammar and fundamental concepts from the previous lessons. Verbal pair presentations. Class comments, suggestions and review questions. 【準備学習の内容】 Complete homework assignment. Consider any further general questions not raised in class.					F、H、N	
	第9回	【テーマ】 The World 【計画内容】 Talking about the history and culture of Japan and other countries around the world. Similarities and differences. Avoiding general statements that may alienate others. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第10回	【テーマ】 Meeting People 【計画内容】 Language and interactions used when meeting new people in a range of situations. Avoiding potential conflict when talking in English. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第11回	【テーマ】 Going Out 【計画内容】 Language and interactions used when visiting restaurants, sports events and other outdoor events. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment. Think of a restaurant or event you'd like to visit.					A、B、D、E	
	第12回	【テーマ】 Travelling 【計画内容】 Language and interactions used when travelling abroad. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第13回	【テーマ】 Living Abroad 【計画内容】 Language and interactions used when living, studying or working abroad. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.					A、B、D、E	
	第14回	【テーマ】 Hopes and Dreams 【計画内容】 Language and interactions used when discussing hopes and dreams. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment. Think about your hopes and dreams for the future.					A、B、D、E	
	第15回	【テーマ】 Review of Weeks 9-14. Verbal Pair Presentations. 【計画内容】 Review of grammar and fundamental concepts from lessons 9 -14. Verbal pair presentations. Class comments, and review questions. Overall summary. 【準備学習の内容】 Review past work and think of any questions for final class.					F、H、N	
テ キ ス ト		[Hand-outs will be distributed.]						
参 考 書		Dictionary (Online, Electronic, Paper, Application, etc.)						
成 績 評 価 の 方 法	配 分	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	補 足					60%	40%	
質問への対応		Students are encouraged to ask questions after class. Email questions in either English or Japanese can also be sent to newmanrd80@gmail.com						
資 格								
そ の 他								

科目名		キャリアデザインⅠ				授業形態	講義	単位数	1
教員名		永井 秀岳、小川 美夏							
授業の目的	ねらい	「キャリアデザイン」は、一人一人が明確な目的意識を持って学業や大学生活に取り組む姿勢を育み、主体的に自己の進路を選択できるようになることを目的としています。目まぐるしく変わる現代社会を生き抜くには、社会の仕組みや労働市場について知り、答えのない世界で自分なりの答えを見つけ、進んでいく力が必要となります。本講ではその基本となる社会の仕組み、コミュニケーションや思考のスキルを身に付けていきます。							
	到達目標	(1)現代社会の仕組みを理解し、自分なりに説明できるようになる。 (2)自己分析を通して、自分の強みややりたいことを見つける。 (3)10年先のキャリアデザインを自分なりに描けるようになる。 (4)より充実した大学生活、人生を歩めるようになる。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 激動の現代を幸せに生きるためのキャリアデザイン 【計画内容】 授業の目標・内容・進め方・成績評価の方法、8回の授業展開について説明。第1回では、講義で取り扱う現代社会の状況や、大学生活をより充実させるためのヒント、社会で役に立つスキルなどについて総括的にまとめる。(永井秀岳) 【準備学習の内容】 シラバスをよく読んでおくこと。						A、K	
	第2回	【テーマ】 就職・仕事・恋愛・人間関係でモテるコミュニケーションとは 【計画内容】 人が仕事を辞めてしまう時、その理由の中で一番の割合を占めるのは「人間関係」。自分のタイプや考え方、相手の視点に立って物事を考えることなどを学び、より良いコミュニケーションを築けるスキルを身に付けていく。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【準備学習の内容】 自分のコミュニケーションのクセについて考えてみること。						A、K	
	第3回	【テーマ】 6つの働くスタイル 【計画内容】 仕事とどのように向き合っているのかは人それぞれ。どのような向き合い方があるのかを知り、現在の自分のタイプに当てはめつつ、どう向き合っていきたいのかを考えていく。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【準備学習の内容】 自分や周りの人の仕事に対する考え方について調べておくこと。						A、K	
	第4回	【テーマ】 人材市場を徹底活用！ 【計画内容】 労働時間・スタイルなどの雇用形態の変化と、その社会的な背景を知る。その上で、自分はどう働きたいか、そのためには大学生活で、どんな準備をしていくのかを考えていく。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【準備学習の内容】 人材市場について調べておくこと。						A、K	
	第5回	【テーマ】 資格って必要？公務員は安定？ブラック企業ってなに？ 【計画内容】 就職活動を始める前の学生が、疑問に思うことを集めて答えていく。また、ブラック企業とは何かをテーマにワークを行い、自分の仕事に対する価値観や思い込みを見つけ出ししていく。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【準備学習の内容】 ブラック企業について、自分の考えをまとめておくこと。						A、K	
	第6回	【テーマ】 キャリアビジョンの描き方 【計画内容】 これまでの講義で取り扱った、働くスタイル、人材市場などの内容を元に自分のキャリアビジョンをデザインしていく。好きなことは何か、やりたいことがない場合はどうしたら良いかなど、ワークを通して探っていく。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【準備学習の内容】 自分の理想のライフスタイルについて考えておくこと。						A、K	
	第7回	【テーマ】 キャリアデザイン、10年後にどうなっていきたい？ 【計画内容】 これまでの講義内容を踏まえ、キャリアデザインシートを作ってみる。仕事だけに限らず、10年後の自分のライフスタイルなども合わせて書き出ししていく。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【準備学習の内容】 前回の講義中ワークで出てきた内容を自分なりにまとめておくこと。						A、K	
	第8回	【テーマ】 社会人基礎力測定検査結果の解説(テストの結果をもとに、自分の行動目標を立てる) 総合評価・自己評価・ポートフォリオのまとめ 【計画内容】 社会人基礎力で測定した主観的結果と客観的結果を統合し、自己理解を深める。検査の結果をもとに自分の行動目標を立てる。(小川美夏) 【準備学習の内容】 これまでの授業内容を振り返り、夏休みの行動計画を考えておくこと。						A、K	
テキスト		プリントを使用する							
参考書		プリントを使用する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			70%		30%			
補足									
質問への対応		毎回提出のレポートにて、質問を随時受け付けます。							
資格									
その他									

科目名		日本語		授業形態	講義	単位数	2
教員名		田 光子					
授 業 の 目 的	ねらい	外国人留学生を対象に、本学でのコミュニケーション・学習・発表がスムーズに行えるように読み、書く、聞く、話すの4技能の向上を目標とする。また、日本の文化、事情、風習、マナーなどを読み物や視聴覚教材を通して理解することで、日本での留学生活がより有意義なものになるようにする。日本語能力検定1級を持っていない学生は必ず取得しよう。					
	到達目標	(1)日本語の読み、書き、聞き取り、話すの4技能の向上。 (2)漢字の読み書きがスムーズにできる。 (3)レポートがスムーズに書ける。 (4)日本語の正しい発音ができる。 (5)テキストなどがスムーズに読め、内容が理解できる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーションと自己紹介 【計画内容】講義概要・講義の展開方法などの説明。 【準備学習の内容】自己紹介準備とシラバスを読んでおく。					A
	第2回	【テーマ】読解を中心(小説を読む)① 【計画内容】発音確認と読み方。 【準備学習の内容】プリントを読んで、内容を理解する。					A
	第3回	【テーマ】読解を中心(小説を読む)② 【計画内容】漢字の読み方や意味を確認する。 【準備学習の内容】漢字の読み方や意味を調べておく。					A、F
	第4回	【テーマ】語彙と文法① 【計画内容】語彙(漢字を含む)と文法事項の説明。 【準備学習の内容】わからない語彙や文法を調べておく。					A
	第5回	【テーマ】語彙と文法② 【計画内容】語彙(漢字を含む)と文法事項の説明。 【準備学習の内容】わからない語彙や文法を調べておく。					A
	第6回	【テーマ】文法確認と作文練習 【計画内容】文法の作文練習を確認する。 【準備学習の内容】プリントの作文練習をし、発表準備をする。					A、K
	第7回	【テーマ】漢字練習・自国の風習について発表 【計画内容】漢字の復習と(風習についての)文章力向上と発表。 【準備学習の内容】漢字復習と風習について調べて作文し、発表準備をする。					A、F、K
	第8回	【テーマ】日本事情・聞いてまとめる(ニュースを見る) 【計画内容】ニュースの聞き取りや表現を理解する。 【準備学習の内容】ニュースを毎日聞き、聞き取りに慣れるようにする。					A、L
	第9回	【テーマ】語彙と文法③ 【計画内容】ニュースの語彙や文法について説明。 【準備学習の内容】わからない語彙や文法を調べておく。					A
	第10回	【テーマ】読解を中心(新聞を読む) 【計画内容】新聞を速読し、内容を理解し要約する力を養う。 【準備学習の内容】毎日新聞を読む習慣をつける。					A
	第11回	【テーマ】語彙と文法④ 【計画内容】新聞の語彙や文法について説明。 【準備学習の内容】わからない語彙や文法を調べておく。					A
	第12回	【テーマ】日本語・韓国語の翻訳練習 【計画内容】日本語から韓国語へ、韓国語から日本語への自然な表現を学ぶ。 【準備学習の内容】課題のプリントを翻訳する。					A、F、K
	第13回	【テーマ】日本の文化理解 【計画内容】本学の演劇を観劇して、日本の文化に触れる。 【準備学習の内容】演目について調べ、観劇後は感想文を書く。					M
	第14回	【テーマ】日本と自国の違いについて討論 【計画内容】文化の違いを発表して、お互いの意見を確認したり討論したりする。 【準備学習の内容】日本での生活を通して感じた文化の違いを作文して、発表準備をする。					A、F、I
	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】既習の語彙や文法事項の確認。 【準備学習の内容】既習の語彙や文法事項の復習をする。					A、L
テキスト		プリントを使用します					
参 考 書		プリントを使用します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		20%		20%	
	補足			レポートなど			
質問への対応		講義内での質問も随時受け付けます。E-Mail: chun@hokusho-u.ac.jp					
資 格							
そ の 他		留学生対象科目。遅刻・欠席はしないこと。					

科目名	現代日本の文化				授業形態	講義	単位数	2
教員名	菊地 達夫							
授業の目的	ねらい	「現代日本の文化」では、留学生の出身国(地域)における文化的事項の認識を確認し、比較を意識しながら、日本(北海道)の文化的な特色が、どのように形成・定着・発展したのか史的に学習します。						
	到達目標	(1)日本の文化的な特色について理解できる。 (2)北海道の文化的な特色について理解できる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義のねらい、到達目標、講義計画、成績評価方法、参考文献について説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容についてよく読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】出身国(地域)の文化的事項の確認 【計画内容】出身国(地域)の文化的事項について確認します。 【準備学習の内容】出身国(地域)の文化的事項について整理しておくこと。						K
	第3回	【テーマ】日本の主な文化的事項 【計画内容】日本の主な文化的事項(食文化・芸術・スポーツ)について学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第4回	【テーマ】日本の文化的な地域の特徴 【計画内容】日本の文化的な地域の特徴(食文化・芸術・スポーツ)について学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第5回	【テーマ】日本の文化的事項の形成 【計画内容】日本の文化的事項の形成過程(食文化・芸術・スポーツ)について学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第6回	【テーマ】日本の文化的事項の定着 【計画内容】日本の文化的事項(食文化・芸術・スポーツ)は、どのように定着したのか、学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第7回	【テーマ】日本の文化的事項の発展 【計画内容】日本の文化的事項(食文化・芸術・スポーツ)は、どのように発展してきたのか、学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第8回	【テーマ】日本の伝統文化(生活習慣) 【計画内容】日本の年中行事について学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第9回	【テーマ】北海道の地域文化1 【計画内容】北海道の地域文化の地域的特色について学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A
	第10回	【テーマ】北海道の地域文化2 【計画内容】アイヌ民族・文化について学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第11回	【テーマ】北海道の地域文化3 【計画内容】博物館資料の活用を通じて体験的に学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						M
	第12回	【テーマ】北海道の地域文化4 【計画内容】博物館資料の活用を通じて体験的に学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						M
	第13回	【テーマ】まとめと整理 【計画内容】これまでの学習内容の重要な点について整理します。 【準備学習の内容】理解のできていない学習内容についてよく確認しておくこと。						A、L
	第14回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの学習内容の重要な点について確認します。 【準備学習の内容】これまでの学習内容についてよく整理しておくこと。						L
	第15回	【テーマ】まとめと応用 【計画内容】学習成果の活かし方について説明します。 【準備学習の内容】理解のできていない学習内容についてよく確認しておくこと。						A、K
テキスト	必要に応じてプリントを使用します							
参考書	奥野隆史ほか、2006年、『日本総論Ⅱ(人文・社会編)』、朝倉書店、4254167628 桑原真人ほか、2008年、『北海道の歴史がわかる本』、亜細亜社、9784900541757 北海道高校地理教育研究会、1994年、『図説北海道ふるさと早わかり』、北海道新聞社、4893637223							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	50%		30%		20%		
補足								
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格								
その他	留学生対象科目。 履修者との相談の上、2回目以降の曜日・時間帯を決めます。(初回の日時や教室は掲示板等をよく確認すること) 内容が一部変更になる可能性があります。 課題の結果等は、返却時に講評、補足説明を行います。							

発 展 科 目

科目名		心理学概論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名		澤 聡一						
授業の目的	ねらい	人間の心のはたらきについて、乳幼児期から高齢期に至るまでの生涯発達の観点から捉え、心理学の基礎的知識を得ることは、自己洞察や他者理解を深めるための大切な営みです。また心理学を学ぶことは、教育や介護等における対人援助実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び豊かな人間性を養う上でも重要です。サイエンスとアートの両方の面を持ちながら、社会のニーズに応じて裾野を広げ続ける心理学の基本的知識の習得とその学習姿勢の醸成を、本講義の目標とします。						
	到達目標	(1)心理学の成立の背景を知り、人間の心のはたらきについての基本的な知識を習得する。 (2)生涯発達の観点から人間の成長のプロセスを理解する。 (3)日常生活における心の健康の維持についての理論を学び実践につなげる。 (4)福祉や教育等との関連をふまえながら心理的支援の方法と実際についての知識を得る。						
授業の計画	第1回	【テーマ】心理学の成り立ち 【計画内容】講義全体の流れを説明すると共に、心理学の成立の背景について学び、心理学が社会からどのように必要とされてきたかを知ること、心の学びのイントロダクションとします。 【準備学習の内容】シラバスの内容をあらかじめ読んでおくこと。					A、K	
	第2回	【テーマ】集団心理 【計画内容】人間は社会的存在であり、他者とかかわりあいながら生きています。ここでは、人間の行動が集団の中にあることで受ける影響等について学びます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第3回	【テーマ】パーソナリティ 【計画内容】類型論、特性論などの代表的なパーソナリティ理解の視点について学び、心理テストの体験学習等を通して自己理解を深めます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第4回	【テーマ】自己理解・他者理解 【計画内容】自己概念や自尊感情など、自分や他人を理解するために有用な様々な概念を学びます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第5回	【テーマ】感覚・知覚 【計画内容】視覚、聴覚、知覚の体制化、錯視、文脈効果などの体験学習を通して、人間が外界からどのように情報を得て、用いているかを学びます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第6回	【テーマ】記憶 【計画内容】記憶の仕組みに関する心理学的モデルや、記憶の種類、記憶の方略について学びます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第7回	【テーマ】学習 【計画内容】新しい行動の学習や、一度学習した行動の変容について、学習理論を中心に学びます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第8回	【テーマ】思考と言語 【計画内容】思考と推論の心理的プロセスについて学び、次いで言語やコミュニケーションに関わる心理学的知見を学びます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第9回	【テーマ】心と脳 【計画内容】心の生物学的基盤としての脳の構造や機能を知り、心のはたらきとどのように対応しているかを学びます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第10回	【テーマ】感情・動機づけ 【計画内容】感情についての理論、感情の発達、感情と表情、感情と文化、動機づけ、生理的欲求、社会的欲求、認知的欲求等について概説します。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第11回	【テーマ】心の健康と臨床心理学 【計画内容】臨床心理学の適用領域と、さまざまな理論について紹介します。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第12回	【テーマ】心の問題への心理的支援 【計画内容】クライアント中心療法や認知行動療法などのさまざまな心理療法について概説します。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第13回	【テーマ】乳幼児期・児童期の発達 【計画内容】遺伝と環境、人間の成長の特殊性、認知発達理論、発達段階説、言語発達の様相などについて学びます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第14回	【テーマ】青年期以降の生涯発達 【計画内容】自我同一性などの青年期のテーマのほか、成人期、高齢期について学び、生涯発達の視点を深めます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】ここまでの講義の内容を振り返ると共に、現代社会のなかで心理学をどのように活かすかを、ストレス等を例に考えます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
テキスト		プリント等を適宜配付します						
参考書		平田裕美・伊藤美奈子編、2010年、『心理学入門-こころの仕組みを理解する-』、建帛社、9784767940137 長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦・濱中直行、2008年、『はじめて出会う心理学 改訂版』、有斐閣、9784641123458 繁樹算男、2018年、『心理学概論（公認心理師の基礎と実践）』、遠見書房、9784866160528						
成績評価の方法			筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
		配分	40%				30%	30%
		補足	最終				平時	毎回の感想・考察シート
質問への対応		リアクションペーパー等で講義の都度質問するか、E-Mail:sawat@hokusho-u.ac.jpを用いてください。						
資格		【健】介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 【心】公認心理師_必修、精神保健福祉士_選必、認定心理士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必						
その他		第16回に最終評価のためのテストを行います。希望者には、後日解説と講評を行います。 私語や携帯電話使用などの講義の進行を妨げる行為や他の受講生への迷惑行為に対し、注意されても受講態度が変わらない場合は単位を認定しません。						

科目名		発達心理学			授業形態	講義	単位数	2
教員名		新川 貴紀						
授業の目的	ねらい	従来の発達心理学は、誕生から成人に至る段階までを対象に、それぞれの発達段階で何ができるのか、どのような行動を示すのかを明らかにするものであった。近年、人の寿命が延びてきたこと、新生児期からさらに胎児期での心理学的研究が盛んになされるようになったことから、これまでの傾向が見直され、全生涯を扱う縦断的な観点から発達過程をとらえなおすようになってきている。人間は一生をかけて発達する可能性が明らかになりつつある。このような視点から、誕生から死に至る人間の心理的発達過程について、各発達ステージの相互の関係、発達を保証する条件は何か、これまでに明らかにされてきた研究成果を中心に概説する。						
	到達目標	(1)人が生涯発達することの意味を理解できる。 (2)ライフサイクルにおける変化を理解できる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】発達心理学とはなにか、生涯を通しての発達を考える意味、15回の講義展開について説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。					A、G	
	第2回	【テーマ】発達理論と発達段階と発達障害 【計画内容】生涯を通しての発達についてピアジェやエリクソンなどの発達理論や発達段階を学びます。また発達障害等の非定型発達について基礎的な知識と考え方を学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L	
	第3回	【テーマ】乳児の世界 【計画内容】新生児期から乳児期までの発達について原始反射などの生理学的側面も含めて学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L	
	第4回	【テーマ】幼児の世界(ことばの獲得) 【計画内容】ことばが急速に増える幼児期の言語発達についてチョムスキーなどの理論を学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L	
	第5回	【テーマ】対人関係の発達(アタッチメントの成立と発展) 【計画内容】養育者とのアタッチメント関係の成立と発展に関する理論を学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L	
	第6回	【テーマ】情動と自己の発達 【計画内容】発達早期の情動と自己の発達について、実験研究の結果を基にその理論を学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L	
	第7回	【テーマ】児童期の発達 【計画内容】対人関係に広がりやうまれる児童期の発達について、友人関係などの対人面を中心に学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L	
	第8回	【テーマ】思考の発達 【計画内容】幼児期や児童期の思考の発達について、ピアジェなどの発達理論から近年の理論を学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L	
	第9回	【テーマ】青年期の発達(性的成熟とアイデンティティ) 【計画内容】青年期の性的成熟とアイデンティティについての理論を学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L	
	第10回	【テーマ】アイデンティティ・ステータス 【計画内容】アイデンティティについて、その獲得や危機などについての理論を学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L	
	第11回	【テーマ】恋愛と結婚 【計画内容】恋愛と結婚に関する心理学的研究についてアタッチメント理論などの発達心理学的視点から学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L	
	第12回	【テーマ】親になること・親であること 【計画内容】子どもを授かること、それによる変化について発達心理学の理論を通して学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L	
	第13回	【テーマ】中年期の発達 【計画内容】中年期の危機など、社会的役割が獲得される時期に特有の心理学的課題について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L	
	第14回	【テーマ】老年期の発達 【計画内容】加齢に伴い喪失体験など様々な出来事が重なる老年期に特有の心理学的課題について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L	
	第15回	【テーマ】発達心理学からの提言 【計画内容】これまでの講義内容を振り返り、発達心理学ができることについて学びます。 【準備学習の内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。					A、G、L	
テキスト		プリントを使用します						
参考書		杉村伸一郎・坂田陽子編、2004年、『実験で学ぶ発達心理学』、ナカニシヤ出版、9784888488853 渡辺弥生・伊藤順子・杉村伸一郎編、2008年、『原著で学ぶ社会性の発達』、ナカニシヤ出版、9784779501814						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			30% 最終レポート		70% 小レポート		
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資格		[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必						
その他		一生を通じて発達することの意味を考えてもらいたい。また子どもの発達に関する知識を持つことで将来の子育てを楽しんでもらいたい。毎回の小レポートについては次の講義開始時にフィードバックを行います。						

科 目 名			人間関係の心理学		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			小坂 守孝					
授 業 の 目 的	ねらい	人間関係は二者関係が基本となるが、それにとどまらず、より複雑な人間関係の中で様々な心の動きが生じ、その事が個々人の認知や感情、そして行動面に影響を及ぼす。人間関係はその存在が心の支えになることもあれば、ストレスになることもある。他者の心理状態を知り、適切なコミュニケーションが取れることは、家庭、学校、職場、近隣を問わず、あらゆる場面において重要である。本講義では、人間関係を心理学の視点から包括的に理解することを目的とする。						
	到達目標	(1)日常における人間関係の様々な特徴を心理学の観点から説明することができる。 (2)人間関係をより良好にしてゆくための工夫を心理学観点から説明することができる。 (3)人間関係における諸問題を心理学の観点から説明することができる。						
	第1回	【テーマ】人と人との出会い 【計画内容】人間関係の始まりは人と人との出会いである。他者についての印象形成、相性の善し悪しの判断などについて取り上げていく。 【準備学習の内容】上記の「授業の目的」をよく確認しておくこと。					A、H	
授 業 の 画 計	第2回	【テーマ】他者に魅力を感じること 【計画内容】人は他者に対してどのようにして魅力を感じ、心惹かれていくのか。人に対する好き嫌い、友情や恋愛感情などについて取り上げていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。					A、H	
	第3回	【テーマ】円滑なコミュニケーションを目指す 【計画内容】人と生きていく上で、他者と関わりあうことは避けることができない。人と人との間で交わされるコミュニケーションについて取り上げていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。					A	
	第4回	【テーマ】人づきあいを避ける心理 【計画内容】他者との関係に無関心であったり、他者との関係をうまく築くことができないという現象について心理学の観点から取り上げていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。					A	
	第5回	【テーマ】他者から受ける影響 【計画内容】我々は多かれ少なかれ他者の影響を受けざるを得ない。個人的にも社会的にも受けざるを得ない他者からの影響について取り上げていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。					A、H	
	第6回	【テーマ】メディアを通したコミュニケーション 【計画内容】人間関係は対面ばかりでなく、近年のインターネットの発達により種々のデジタル機器を介してのやりとりが増えてきている。その諸特徴について理解を深めていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。					A	
	第7回	【テーマ】集団の中でのふるまい 【計画内容】人間関係においては、1対1での関係と集団における関係とは異なる性質を持っている。集団がもたらす人間関係の特徴について理解を深めていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。					A	
	第8回	【テーマ】集団間での利害の対立 【計画内容】集団と集団における人間関係がもたらす、集団内で起こる現象や集団間での対立などについて取り上げ、理解を深めていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。					A	
	第9回	【テーマ】対人関係の諸問題について 【計画内容】人間関係において、表面的に平静を保っていても、葛藤や欲求不満などを抱えていることが多い。そのようなことが表出する諸問題について検討していく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。					A、H	
	第10回	【テーマ】他者に対する不平・不満・クレーム 【計画内容】人間関係の中で他者に対するネガティブな感情がエスカレートし、時として常軌を逸した主張となることがある。怒りの表出に関する心理、クレームという現象など取り上げていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。					A	
	第11回	【テーマ】空気を読むこと 【計画内容】「以心伝心」「默契の了解」「黙認」など、日本では人間関係の中で「空気を読む」ということが行われることが多い。このようなコミュニケーションについて心理学の観点から理解していく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。					A	
	第12回	【テーマ】ストレスと人間関係 【計画内容】我々が感じるストレスには多かれ少なかれ人間関係が絡んでいる。ストレスを正しく理解し、人間関係のマネジメントに活かすためのヒントを得ていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。					A、H	
	第13回	【テーマ】他者を助けることと他者に助けを求めること 【計画内容】生きている中で、他者の助けを全く借りないということはなく、また、他者からの援助要請を受けることもある。援助にまつわる心理をあらゆる側面から検討し理解していく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。					A	
	第14回	【テーマ】人間関係の中にいる自分自身の理解 【計画内容】人間関係においてイライラしている時、実は自分自身の心の動きが原因となっていることがある。自分自身の心理について知る方法について紹介していく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。					A、H	
	第15回	【テーマ】よりよい人間関係を保つために 【計画内容】第14回までに学んだことをふまえ、人間関係について心理学から得られた知見を再確認し、良好な人間関係づくりの指針を得る。 【準備学習の内容】第14回までの配付資料を復習しておくこと。					A、H	
	テキスト		プリントを使用します					
参 考 書		吉田敏和・橋本剛・小川一美編、2012年、『対人関係の社会心理学』、ナカニシヤ出版、9784779506932 藤本忠明・東正訓編、2004年、『ワークショップ人間関係の心理学』、ナカニシヤ出版、9784888488334						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			70%		30%		
質問への対応		メールにて受け付けます。E-Mail:kosaka@hokusho-u.ac.jp						
資 格		[ス][健]社会教育主事_選必						
そ の 他		私語や携帯電話の着信音を鳴らすなど、他の学生が講義を受ける権利を侵害する行為を一切禁止します。守れない場合には受講態度評価に加味します。						

科 目 名		乳幼児心理学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		新川 貴紀						
授 業 の 目 的	ねらい	この講義では、人生の最初期である乳幼児期の発達(身体発達、認知発達、言語発達、社会性の発達など)について学習します。その際、乳幼児の発達が、彼らを取り囲む社会的文脈(対人環境、社会・文化的環境)との接触の中で成し遂げられていくものだという視点を強調します。						
	到達目標	(1)乳幼児期の発達の変化について、さまざまな側面から理解する。 (2)乳幼児期の発達に関する代表的な理論や概念について理解する。 (3)乳幼児期の発達を、社会的文脈との関連性において理解する。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】本講義のガイダンス 【計画内容】講義の進め方と、成績評価の仕方について説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。					A、G	
	第2回	【テーマ】乳幼児心理学が射程に入れるもの 【計画内容】乳幼児に関する発達研究の歴史と現状について説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L	
	第3回	【テーマ】乳幼児期の身体と運動の発達 【計画内容】乳幼児期の身体構造と運動機能の発達について説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L	
	第4回	【テーマ】乳幼児期の認知機能の発達(1) 【計画内容】乳幼児期の感覚・知覚機能(主に視覚機能と聴覚機能)の発達について説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L	
	第5回	【テーマ】乳幼児期の認知機能の発達(2) 【計画内容】乳幼児期の知的機能の発達について、代表的な発達理論の一つであるピアジェの認識発達論を軸に説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L	
	第6回	【テーマ】乳幼児期の発達に影響を及ぼす要因:遺伝か環境か 【計画内容】乳幼児期の発達はどのような要因に規定されるのか、心理学において長年にわたって議論されてきた「遺伝 対 環境」という対立軸に基づいて説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L	
	第7回	【テーマ】乳幼児期の言語発達(1) 【計画内容】「ことば以前」の世界から、語彙・文法の獲得、会話の理解へと至る乳幼児期の言語発達の道筋について説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L	
	第8回	【テーマ】乳幼児期の言語発達(2) 【計画内容】なぜ乳幼児は複雑で膨大な言語体系を生後数年間の間に理解できるようになっていくのか、言語獲得に関するいくつかの理論について説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L	
	第9回	【テーマ】乳幼児期の発達と異文化 【計画内容】言語発達や社会性の発達を、異文化との接触という視点から考える。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L	
	第10回	【テーマ】乳幼児期における特定の他者との愛着形成 【計画内容】乳幼児期において、特定の他者との人間関係がどのように形成されるのか、主に愛着(アタッチメント)の形成と発達に関する理論に基づいて説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L	
	第11回	【テーマ】乳幼児期の遊び(1) 【計画内容】乳幼児期の遊びの発達の变化について、その遊びの形態または内容の変化という観点から説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L	
	第12回	【テーマ】乳幼児期の遊び(2) 【計画内容】子どもの遊びを支える要素としての「道具」の意義について考える。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L	
	第13回	【テーマ】乳幼児期の発達における社会・文化的要因の影響 【計画内容】乳幼児期の発達に、社会・文化的要因がどのような影響を及ぼすのか、比較文化的視点から説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L	
	第14回	【テーマ】発達の代表的理論 【計画内容】心理学における代表的な発達理論(ピアジェ、フロイト、エリクソン、ヴィゴツキーなど)を紹介する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L	
	第15回	【テーマ】本講義のまとめ 【計画内容】これまでの講義を振り返り、改めて乳幼児期の発達の意義について説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L	
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		内田伸子、2008年、『幼児心理学への招待-子どもの世界づくり』、サイエンス社、9784781911823 若井邦夫・高橋道子・高橋義信・堀内ゆかり、2006年、『グラフィック乳幼児心理学』、サイエンス社、4781911374						
成績評価の方法			筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配	分			30%		70%	
	補	足			最終レポート		小レポート	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必						
そ の 他		毎回の小レポートについては次の講義開始時にフィードバックを行います。						

科 目 名		福祉心理学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		佐藤 至英						
授 業 の 目 的	ねらい	今日の福祉問題に関する心理学的研究は始まったばかりであり、いまだに未開拓な面が多い。本講義では、福祉現場において生じる問題及びその背景を理解したうえで、社会福祉学と心理学の学際的研究領域である福祉心理学とはどのような学問なのか、福祉的対応がどのような心理的影響を与えるのかについて明らかにすることを目的とする。具体的には、福祉的対応を必要とする人々の心理的特性ならびに福祉的対応に役立つ心理的技法、そして福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援などについて、いくつかの事例をもとに学ぶ。						
	到達目標	(1)福祉心理学とは何かを理解する。 (2)対人援助における心理的支援について、基本的な理解を得る。 (3)対人援助における心理的援助の方法について、基本的な理解を得る。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】福祉心理学とは何か 【計画内容】福祉心理学の定義、Welfareの意味、福祉のための心理学とは何か、幸せとは何かについて理解する。 【準備学習の内容】目的と目標の違い、見えるものではなく見えないものの価値について考える。						A、L
	第2回	【テーマ】対人援助を支える乳幼児期・児童期の心の理解 【計画内容】リレーションの大切さ、ほめるとしかるのポイント、何にフォーカスするかについて体験を通して学ぶ。 【準備学習の内容】ほめるとしかるのポイントは何かを考える。						A、L
	第3回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(1) 【計画内容】エゴグラム、子どもと大人の違い、アイデンティティの確立について理解する。 【準備学習の内容】子どもと大人の違いは何かを考える。						A、L
	第4回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(2) 【計画内容】就職を考える。アイデンティティ・ステータス、自立とは何かについて理解する。 【準備学習の内容】自立とは何かについて考える。						A、L
	第5回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(3) 【計画内容】結婚を考える。人はなぜ好きになるのか、好きになる理論について理解する。 【準備学習の内容】人はなぜ好きになるのか、なぜ結婚するのかを考える。						A、L
	第6回	【テーマ】家族を支える(1) 【計画内容】代表的な家族システム理論、バランスとは、機能不全の家族とは何か、虐待について理解する。 【準備学習の内容】家族とは何かを考える。						A、L
	第7回	【テーマ】家族を支える(2) 【計画内容】家族関係測定尺度を通して、親子関係、家族間のコミュニケーションについて理解する。 【準備学習の内容】親子関係、家族間のコミュニケーションについて考える。						A、L
	第8回	【テーマ】離婚・配偶者の死を考える 【計画内容】離婚の研究、配偶者の死からの回復、悲嘆過程について、事例をもとに理解する。 【準備学習の内容】離婚・配偶者の死を考える。						A、L
	第9回	【テーマ】対人援助を支える高齢者の心の理解(1) 【計画内容】喪失体験からの回復、ジェノグラム、エコマップ、老いることの意味について理解する。 【準備学習の内容】老いることの意味を考える。						A、L
	第10回	【テーマ】対人援助を支える高齢者の心の理解(2) 【計画内容】エリクソンの発達課題「統合と絶望」、脚本分析について理解する。 【準備学習の内容】人生の最後において思うこと、何が幸せかを考える。						A、L
	第11回	【テーマ】対人援助の技術(1) 【計画内容】カウンセリングマインド、カウンセリングモデル、よりそうことの意味について理解する。 【準備学習の内容】カウンセリングとは何かを考える。						A、L
	第12回	【テーマ】対人援助の技術(2) 【計画内容】問題の理解、心理テストの実際、解釈と質問の意味について、体験を通して理解する。 【準備学習の内容】事前に心理テストを行う。						A、L
	第13回	【テーマ】対人援助の技術(3) 【計画内容】小さく始めることの意味、スモールステップ法、目標の設定、目標の実行、人は変わるのかについて理解する。 【準備学習の内容】人は変わるのかについて考える。						A、L
	第14回	【テーマ】対人援助の技術(4) 【計画内容】オープンマインド、長いスパンで考えることの意味について理解する。 【準備学習の内容】オープンマインドとは何かを考える。						A、L
	第15回	【テーマ】これからの福祉心理学 【計画内容】福祉心理学の課題、福祉心理学の基本原則を日常生活に適用することについて理解を深める。 【準備学習の内容】福祉心理学の基本原則をどのように日常生活に適用するかを考える。						A、L
テキスト		プリントを配付します						
参 考 書		岡田明・宮本文雄・中山哲志、2002年、『福祉心理学-援助を必要とする人のために-』、ブレーン出版、4892426881 佐藤泰正・中山哲志・桐原宏行、2011年、『福祉心理学総説』、田研出版、9784860890308						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		60%		
	補足			中間		平時		
質問への対応		講義時ならびにコメントシートにて質問を受け付けます。						
資 格		[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必						
そ の 他								

科 目 名		社会学		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		森下 義亜					
授 業 の 目 的	ねらい	人々は常に自身の内や外の社会とともにある社会的な存在である。つまり誕生前から死後も、個人として、また集団、地域社会、国、世界の一員として、常に他者に影響を与え、与えられる存在である。社会学の目的は、その仕組みや影響を独自の視点、言葉、考え方を使って説明および解明することである。本科目では、日本学会会議の社会学分野参照基準に沿いながら、社会的生活の特徴やそこで生じる諸問題の仕組みを多角的に考察する。そしてより多くの人々が互いのことを理解および尊重しつつ、社会の課題を少しずつでも乗り越えていくために役立つ考え方や知識の習得を目指す。					
	到達目標	(1)現代社会の仕組みや課題を、代表的な社会理論をとおして捉えることができるようになる。 (2)当たり前のように営まれている日々の生活を多角的に再考し、人びとの生活に関する理解を深める。 (3)ミクロ-マクロリンクと呼ばれる、人々の行為と社会との間にある関係についての理解を深める。 (4)現代社会における種々の課題や問題点を理解するのに有用な視点や考え方を身につける。 (5)社会に関する複眼的理解を深め、福祉をはじめとする各分野への応用ができるようになる。					
授 業 の 画	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】全体的な授業の流れや成績評価方法について説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読のうえ、テキストの目次を見て各章のテーマを確認しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】社会学の考え方 【計画内容】初期社会学の代表的理論や方法を理解する。また社会の基礎となる相互行為について理解する。 【準備学習の内容】テキストのp.1-p.35を読み、要点の整理と考察をしておくこと。					A、K
	第3回	【テーマ】変容する家族と性 【計画内容】最も基本的な集団である家族の変容を理解する。また現代における性の多様なあり方を理解する。 【準備学習の内容】テキストのp.36-p.59を読み、要点の整理と考察をしておくこと。					A、K
	第4回	【テーマ】要点の整理と確認(1) 【計画内容】第1-3回の内容の要点を抽出して整理し、内容理解の深化と応用力の養成を図る。 【準備学習の内容】第1-3回の内容を復習して理解を深め、応用可能性を検討しておくこと。					K、L
	第5回	【テーマ】労働 産業 消費 【計画内容】労働、産業、消費構造の変化と特徴を理解する。また人々の考え方の変化から、社会の方向性を認識する。 【準備学習の内容】テキストのp.60-p.72を読み、要点の整理と考察をしておくこと。					A、K
	第6回	【テーマ】近年の社会的論点(1) 【計画内容】環境、災害、医療の社会学的なとらえ方を知る。 【準備学習の内容】テキストのp.73-p.97を読み、要点の整理と考察をしておくこと。					A、K
	第7回	【テーマ】口頭発表会(1) 【計画内容】受講生が班に分かれ、所定の形式で発表と質疑応答をおこなう。 【準備学習の内容】指定するトピックに関して要点を整理し、質問を準備しておくこと。					F、H、I
	第8回	【テーマ】要点の整理と確認(2) 【計画内容】既習内容の要点を抽出して整理し、内容理解の深化と応用力の養成を図る。 【準備学習の内容】既習内容を復習して理解を深め、応用可能性を検討しておくこと。					K、L
	第9回	【テーマ】教育の現状と問題 【計画内容】教育問題の特徴や現代日本の教育のあり方を、社会学的に理解する。 【準備学習の内容】テキストのp.98-p.109を読み、要点の整理と考察をしておくこと。					A、K
	第10回	【テーマ】社会問題の社会学 【計画内容】社会問題、また逸脱や格差の社会学的なとらえ方を知る。 【準備学習の内容】テキストのp.110-p.134を読み、要点の整理と考察をしておくこと。					A、K
	第11回	【テーマ】ローカルとグローバル 【計画内容】地域社会の変容と現代の特徴を知る。またグローバル社会の構造と特徴を理解する。 【準備学習の内容】テキストのp.135-p.162を読み、要点の整理と考察をしておくこと。					A、K
	第12回	【テーマ】近年の社会的論点(2) 【計画内容】宗教やメディアが社会および社会学とどのような関係にあるかを知る。 【準備学習の内容】テキストのp.163-p.189を読み、要点の整理と考察をしておくこと。					A、K
	第13回	【テーマ】国家と社会運動 【計画内容】国家や政府の本質について理解する。また社会変革の主体や運動について理解する。 【準備学習の内容】テキストのp.190-p.199を読み、要点の整理と考察をしておくこと。					A、K
	第14回	【テーマ】口頭発表会(2) 【計画内容】受講生が班に分かれ、所定の形式で発表と質疑応答をおこなう。 【準備学習の内容】指定するトピックに関して要点を整理し、質問を準備しておくこと。					F、H、I
	第15回	【テーマ】要点の整理と確認(3) 【計画内容】第9-14回の内容の要点を抽出して整理し、内容理解の深化と応用力の養成を図る。 【準備学習の内容】第9-14回の内容を復習して理解を深め、応用可能性を検討しておくこと。					K、L
テキスト		篠原清夫ほか(編著)、2016年、『大学生のための社会学入門』、晃洋書房、9784771027176					
参 考 書		森下伸也、2000年、『社会学がわかる事典』、日本実業出版社、9784534031730					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分 補足	20% 必ず受験すること		50% 講義内容の理解度評価等		20%	10% 口頭発表(必須)
質問への対応		授業内容に関する質問や要望には授業前、中、後に対応するので、遠慮せずに申し出ること。授業自体の改善につながる理性的かつ建設的な質問や要望には、できる限り速やかに対応する。					
資 格		[ス][教][芸]社会教育主事_選必 [心]精神保健福祉士_選必、社会福祉主事_選必、社会教育主事_選必					
そ の 他		出席、課題提出、確認テストおよび筆記試験の受験は単位取得の必要条件であるが、十分条件ではないことに留意すること。初回に採点と成績評価の方法について明示、説明する。 第16回に最終評価のための試験を実施する予定。受講生の理解度や授業の進捗状況に応じて、適宜内容や進度を調整することがある。課題等の考察例や講評は、それが提出された翌週以降に示す。					

科目名	音楽概論			授業形態	講義	単位数	2
教員名	今井 敏勝						
授業の目的	ねらい	「音楽の理論」に関する基礎知識を定着させるべく、「音楽」がどのように生まれ、表現され、伝わるのか、歴史を踏まえつつ「音楽」の要素である音階やハーモニーの成り立ち、伝達手段としての楽譜の読み方や書き方、表現方法としての声や楽器の種類、構造と発音原理など、さまざまな角度から学びます。					
	到達目標	(1)歴史的背景を踏まえ、音楽理論の基礎を理解する。 (2)伝達手段である「楽譜」を読んで書けるようになる。 (3)各種楽器の基本構造と発音原理を理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義概要の説明及び「音楽」の歴史的変遷を踏まえながら「音楽とは何か?」を考えます。 【準備学習の内容】自分の好きな音楽は何が魅力か考えておくこと。					A
	第2回	【テーマ】音を知る 【計画内容】音楽の素材である「音」について、その特徴や性質の理解を深めます。 【準備学習の内容】音の性質について調べておくこと。					A
	第3回	【テーマ】楽譜を読む・書く 【計画内容】音楽の伝達手段である「楽譜」は何を表わしているのかを理解し、読み書きを行います。 【準備学習の内容】五線紙(音楽ノートなど)に音符を書く練習をしておくこと。					A
	第4回	【テーマ】メロディの成り立ちを考える 【計画内容】音楽の三要素の一つ「メロディ」はどうやってできているのか。骨組みとなる音階を理解します。 【準備学習の内容】音階について調べておくこと。					A
	第5回	【テーマ】ハーモニーの構造を理解する 【計画内容】音楽の三要素の一つ「ハーモニー」はどうやって生まれるのか。骨組みとなる調性と和音について学びます。 【準備学習の内容】「ハーモニー」という言葉の意味は何か調べておくこと。					A
	第6回	【テーマ】リズムとは何かを考える 【計画内容】音楽の三要素の一つ「リズム」はどのような特徴があるのか。「拍子」と「リズム」について学びます。 【準備学習の内容】拍子とリズムの違いを調べておくこと。					A
	第7回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】音楽の三要素について振り返り、確認し理解を深めます。 【準備学習の内容】前回までの内容を復習しておくこと。					A、L
	第8回	【テーマ】楽器～その分類～について考える 【計画内容】楽器を使った音楽表現方法にはどのような形態があるか、また楽器の種類はどのように分類されるか、学びます。 【準備学習の内容】あなたの知っている楽器はいくつありますか?紙に書き出しておくこと。					A、G
	第9回	【テーマ】楽器～管楽器～について学ぶ 【計画内容】管楽器を中心に楽器の歴史と発明を踏まえ、基本構造と発音原理を学びます。 【準備学習の内容】管楽器はどのように音が出るか調べておくこと。					A、H
	第10回	【テーマ】楽器～弦楽器と鍵盤楽器～について学ぶ 【計画内容】弦楽器と鍵盤楽器について歴史と発明を踏まえ、基本構造と発音原理を学びます。 【準備学習の内容】ヴァイオリンとピアノはどうやって音が出るのか調べておくこと。					A、G
	第11回	【テーマ】音楽の形式について知る 【計画内容】音楽はさまざまな形式で創られており、その種類と特徴について学びます。 【準備学習の内容】音楽の形式にはどんなものがあるか調べておくこと。					A、H
	第12回	【テーマ】行進曲とJAZZについて 【計画内容】行進曲のための音楽とJAZZとの密接な関係を探ります。 【準備学習の内容】様々な行進のための音楽を考察しておくこと。					A、G
	第13回	【テーマ】音楽用語について学ぶ 【計画内容】音楽で使用される言葉について本来の意味を知り、適切な表現方法を考えます。 【準備学習の内容】音楽用語は何語か調べておくこと。					A、H
	第14回	【テーマ】演奏形態・スタイルについて 【計画内容】それぞれの演奏表現をする形態・スタイルを学びます。 【準備学習の内容】色々な種類の演奏形態を書き出しておくこと。					A、G
	第15回	【テーマ】まとめと確認 振り返り 【計画内容】楽譜を通じて学んできた音楽の理論と楽器の基本構造や発音原理のまとめと確認をします。 【準備学習の内容】今までの学習記録ノートをまとめておくこと。					A、G
テキスト	自作したプリント配付						
参考書	木下牧子監修、2008年、『図解雑学よくわかる楽典』、ナツメ社、4816345175 緒方英子、2006年、『カラー図解 楽器のしくみ』、日本実業出版社、4534040253 関孝弘/ラーゴ・マリアンジェラ共著、2006年、『イタリアの日常会話から学ぶ これで納得!よくわかる音楽用語のはなし』、全音楽譜出版社、4118802279						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		20%	30%
	補足			レポート課題		平時	小テスト等
質問への対応	初回講義時に説明する。毎回出席カードを提出しそこに質問・感想等を記載し、次回講義にて返答する。						
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修						
その他	ある程度楽譜が読めること。5線ノート(音楽用)と授業ファイル(A4)を用意すること。音楽に興味があり意欲的に授業を受講する学生限定とする。レポート課題(5回程度)があり随時評価(ABCD)する。返却後復習すること。						

科 目 名		ファッションデザイン概論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		大信田 静子、富田 玲子					
授 業 の 目 的	ねらい	ファッションデザインは、形、色彩、素材、更には作り方と着こなしがあり完成する。そして、そのデザインが歴史を作り変わり続ける。ファッションの持つ社会的役割が、どのように変化していったかを検証し、ファッションをどのように生活の中で役立てていけば良いのかを考える。衣服とは何か?自分らしさとは何か?と一緒に考える。					
	到達目標	(1)日常生活の中での衣服・ファッションとは何か?を考え、基礎的要素のデザインから入り、造形・色彩のセオリーを通して内面的・外面的な美しさを学ぶ。 (2)様々なフォーマルシーン(慶弔別)におけるフォーマルウェアのルール・マナーが理解できる。 (3)ファッションデザインの意義と可能性を理解する。 (4)ファッション分野の科目を履修する上で指針となる。					
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 講義の紹介をし、15回の講義展開を説明します。(大信田静子) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】 衣服・ファッションとは 【計画内容】 衣服はいつから始まり、どのような衣類を纏っていたのでしょうか。歴史も含めながらみていきます。(大信田静子) 【準備学習の内容】 ファッションについて考えておくこと。					A
	第3回	【テーマ】 衣服・ファッションと身体について① 【計画内容】 人はなぜ洋服を着用するのか。歴史的な被服と身体装飾から探っていきます。(大信田静子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。					A
	第4回	【テーマ】 衣服・ファッションと身体について② 【計画内容】 衣服の目的としての実用性と表現、身体保護と機能性を考えていきます。(大信田静子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。					A
	第5回	【テーマ】 衣服・ファッションと身体について③ 【計画内容】 ファッションが人に及ぼすイメージと色彩及び錯視についてみていきます。(大信田静子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。					A
	第6回	【テーマ】 衣服・ファッションと身体について④ 【計画内容】 衣服の外面的・内面的美しさと個性について考えていきます。(大信田静子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を熟読しておくこと。					A
	第7回	【テーマ】 まとめとレポート提出 【計画内容】 第2回-第6回までの内容についてまとめ、レポートを提出します。(大信田静子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を熟読しておくこと。					G
	第8回	【テーマ】 ファッションをデザインする 【計画内容】 服飾に関するデザインのプロセスについて学び、ファッションにおける大切な要素について考えます。(富田玲子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。					A
	第9回	【テーマ】 20世紀のファッション①洋装における昼のフォーマルシーン 【計画内容】 男女別に正礼装、準礼装、略礼装について、オケージョンに合わせたドレスコードを理解します。(富田玲子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。					A
	第10回	【テーマ】 20世紀のファッション②洋装における夜のフォーマルシーン 【計画内容】 男女別に正礼装、準礼装、略礼装について、オケージョンに合わせたドレスコードを理解します。(富田玲子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。					A
	第11回	【テーマ】 20世紀のファッション③洋装における喪服シーン 【計画内容】 男女別に正礼装、準礼装、略礼装について、オケージョンに合わせたドレスコードを理解します。(富田玲子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。					A
	第12回	【テーマ】 まとめと確認ならびにレポート提出 【計画内容】 第8回-第11回までの内容についてまとめ、レポートを提出します。(富田玲子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。					A
	第13回	【テーマ】 20世紀のファッション④制服 【計画内容】 制服から発展した現代ファッションを世界に送り出してきたトラディショナル・スタイル(メンズスタイル)について学びます。(富田玲子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。					A
	第14回	【テーマ】 20世紀のファッション⑤デザインの源泉 【計画内容】 ヴィオネと三宅一生の発想と展開について学びます。(富田玲子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。					A、B
	第15回	【テーマ】 まとめとレポートについて 【計画内容】 これまでのまとめと確認を行います。(富田玲子) 【準備学習の内容】 プリントを読み復習しておくこと。					A
テキスト		2013年、『フォーマルウェア・ルールブック』、日本フォーマルウェア協会 プリントを使用します					
参 考 書		ジョアン・フィンケルシュタイン 成実弘至訳、2007年、『ファッションの文化社会学』、せりか書房、9784796702799 ペティ・カーク、2002年、『VIONNET』、求龍堂、9784763097309					
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		20%		20%	
	補足	最終		レポート		平時	
質問への対応		大信田静子 630研究室 E-Mail: shisieva@hokusho-u.ac.jp 富田玲子 640研究室 E-Mail: reiko@hokusho-u.ac.jp					
資 格							
そ の 他							

科目名	インテリアデザイン				授業形態	演習	単位数	2
教員名	千里 政文							
授業の目的	ねらい インテリアデザインを学習する上で必要な、基本的知識の習得を目的とする。インテリアデザインの成立要素、人体寸法、インテリアと人間工学、内装材料、モジュールと工業化、室内環境の要素、室内環境と法規において理解し、インテリアデザインの基本的手法を習得する。 習得目標 (1)本講義は、インテリアにおけるデザインの基礎を修得することを目指す。 (2)本講義を通じて、インテリアデザインのための必要な知識と技術を身に付ける。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション インテリアデザインとは 【計画内容】 講義内容を具体的に説明する。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておく。						A
	第2回	【テーマ】 インテリア計画と人体寸法(モジュールと尺貫法) 【計画内容】 インテリア計画と人体寸法(モジュールと尺貫法)について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。						A、J
	第3回	【テーマ】 インテリア計画と内装材料(床・壁・天井) 【計画内容】 インテリア計画と内装材料(床・壁・天井)について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。						A、J
	第4回	【テーマ】 インテリア計画と構造・構法・建具・住宅設備 【計画内容】 インテリア計画と構造・構法・建具・住宅設備について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。						A、J
	第5回	【テーマ】 インテリア計画と法規 【計画内容】 インテリア計画と法規について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。						A、J
	第6回	【テーマ】 インテリア計画と室内環境(シックと換気) 【計画内容】 インテリア計画と室内環境(シックと換気)について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。						A、J
	第7回	【テーマ】 インテリアデザインの手法 【計画内容】 インテリアデザインの手法について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。						A、J
	第8回	【テーマ】 平面図とその表現法 【計画内容】 演習課題により具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。						A、J
	第9回	【テーマ】 展開図とその表現法 【計画内容】 演習課題により具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。						A、J
	第10回	【テーマ】 子ども部屋におけるインテリアの工夫事例と遠近法スケッチの小演習 【計画内容】 演習課題により具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。						A、J
	第11回	【テーマ】 子ども部屋における色彩等の工夫事例と遠近法スケッチの小演習 【計画内容】 演習課題により具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。						A、J
	第12回	【テーマ】 展開図と3次元の表現法の小演習 【計画内容】 演習課題により具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。						A、J
	第13回	【テーマ】 理想のマイルームの小演習 【計画内容】 演習課題により具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。						A、J
	第14回	【テーマ】 小演習とプレゼンテーションの仕方 【計画内容】 演習課題により具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。						F、J
	第15回	【テーマ】 小演習の発表プレゼンテーション 【計画内容】 完成した小演習課題をプレゼンテーションする。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。						F
テキスト	Airprah. 2014年、『超図解で全部わかるインテリアデザイン入門』、エクスナレッジ、9784767818764 『人にやさしい北国のユニバーサルデザイン』							
参考書	関連資料・演習用資料を適宜配付します 文部科学省、『中学校学習指導要領解説 美術編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説 芸術編』							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			60%		40%		
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格								
その他	受講するには、指定の教科書を入手し、持参することが必要となります。							

科 目 名		ユニバーサルデザイン		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		千里 政文					
授 業 の 目 的	ねらい	建築計画をユニバーサルデザインの視点を取り入れ学ぶ。少子超高齢社会に対応するための、保育園・幼稚園、小・中・高校、各種学校、高齢者施設・医療施設をはじめ都市計画について学び、多くの人々に使いやすく、多様なニーズに対応可能な、これからの社会に対応できる建築計画について習得する。					
	到達目標	(1)建築基準法「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)」から、少子超高齢社会に対応した建築計画を学ぶ。 (2)建築家ロン・メイスによる提案された「アクセスしやすい建築」の視点、すなわちユニバーサルデザインから建築計画を学ぶ。 (3)人体寸法・動線計画、集住計画・高齢者施設・グループホーム・医療施設・学校教育施設・地域コミュニティ施設等について学ぶ。 (4)本授業を通じて、少子超高齢社会に対応できる建築計画の知識と技術を身に付ける。					
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】 建築計画における国土交通省の取り組みについて 【計画内容】 建築計画における国土交通省の取り組み：バリアフリー新法(高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】 アクセスしやすい建築(建築家ロン・メイスとユニバーサルデザイン) 【計画内容】 アクセスしやすい建築について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A
	第3回	【テーマ】 建築計画と人体寸法(乳児から後期高齢者まで) 【計画内容】 乳児から後期高齢者までの人体寸法について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A
	第4回	【テーマ】 高齢者・身体障害者に対応した細部計画(動作寸法、廊下・階段の計画、バリアフリーデザイン、ユニバーサルデザイン) 【計画内容】 動作寸法、廊下・階段の計画、バリアフリーデザイン、ユニバーサルデザインについて具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A
	第5回	【テーマ】 超高齢社会のための建築計画(在宅介護を可能にする建築計画) 【計画内容】 高齢になっても対応可能な住宅計画を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第6回	【テーマ】 少子超高齢社会における動線計画 【計画内容】 少子超高齢社会における動線計画について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第7回	【テーマ】 集住計画(集合住宅、シェアハウス、世代間交流) 【計画内容】 集住計画について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第8回	【テーマ】 高齢者施設(高齢者施設の種類、サービスの種類、各部門の計画) 【計画内容】 高齢者施設について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第9回	【テーマ】 認知症高齢者グループホームと障害者グループホームの建築計画 【計画内容】 認知症高齢者グループホームと障害者グループホームの建築計画について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第10回	【テーマ】 医療施設(病院・診療所) 【計画内容】 医療施設(病院・診療所)について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第11回	【テーマ】 学校教育施設と地域コミュニティ計画(小学校・中学校、保育所・幼稚園建築と都市計画) 【計画内容】 学校教育施設と地域コミュニティ計画について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第12回	【テーマ】 加齢に伴う建築計画(色の識別変化と色彩計画、照明計画) 【計画内容】 加齢に伴う建築計画について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第13回	【テーマ】 住宅・都市のバリアフリー計画(少子超高齢社会への対応) 【計画内容】 住宅・都市のバリアフリー計画について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第14回	【テーマ】 都市計画(ノーマライゼーション・コンパクトシティ含) 【計画内容】 都市計画について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第15回	【テーマ】 本授業のまとめ 【計画内容】 本授業で学び習得してきた内容について振り返り、授業全体をまとめつつ、これからの建築計画のあり方を考える。 【準備学習の内容】 これまでの学習内容を再確認しておくこと。					A、G
テキスト		『人にやさしい北国のユニバーサルデザイン』					
参 考 書		自作プリントを配付します 〈建築のテキスト〉編集委員会編、2000年、『初めての建築計画(建築のテキスト)』、学芸出版社、9784761530907 福田健策著、2003年、『専門士課程建築計画』、学芸出版社、9784761523046					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足			60%		40%	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資 格		[芸]1・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必					
そ の 他		受講するには、指定の教科書を入手し、持参することが必要となります。					

学部共通科目

科 目 名		生涯スポーツ学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		川西 正志						
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、運動・スポーツの実践に関わる促進・阻害要因として、生涯の各時期における社会・環境要因や個人要因(性・年齢・性格・職業・体力等)を捉えて議論する。幅広い年代や多様な特性をもつ人々に向けて生涯スポーツを推進していく上で、指導者の役割や必要な資質について講ずる。氷雪寒冷圏域における生涯スポーツの基礎的理論とその現状や課題について理解を深める。						
	到達目標	(1)生涯スポーツの概念、内容への理解を深める。 (2)各ライフステージ別の運動・スポーツ実践に関する特性について理解する。 (3)氷雪寒冷地における生涯スポーツの現状と特徴について理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 講義の概要と展開、評価について確認します。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】 スポーツとは?歴史と概念 【計画内容】 スポーツの歴史的背景や生涯スポーツの概念・意義について考えます。 【準備学習の内容】 生涯スポーツに対する現在の考えをまとめておく。						A、K
	第3回	【テーマ】 高齢者スポーツの現状と課題 【計画内容】 高齢者の運動・スポーツ実践の現状と課題について考えます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。						A、K
	第4回	【テーマ】 青少年スポーツの現状と課題 【計画内容】 青少年スポーツの現状と課題について考えます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。						A、K
	第5回	【テーマ】 スポーツの文化的価値 【計画内容】 文化論的立場からの生涯スポーツの意義について理解します。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。						A、K
	第6回	【テーマ】 我が国のスポーツ振興とスポーツクラブ運営 【計画内容】 日本のスポーツ振興へのスポーツクラブの経営課題について理解します。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。						A、K
	第7回	【テーマ】 運動実践による健康づくり事業の現状と課題Ⅰ(グループで健康づくり教室の企画をします) 【計画内容】 身体活動量や運動習慣の事業を理解し、グループで企画します。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。						A、H
	第8回	【テーマ】 運動実践による健康づくり事業の計画演習Ⅱ(グループで健康づくり教室の企画をします) 【計画内容】 運動・スポーツ実践の具体的なプログラムについてグループグループで企画します。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。						A、H
	第9回	【テーマ】 運動実践による健康づくり事業の計画演習Ⅲ(グループで健康づくり教室の企画をまとめます) 【計画内容】 運動・スポーツ実践の具体的なプログラムについてグループ相互で発表し討論し、最終レポートをまとめます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。						A、F、H
	第10回	【テーマ】 氷雪寒冷地における運動・スポーツ実践の特性と動向 【計画内容】 氷雪寒冷地における運動・スポーツ実践の特性について考えます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。						A、K
	第11回	【テーマ】 生涯スポーツ指導者制度 【計画内容】 生涯スポーツ指導者資格と取得制度について考えます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。						A、K
	第12回	【テーマ】 スポーツ施設の運営管理 【計画内容】 スポーツ施設の運営管理で指定管理やPFIについて考えます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。						A、K
	第13回	【テーマ】 日本の生涯スポーツの推進に向けて 【計画内容】 生涯スポーツの推進に向けた施策について調べます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。						A、K
	第14回	【テーマ】 生涯スポーツ研究の現状と課題 【計画内容】 生涯スポーツ学研究の課題について考えます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。						A、K
	第15回	【テーマ】 振り返り、まとめとテスト 【計画内容】 生涯スポーツの意義と課題について、これまでの授業内容を整理します。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。						A、K
テキスト		川西正志・野川春夫、2018年、『改訂4版 生涯スポーツ実践論 生涯スポーツを学ぶ人たちに』、市村出版、9784902109474 追加する必要な資料については、講義時に説明する。						
参 考 書		川西正志・野川春夫監訳、『ヨーロッパ諸国のスポーツクラブ～異文化比較のためのスポーツ社会学』、市村出版、9784902109184						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	70%		10%		20%		
	補 足							
質問への対応		初回講義時に説明します。						
資 格		[ス]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修						
そ の 他								

科 目 名	生涯スポーツ学				授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名	小坂井 留美							
授 業 の 目 的	ねらい	生涯スポーツの概念や広まってきた背景を学ぶ。幅広い年代や多様な特性をもつ人々に向けて生涯スポーツを推進していく中で必要な、各年代や生涯を通じて起こりうる心身の変化や取り巻く社会環境について理解し、運動・スポーツとの関係で考察する。						
	到達目標	(1)生涯スポーツの概念や生涯スポーツ政策について説明できる。 (2)ライフステージ毎に、特性と望ましい生涯スポーツのあり方を理解する。 (3)生涯スポーツ社会の実現と生涯スポーツ振興について、支援者、指導者が果たす役割を具体的に提案できる。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】生涯スポーツの定義 【計画内容】生涯スポーツの定義と特色、その背景を理解する。 【準備学習の内容】演習ノート第1章をまとめてくる。						A
	第2回	【テーマ】生涯スポーツの歴史 【計画内容】日本および世界の生涯スポーツ政策の変遷と特徴を理解し、スポーツ振興計画とスポーツ立国戦略に掲げられた具体的目標をあげられるようにする。北海道の生涯スポーツ政策にも触れる。 【準備学習の内容】演習ノート第2章をまとめてくる。						A
	第3回	【テーマ】余暇とスポーツ 【計画内容】日本のレジャー・レクリエーション政策とスポーツとのかかわりを理解する。 【準備学習の内容】演習ノート第3章をまとめてくる。						A
	第4回	【テーマ】生涯スポーツとビジネス 【計画内容】生涯スポーツのビジネス化とマーケティングについて現状を理解し、スポーツ振興の視点から波及効果について考える。 【準備学習の内容】演習ノート第4章をまとめてくる。						A
	第5回	【テーマ】生涯スポーツとヘルスプロモーション 【計画内容】高齢社会を迎え健康づくりのために生涯スポーツが求められる役割と、生涯スポーツを通じた健康づくりのマネジメントを学ぶ。 【準備学習の内容】演習ノート第5章をまとめてくる。						A、H
	第6回	【テーマ】地域社会と生涯スポーツイベント 【計画内容】スポーツイベントによる生涯スポーツ振興や、スポーツツーリズムの事例を取り上げ、経済波及効果やスポーツによる地域活性化について理解する。 【準備学習の内容】演習ノート第6章をまとめてくる。						A
	第7回	【テーマ】生涯スポーツ指導者とボランティア 【計画内容】生涯スポーツ指導者の社会的制度について学ぶ。指導者養成と各資格等の役割、スポーツボランティアの果たす役割と現状について理解する。 【準備学習の内容】演習ノート第7章をまとめてくる。						A
	第8回	【テーマ】青少年のスポーツ参加 【計画内容】青少年のスポーツ参加の動向と、生涯スポーツ振興施策について理解する。子どもの体力の傾向や学校体育や部活動の問題、スポーツ障害等を取り上げ、各ライフステージにおける現状と望ましい生涯スポーツのあり方を理解する。 【準備学習の内容】演習ノート第8章をまとめてくる。						A、K
	第9回	【テーマ】高齢者のスポーツ 【計画内容】少子・高齢社会におけるスポーツの役割を理解する。高齢者の健康づくり施策や具体的な介護予防プログラムについて学ぶ。 【準備学習の内容】演習ノート第9章をまとめてくる。						A
	第10回	【テーマ】障がい者のスポーツ 【計画内容】障がい者とスポーツについて歴史と現状を学ぶ。障がい者スポーツの定義とノーマライゼーションについて理解する。リハビリテーションスポーツの意義や、大会運営、選手育成、指導者養成のシステムにも触れる。 【準備学習の内容】演習ノート第10章をまとめてくる。						A
	第11回	【テーマ】女性スポーツの現状と課題 【計画内容】女性スポーツについて歴史と現状を学ぶ。女性スポーツの促進や指導上の課題を理解する。 【準備学習の内容】演習ノート第14章をまとめてくる。						A
	第12回	【テーマ】生涯スポーツとニューススポーツ 【計画内容】競技スポーツの近代的価値観に対抗するニューススポーツの特性と歴史について学ぶ。北海道における事例を取り上げ、ニューススポーツの普及と課題を考察する。 【準備学習の内容】演習ノート第11章をまとめてくる。						A、D
	第13回	【テーマ】スポーツクラブの現状と課題 【計画内容】スポーツクラブを中心としたコミュニティ・スポーツの振興と施策を学び、日本の地域スポーツクラブにおける現状と課題を理解する。 【準備学習の内容】演習ノート第12章をまとめてくる。						A
	第14回	【テーマ】スポーツクラブの運営 【計画内容】ヨーロッパ諸国を中心としたスポーツクラブの現状と日本における具体的事例を学ぶ。スポーツクラブの経営と、クラブマネジャーの役割を理解する。 【準備学習の内容】演習ノート第13章をまとめてくる。						A
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】各回の内容を振り返り、生涯スポーツ振興において自らの果たす役割について考察する。 【準備学習の内容】演習ノート第15章をまとめてくる。						A、L
テキスト	川西正志・野川春夫、2018年、『改訂4版 生涯スポーツ実践論 生涯スポーツを学ぶ人たちに』、市村出版、9784902109290							
参 考 書	森谷繁監修、2006年、『生涯スポーツと運動の科学』、市村出版、9784902109077 日下裕弘・加納弘二、2010年、『生涯スポーツの理論と実際』、大修館書店、4469266981							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足	40%		20%		40%		
質問への対応	初回講義時に説明します。							
資 格	[健]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修							
そ の 他	第16回に最終評価のためのテストを行います。							

科 目 名		生涯学習論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		谷川 松芳					
授 業 の 目 的	ねらい	本講では、生涯学習の基本的なことについて学習する。人々が生涯のいつでも自由に学習機会を選択し学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような社会の実現を目指すためのあり方を学ぶ。さらに、生涯学習と生涯教育の関連構造、生涯学習と社会教育、生涯学習と自己形成の関わりなどについて学ぶ。あわせて、国内外の生涯学習の歴史的背景などについて学習する。					
	到達目標	(1)生涯学習の基礎基本を理解する。 (2)生涯学習支援者としての知識や技能を理解する。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】生涯学習の目的 【計画内容】ガイダンス・生涯学習の目的を学ぶ。 【準備学習の内容】生涯学習振興法及び教育基本法を熟読しておくこと。					A、G
	第2回	【テーマ】生涯学習と生涯学習社会 【計画内容】ユネスコ成人教育国際委員会のポール・ラングランにより生涯教育の提言を学ぶ。 【準備学習の内容】ユネスコについて調べておくこと。					A、G
	第3回	【テーマ】生涯学習の意義と理念 【計画内容】生涯学習の意義について学ぶ。 【準備学習の内容】生涯学習振興法及び教育基本法を熟読しておくこと。					A、G
	第4回	【テーマ】生涯学習と社会教育の関連構造 【計画内容】生涯学習と社会教育の関連構造について学ぶ。 【準備学習の内容】社会教育法を熟読しておくこと。					A、G
	第5回	【テーマ】社会教育の専門的職員 【計画内容】社会教育の専門的職員について学ぶ。 【準備学習の内容】社会教育法及び生涯学習審議会における各種答申を熟読しておくこと。					A、G
	第6回	【テーマ】日本における生涯学習の歴史 【計画内容】日本の生涯学習の歴史(各種審議会答申)から学ぶ。 【準備学習の内容】生涯学習審議会答申を熟読しておくこと。					A、G
	第7回	【テーマ】日本における生涯学習の推進方策 【計画内容】日本の生涯学習推進状況から学ぶ。 【準備学習の内容】国内の生涯学習推進状況を事前に調べておくこと。					A、G
	第8回	【テーマ】北海道行政における生涯学習推進体制 【計画内容】北海道の生涯学習推進体制から学ぶ。 【準備学習の内容】北海道生涯学習推進本部設置規則を調べておくこと。					A、G
	第9回	【テーマ】市町村の自治体行政における生涯学習推進体制 【計画内容】市町村における生涯学習推進計画及び生涯学習推進体制の事例から学ぶ。 【準備学習の内容】市町村における教育計画について調べておくこと。					A、G
	第10回	【テーマ】諸外国の生涯学習推進体制 【計画内容】諸外国の生涯学習体制から学ぶ。 【準備学習の内容】韓国の生涯学習について調べておくこと。					A、G
	第11回	【テーマ】生涯学習関連施設 【計画内容】生涯学習を推進する関連施設の現状と役割から学ぶ。 【準備学習の内容】学習関連施設等を事前に調べておくこと。					A、G
	第12回	【テーマ】生涯学習とリカレント教育の関連構造 【計画内容】生涯学習とリカレント教育の意義と役割を学ぶ。学び直しができるシステムを学ぶ。 【準備学習の内容】職業教育の意義について調べておくこと。					A、G
	第13回	【テーマ】生涯学習による自己形成 【計画内容】生涯学習による自己形成のあり方を学ぶ。 【準備学習の内容】学習の目的について、自分自身の考え方をまとめておくこと。					A、G
	第14回	【テーマ】生涯学習によるまちづくり活動 【計画内容】生涯学習によるまちづくり活動のあり方を学ぶ。人としての地域貢献のあり方を学ぶ。 【準備学習の内容】まちづくり活動の目的を考えておくこと。					A、G
	第15回	【テーマ】生涯学習論のまとめ 【計画内容】生涯学習は、生涯学習社会の実現をめざすためにあることを学ぶ。生涯学習論をふり返り、小論文を作成する。 【準備学習の内容】第14回までの授業をまとめておくこと。					L
テキスト		プリントを使用する					
参 考 書		講義時に資料を配付する					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分			60%		40%	
	補 足			毎時レポート			
質問への対応		講義の前後で行います。					
資 格		[ス][健]社会教育主事_必修					
そ の 他		地方公務員として市町村職員及び教育委員会の社会教育主事を目指す学生を求む。					

科 目 名		栄養と健康		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		黒田 裕太					
授 業 の 目 的	ねらい	戦後の生活水準の向上は、栄養摂取過多や偏りをもたらし、生活習慣病の大きな原因となっている。本講義では、栄養素の役割、栄養素の代謝および生理学的意義を理解し、日常摂取している栄養素等の理解を深める。同時に、日常生活における食習慣や食生活を考える機会とする。また、2年次に開講される「スポーツ栄養学」の基礎知識を習得することを目的とする。					
	到達目標	(1)各栄養素の役割を理解する。 (2)食習慣や栄養摂取の重要性を意識する。 (3)個人の栄養状態を評価し食生活の改善策をたてることができる。 (4)講義で得た知識を利用し、理想的な食習慣および生活習慣を構築することができる。 (5)「スポーツ栄養学」の基礎知識の習得をする。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】講義ガイダンス 【計画内容】本講義の内容を紹介し、15回の授業展開や参考資料等の説明をする。 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく読んでおくこと(シラバス持参)。					A
	第2回	【テーマ】日本人の食生活および生活習慣の変化と疾病との関連性 【計画内容】健康な生活を実現する上で、「食と運動」の組み合わせを考慮することがとても重要である。本講義では日本人の食生活および生活習慣の変化と疾病の関連性を理解してもらう。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む(厚生労働省のホームページを参照)。					A
	第3回	【テーマ】食物摂取と消化吸収 【計画内容】 栄養素別の消化・吸収について学ぶ。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。					A
	第4回	【テーマ】 栄養素とその機能①炭水化物 【計画内容】 炭水化物、特に糖質の栄養学的特徴、日常および運動時におけるエネルギー源としての重要性について学ぶ。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。					A
	第5回	【テーマ】 栄養素とその機能②脂質 【計画内容】 脂質の栄養学的特徴、摂取の現状の問題点について学ぶ。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。					A
	第6回	【テーマ】 栄養素とその機能③たんぱく質 【計画内容】 たんぱく質の栄養学的特徴、体内代謝、栄養価評価法について学ぶ。摂取すべきたんぱく質の量および付随する栄養素との関連について理解する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。					A
	第7回	【テーマ】 栄養素とその機能④ビタミン 【計画内容】 ビタミンの栄養学的機能について学ぶ。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。					A
	第8回	【テーマ】 栄養素とその機能⑤ミネラル 【計画内容】 ミネラルの栄養学的機能について学ぶ。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。					A
	第9回	【テーマ】 水分の役割と水分補給 【計画内容】 水の機能、1日の水分出納と脱水症状について学ぶ。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。					A
	第10回	【テーマ】 エネルギー消費量および摂取量の算定方法 【計画内容】 運動強度、継続時間による三大栄養素のエネルギー源としての利用度を知る。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。					A
	第11回	【テーマ】 栄養アセスメントの理解 【計画内容】 栄養素摂取量の算定方法および栄養状態の評価・判定の目的を理解する。また、社会的背景を踏まえ、成人期のメタボリックシンドロームおよび高齢期の低栄養について理解する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。					A
	第12回	【テーマ】 ライフステージ別の栄養学 【計画内容】 乳幼児期、青年期、成人期および高齢期における生理的・身体的特徴から、食生活の重要性を理解する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。					A
	第13回	【テーマ】 スポーツ栄養学 【計画内容】 2年次に実施される「スポーツ栄養学」の内容の一部を紹介をする。「スポーツ栄養学」は本授業の基礎知識があつて理解できる内容となっている。そのため、本授業での知識がどのように生かされるのか理解してもらう。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。					A
	第14回	【テーマ】 栄養および食事指導の基本および事例紹介 【計画内容】 体重の増減のしくみと事例紹介。その事例報告から食生活を考察し、運動および食事エネルギー出納のコントロールによる適切な減量計画の立て方を考える。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。					A、B
	第15回	【テーマ】 栄養と健康のまとめ 【計画内容】 本講義の総まとめを実施する。 【準備学習の内容】 これまでの講義プリントを復習し、講義内容を整理しておくこと。					A、L
テキスト	講義時に説明します						
参 考 書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	90%				10%	
補 足							
質問への対応	オフィスアワー(4月中に発表)または講義後を活用してください。						
資 格	[ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、JATI認定トレーニング指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修、社会教育主事_選必 [健]健康運動実践指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修、社会教育主事_選必						
そ の 他	2年次の「スポーツ栄養学」を受講希望している学生は、本講義を受講することが望ましい。 課題等のフィードバックは必要に応じて個別対応をする。						

科 目 名		健康学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		小田 史郎						
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、現代社会に生きる我々がどのように健康づくりを実践していけばよいかについての基礎知識を身につけることを目的とする。講義内容は、栄養・運動・休養の3要素を中心に、心の問題や環境問題、性別や年齢別の健康問題など多岐にわたる。また具体的な取り組み事例や健康づくり行動継続のための心理的な手法についても学ぶ。講義では、それぞれのテーマにおける科学的な根拠を紹介し、これらに基づいた健康づくりを学生自身が考えるという流れで進める。						
	到達目標	(1)健康づくりが様々な側面からなされていることを理解し、総合的に考える力を身につける。 (2)健康づくりに関する正しい知識を選択する力を身につける。 (3)行動変容理論に基づき、健康づくり行動を継続するための工夫ができるようになる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス・健康の考え方 【計画内容】 講義の進め方と健康の考え方について学ぶ。 【準備学習の内容】 シラバスをよく読んでおく。					A、G	
	第2回	【テーマ】 わが国の健康づくり施策 【計画内容】 第1次健康づくり対策から健康日本21(第2次)にかけて、わが国の健康づくり施策の流れとその背景について学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。					A、G	
	第3回	【テーマ】 健康づくりのための身体活動基準2013とアクティブガイド 【計画内容】 健康づくりのための身体活動基準2013とアクティブガイドについて学ぶ 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。					A、G	
	第4回	【テーマ】 健康運動指導者の社会的役割について 【計画内容】 健康運動指導士や健康運動実践指導者の役割とその意義について学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。					A、G	
	第5回	【テーマ】 健康と運動の関係について 【計画内容】 運動が健康にどのように影響しているかについて学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。					A、G	
	第6回	【テーマ】 健康と栄養の関係について 【計画内容】 栄養素の役割や食生活と健康づくりのかかわりについて学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。					A、G	
	第7回	【テーマ】 健康と休養の関係について 【計画内容】 健康づくりにおいて、休養がどのような役割を果たしているかについて学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。					A、G	
	第8回	【テーマ】 睡眠の役割について 【計画内容】 なぜ睡眠が必要かについて学ぶとともに睡眠の構造について理解する。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。					A、B、G	
	第9回	【テーマ】 睡眠の評価方法について 【計画内容】 質問紙などを使用して、睡眠を評価する方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。					A、G	
	第10回	【テーマ】 睡眠をとりまく問題と対策について 【計画内容】 わが国が抱える睡眠問題とその対策について学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。					A、G	
	第11回	【テーマ】 健康日本21(第2次)における社会環境の整備 【計画内容】 社会環境を整える重要性和健康日本21(第2次)における位置づけについて学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。					A、G	
	第12回	【テーマ】 ストレスの考え方と評価法 【計画内容】 ストレスの考え方と評価法について学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。					A、G	
	第13回	【テーマ】 ストレスマネジメントとカウンセリング 【計画内容】 ストレスマネジメントとカウンセリングについて学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。					B、G	
	第14回	【テーマ】 運動の健康行動(禁煙など)への影響 【計画内容】 運動の健康行動(禁煙など)への影響について学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。					A、G	
	第15回	【テーマ】 行動変容理論について 【計画内容】 健康づくりの行動に至らない理由をふまえ、行動変容理論に基づいた工夫や仕掛けについて学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。					A、G	
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	50%		50%				
	補足	第16回に実施						
質問への対応		研究室での対応のほか、メールでも対応します。E-Mail:os@hokusho-u.ac.jp						
資 格		[ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修 [健]介護福祉士_選必、健康運動実践指導者_必修						
そ の 他								

科目名	介護予防論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	小田 史郎、小坂井 留美、吉田 修大							
授業の目的	ねらい	今後の超高齢社会に対応していくためには、高齢者がサービスの受け手ではなく、担い手として活躍できるような社会への転換を図っていくことが求められている。本講義では、住民主体の介護予防事業を支援できるように、介護予防を推進していくための知識や技術を習得することを目的とする。						
	到達目標	(1)住民が主体となった介護予防推進の重要性について理解する。 (2)介護予防リーダーについて理解し、介護予防に関する基礎的な知識を習得する。 (3)住民主体の介護予防実践例をもとに、効果的に進めるためのポイントについて理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション・介護予防リーダーとは？ 【計画内容】講義の展開予定について説明する。住民主体の介護予防が求められる背景、介護予防リーダーについて理解する。(小田史郎) 【準備学習の内容】シラバスを読んできてください。					A、G	
	第2回	【テーマ】介護予防計画についての報告会 【計画内容】2年生が「介護予防実践演習」で作成した介護予防計画についての報告会に参加し、学びについて理解する。(小田史郎) 【準備学習の内容】報告会の発表予稿集を読んできてください。					B	
	第3回	【テーマ】介護予防と老年学(1) 【計画内容】超高齢社会に関する人口統計学データを理解し、これらをもとに自分たちにできることを考える。(吉田修大) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。					A、G、K	
	第4回	【テーマ】介護予防と老年学(2) 【計画内容】超高齢社会に関する人口統計学データを理解し、これらをもとに自分たちにできることを考える。(吉田修大) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。					A、G、K	
	第5回	【テーマ】介護予防に必要な運動学(1) 【計画内容】運動器の機能向上プログラムに関する知識として筋の名称や働きを学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。					A、G、K	
	第6回	【テーマ】介護予防に必要な運動学(2) 【計画内容】運動器の機能向上プログラムに関する知識として姿勢の評価方法を学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。					A、H	
	第7回	【テーマ】老年症候群の早期発見(1) 【計画内容】介護予防のターゲットである老年症候群について学ぶ。(小坂井留美) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。					A、G、K	
	第8回	【テーマ】老年症候群の早期発見(2) 【計画内容】老年症候群の早期発見のためのスクリーニングツールについて学ぶ。(小坂井留美) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。					B、G、K	
	第9回	【テーマ】筋力増強トレーニング論(1) 【計画内容】筋力を増強するトレーニング方法について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。					B、G、H	
	第10回	【テーマ】筋力増強トレーニング論(2) 【計画内容】筋力を増強するトレーニング方法について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。					B、G、H	
	第11回	【テーマ】転倒予防トレーニング(1) 【計画内容】転倒予防のトレーニング法について学ぶ。(小坂井留美) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。					A、G、H	
	第12回	【テーマ】転倒予防トレーニング(2) 【計画内容】転倒予防のトレーニング法について学ぶ。(小坂井留美) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。					B、G、H	
	第13回	【テーマ】口腔機能の向上(1) 【計画内容】口腔機能は何かを理解し、低下を予防するポイントやトレーニングについて学ぶ。(外部講師) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。					A、B、G、H	
	第14回	【テーマ】口腔機能の向上(2) 【計画内容】口腔機能は何かを理解し、低下を予防するポイントやトレーニングについて学ぶ。(外部講師) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。					A、B、G、H	
	第15回	【テーマ】学習のまとめ 【計画内容】これまで学んだことをまとめる。(小田史郎) 【準備学習の内容】これまでの講義で配付された資料を読み返して復習する。					B、G、H	
テキスト	講義内で提示します							
参考書	講義内で提示します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			40%		60%		
質問への対応	講義全体についての質問は小田先生、それ以外の学習内容等についてはそれぞれの担当教員が対応します。							
資格								
その他								

科目名		スポーツ心理学		授業形態	講義	単位数	2
教員名		吉田 聡美					
授業の目的	ねらい	スポーツ競技において良い成績をあげるためには、技術面・体力面に加え、心理面も重要な要素である。この講義では、自分自身がスポーツをしているときの心の動きを考察しながら基礎知識を学び、スポーツ活動や運動パフォーマンスを促進するために必要な心理的スキルを学習します。また、スポーツ場面特有の心理的現象やその対処法についての認識を深め、以下のことを到達目標とします。					
	到達目標	(1)スポーツ活動や運動のパフォーマンスにおいてメンタルマネジメントが重要であることを理解する。 (2)心理的スキルについての内容を理解でき、その方法を説明することができる。 (3)競技力向上及び実力を発揮するための適切な指導をするために、自分自身を客観的に把握し理解することができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス、スポーツの心理①スポーツと心の関係 スポーツ心理学とは 【計画内容】講義の実施方法、評価方法などについて紹介し、15回の講義展開を説明します。スポーツが心理面に与える影響、特にスポーツ心理学の概略を学びます。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読及び指定した教科書、ワークブックの第1章を読んでおくこと。					A、K、L
	第2回	【テーマ】 スポーツの心理②自己分析 【計画内容】 スポーツ活動を行う上で心の要素はどのように関与するか、特に競技スポーツにおいては実力発揮や競技力向上をするための心理的側面及び心理的スキルについて学びます。 【準備学習の内容】 指定した教科書、ワークブックの第2章を読んでおくこと。					A、G
	第3回	【テーマ】 スポーツにおける動機付け 【計画内容】 動機付けが果たす役割、動機づけ理論について学びます。 【準備学習の内容】 指定した教科書、ワークブックの第3章を読んでおくこと。					A、K、L
	第4回	【テーマ】 スポーツにおける動機付けと目標設定 【計画内容】 動機付けを高める方法、目標設定の原理原則・効果について学びます。 【準備学習の内容】 指定した教科書、ワークブックの第4章を読んでおくこと。					A、K、L
	第5回	【テーマ】 覚醒水準とパフォーマンスの関係 【計画内容】 スポーツ競技場面での適切な覚醒水準、リラックス・サイキングアップとはどういう事なのかを学び、さらに実際に体験します。 【準備学習の内容】 指定した教科書、ワークブックの第5章を読んでおくこと。					A、K、L
	第6回	【テーマ】 注意集中力とは 【計画内容】 注意集中の種類、高め方について学びます。また、実際に体験し、どのようなにスポーツ場面で生かすか検討します。 【準備学習の内容】 指定した教科書、ワークブックの第6章前半を読んでおくこと。					A、H、K
	第7回	【テーマ】 集中力を高める方法 【計画内容】 集中力が乱れる要因について学び、集中力が途切れる場面や症状に応じた対処方法を学びます。 【準備学習の内容】 指定した教科書、ワークブックの第6章の後半を読んでおくこと。					A、K、L
	第8回	【テーマ】 イメージトレーニングとは 【計画内容】 イメージトレーニングの目的、種類、効果、高め方、注意点等について学び、また、各競技に合わせたトレーニング方法を検討します。 【準備学習の内容】 指定した教科書、ワークブックの第7章を読んでおくこと。					A、K、L
	第9回	【テーマ】 思考のコントロール 【計画内容】 試合前後の思考や積極的な思考をする目的や効果について学び、自己の思考を分析することを通して、競技能力や実力を発揮することができることを学びます。 【準備学習の内容】 指定した教科書、ワークブックの第8章、9章を読んでおくこと。					A、K、L
	第10回	【テーマ】 コーチングの心理①効果的な指導方法 【計画内容】 リーダーシップやコーチングについて学び、指導する上で必要な哲学やコーチングの方法について学ぶことを通して、勝利のみではなく人間的な成長力を高める方法を考えます。 【準備学習の内容】 指定した教科書、ワークブックの第11、12章を読んでおくこと。					A、K、L
	第11回	【テーマ】 コーチングの心理②スポーツスキルの習得 【計画内容】 技能習熟の過程において一般的に見られる法則性を理解した上で、練習条件や内容、個人差に応じた指導法のポイントを学びます。 【準備学習の内容】 指定した教科書第13章 ワークブック12章を読んでおくこと					A、K、L
	第12回	【テーマ】 コーチングの心理③個性を考慮した指導 【計画内容】 選手の個別指導と心理的問題コミュニケーションのポイントをについて示し、心理的問題解決のための相談の基本姿勢を学びます。 【準備学習の内容】 指定したワークブック第14章を読んでおくこと					A、H、K
	第13回	【テーマ】 チームワークとチームビルディング 【計画内容】 集団とチームの違い、チーム形成のプロセスやチームワークを高める要素について学び、役割を遂行することの大切や信頼関係を高めることの重要性について学びます。 【準備学習の内容】 指定した教科書、ワークブックの第10章を読んでおくこと。					A、K、L
	第14回	【テーマ】 ストレスと心の健康 【計画内容】 ストレスの概要を学び、運動を持続するためには、どのようなことが重要か行動変容理論を踏まえて理解を深める。 【準備学習の内容】 指定した教科書、ワークブック第15章を読んでおくこと。					A、K、L
	第15回	【テーマ】 メンタルトレーニングの実践とこれまでの振り返り 【計画内容】 これまでの学習を振り返りと考えの共有ならびにまとめを行います 【準備学習の内容】 毎回配付したプリントの復習とテキストやワークブック内容の理解を深めておくこと。					A、L
テキスト		養内豊・竹田唯史・吉田聡美、2016年、『基礎から学ぶスポーツ心理学 改訂版』、中西出版、9784891153182 吉田聡美、2016年、『資格に役立つスポーツ心理学ワークブック 改訂版』、中西印刷 プリントを使用します					
参考書		日本スポーツ心理学会、2016年、『スポーツメンタルトレーニング教本』、大修館書店 文部科学省、『中学校学習指導要領保健体育編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領保健体育編』					
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		25%		25%	
	補足			毎回のプリント		積極的発言	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。E-Mail: ssyyy@juno.ocn.ne.jp					
資格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修、JATI認定トレーニング指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修、レク・コーディネーター_必修 [健]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修					
その他		シラバスの順番は前後することがあります。講義で説明します。休講の場合は、補講日で実施します。					

科 目 名		スポーツ運動学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		廣田 修平						
授 業 の 目 的	ねらい	競技スポーツ現場や学校体育の指導において、学習者の“動き”を把握し、改善していくことは指導者にとって重要な役目である。運動を覚える、また覚えさせるという活動は単純に知識の獲得だけで存在するものではなく、動き方の知として実際の運動を通して成立していくものである。この講義では、スポーツにおける運動学習の基礎理論としての学習位相、運動質、運動構造、運動技術、運動観察の概念を、人間学的・現象学的立場から概説し、運動方法論についても認識を深める。そしてスポーツ指導者、保健体育教員としての基本的知識を身につけることがねらいである。						
	到達目標	(1)学習位相、運動質、運動構造、運動技術、運動観察の概念を理解し、実際の運動学習の事例に結び付けて問題点を抽出できるようにする。 (2)運動学習で生じる様々な問題を解決するための視点について理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】 スポーツ運動学の概要とねらいについて理解する。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておく。						A
	第2回	【テーマ】運動学習と学習位相① 【計画内容】 運動学習の概念と学習位相の概要を理解する。 【準備学習の内容】 参考図書を概観しておく。						A、G
	第3回	【テーマ】運動学習と学習位相② 【計画内容】 事例に基づき、運動の習得に関する基本的理解と、運動の粗協調について理解する。 【準備学習の内容】 前回の学習記録をまとめておく。						A、G、J
	第4回	【テーマ】運動学習と学習位相③ 【計画内容】 事例に基づき、運動の精協調、運動の安定化について理解する。 【準備学習の内容】 前回の学習記録をまとめておく。						A、G、J
	第5回	【テーマ】運動質論① 【計画内容】 スポーツ運動系における動きの質について理解する。 【準備学習の内容】 参考図書を概観しておく。						A、G
	第6回	【テーマ】運動質論② 【計画内容】 運動の局面構造と運動リズムの概念を理解する。 【準備学習の内容】 前回の学習記録をまとめておく。						A、G
	第7回	【テーマ】運動質論③ 【計画内容】 マイネルによる運動質カテゴリーの概要を理解する。 【準備学習の内容】 前回の学習記録をまとめておく。						A、G
	第8回	【テーマ】運動質論④ 【計画内容】 運動の質的評価の視点を実際の事例に基づいて考える。 【準備学習の内容】 前回の学習記録をまとめておく。						A、G、J
	第9回	【テーマ】運動技術論① 【計画内容】 スポーツ運動系における運動技術の概念を理解する。 【準備学習の内容】 参考図書を概観しておく。						A、G
	第10回	【テーマ】運動技術論② 【計画内容】 運動技術の特性を実際の事例に基づいて検討する。 【準備学習の内容】 前回の学習記録をまとめておく。						A、G、J
	第11回	【テーマ】運動技術論③ 【計画内容】 事例に基づき、運動技術の指導法とその問題点について検討する。 【準備学習の内容】 前回の学習記録をまとめておく。						A、G、J
	第12回	【テーマ】運動観察論① 【計画内容】 運動の他者観察の概念を理解する。 【準備学習の内容】 参考図書を概観しておく。						A、G
	第13回	【テーマ】運動観察論② 【計画内容】 運動共感能力の概念と、実際の運動指導におけるその必要性を理解する。 【準備学習の内容】 前回の学習記録をまとめておく。						A、G、J
	第14回	【テーマ】運動観察論③ 【計画内容】 運動の自己観察の概念と、運動学習におけるその重要性を理解する。 【準備学習の内容】 前回の学習記録をまとめておく。						A、G
	第15回	【テーマ】運動方法論とまとめ 【計画内容】 運動学習の基礎理論を踏まえ、運動の指導方法を学習・検討する。また、今後の運動学が目指す方向性と課題を理解する。 【準備学習の内容】 前回までの学習記録をまとめておく。						A、G、L
テキスト		プリントを配付します						
参 考 書		金子明友・朝岡正雄他、1990年、『運動学講義』、大修館書店 金子明友、2005年、『身体知の形成』、明和出版 金子明友他、1996年、『教師のための運動学』、大修館書店						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足	60%		20%		20%		
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修						
そ の 他		第16回に最終評価のための試験を行います。						

科 目 名	生理学				授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名	柴田 啓介							
授 業 の 目 的	な い	生理学は、生体の器官や細胞などの機能を研究する学問である。1年次後学期に「運動生理学」を学ぶ足掛かりとなる知識を得ることを目指す。主に運動やトレーニングにつながる部分について学習する。						
	到達目標	(1)筋収縮の仕組みやエネルギー供給機構について説明できる。 (2)神経の種類や役割について説明できる。 (3)呼吸・循環の仕組みや働きについて説明できる。 (4)内分泌系の種類や役割について説明できる。						
	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 15回の講義の内容や進め方について説明する。 【準備学習の内容】 シラバスを持参してください。						A
	第2回	【テーマ】 栄養とエネルギー 【計画内容】 栄養素およびそれらのエネルギーとしての利用について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。						A
授 業 の 計 画	第3回	【テーマ】 消化吸収と代謝 【計画内容】 摂取した栄養の吸収と代謝について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。						A
	第4回	【テーマ】 筋収縮のエネルギー供給機構 【計画内容】 筋収縮に関わる3つのエネルギー供給機構について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。						A
	第5回	【テーマ】 筋の構造と種類 【計画内容】 人体の筋の構造や種類について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。						A
	第6回	【テーマ】 筋収縮のメカニズムと筋力発揮 【計画内容】 筋が収縮する仕組みと筋力発揮様式について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。						A
	第7回	【テーマ】 神経組織 【計画内容】 神経系の構造や筋との関わりについて学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。						A
	第8回	【テーマ】 感覚 【計画内容】 感覚の種類と仕組みについて学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。						A
	第9回	【テーマ】 呼吸 【計画内容】 呼吸に関わる器官の構造と呼吸の仕組みについて学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。						A
	第10回	【テーマ】 血液と循環 【計画内容】 血液の組成や循環の仕組みについて学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。						A
	第11回	【テーマ】 内分泌系 【計画内容】 ホルモンの種類と作用について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。						A
	第12回	【テーマ】 骨 【計画内容】 骨の構造や組成について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。						A
	第13回	【テーマ】 体温 【計画内容】 体温の調節機構について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。						A
	第14回	【テーマ】 運動による身体機能の適応 【計画内容】 運動に伴う長期的な適応について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。						A
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 講義のまとめとして内容の確認を行う。 【準備学習の内容】 前回までの講義の復習をしておく。						A
テキスト	テキストは使用しない							
参 考 書	中島雅美、2013年、『運動・からだ図解 生理学の基本』、マイナビ、9784839947736 富樫健二、2013年、『スポーツ生理学』、科学同人、9784759817089							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	60%				40%		
	補 足							
質問への対応	講義前後に口頭で対応します。							
資 格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修 [健]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修							
そ の 他								

科 目 名		運動生理学		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		井出 幸二郎					
授 業 の 目 的	ねらい	酸素運搬系(呼吸・循環系を含む)、エネルギー代謝系、健康運動と血液生化学、加齢、生活習慣病と運動、メタボリックシンドロームと運動、などの諸項目を現代社会で進む運動不足の問題に対比させつつ運動の効用の観点から知識化できるように講ずる。					
	到達目標	(1)神経中枢(脳)で運動・スポーツがどのように計画され司令されるかを説明できる。 (2)骨格筋の収縮メカニズムを説明できる。 (3)骨格筋の収縮のためにエネルギーがどのように賄われるかを説明できる。 (4)骨格筋の収縮に必要な酸素を呼吸・循環・内分泌系がどのように連携し、供給するかを説明できる。 (5)骨格筋に代謝基質を呼吸・循環・内分泌系がどのように連携し、供給するかを説明できる。					
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】脳・神経系と運動 【計画内容】脳・神経系による運動の調節について学びます。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおいて下さい。講義に集中できる準備が望まれます。					A
	第2回	【テーマ】脳・神経系と運動 【計画内容】脳・神経系による運動の調節について学びます。 【準備学習の内容】配布資料を読んで考えを持っておきます。					A、L
	第3回	【テーマ】骨格筋収縮 【計画内容】格筋収縮様式(短縮性収縮、等張性収縮、伸張性収縮)、骨格筋の種類(遅筋、速筋)、骨格筋の収縮メカニズムについて、学びます。 【準備学習の内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。					A、L
	第4回	【テーマ】運動とエネルギー 【計画内容】骨格筋の収縮に必要なエネルギー代謝について学びます。 【準備学習の内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。					A、L
	第5回	【テーマ】運動と呼吸1 【計画内容】骨格筋の収縮に必要な酸素をどのように取り込み、代謝産物である二酸化炭素をどのように排出するかについて学びます。 【準備学習の内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。					A、L
	第6回	【テーマ】運動と呼吸2 【計画内容】骨格筋の収縮に必要な酸素をどのように取り込み、代謝産物である二酸化炭素をどのように排出するかについてや、肺疾患や心疾患の影響について、学びます。 【準備学習の内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。					A、L
	第7回	【テーマ】運動と循環1 【計画内容】体内に取り込んだ酸素をどのように骨格筋へ供給するかを学びます。 【準備学習の内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。					A、L
	第8回	【テーマ】運動と循環2 【計画内容】体内に取り込んだ酸素をどのように骨格筋へ供給するか、身体的トレーニングや心疾患の影響についてを学びます。 【準備学習の内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。					A、L
	第9回	【テーマ】運動と内分泌1 【計画内容】骨格筋の収縮に必要なエネルギー基質をどのように供給するか、内分泌系の役割についてを学びます。 【準備学習の内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。					A、L
	第10回	【テーマ】運動と内分泌2 【計画内容】運動に伴う体液量の変化に対する内分泌系の役割についてを学びます。 【準備学習の内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。					A、L
	第11回	【テーマ】運動と疲労 【計画内容】運動に伴う骨格筋及び中枢の疲労について学びます。 【準備学習の内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。					A、L
	第12回	【テーマ】運動と環境 【計画内容】身体的パフォーマンスに対する高所環境、暑熱環境、寒冷環境の影響について学びます。 【準備学習の内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。					A、L
	第13回	【テーマ】運動と生活習慣病 【計画内容】生活習慣病に対して身体運動がどのように有効にはたらくかを学びます。 【準備学習の内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。					A、L
	第14回	【テーマ】加齢による身体機能の低下と健康 【計画内容】加齢による身体的な変化とそれに対する身体運動の可能性について学びます。 【準備学習の内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。					A、L
	第15回	【テーマ】運動と免疫能 【計画内容】運動が免疫能に与える影響について学びます。 【準備学習の内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。					A、L
テキスト		資料を配付します					
参 考 書		山地啓司ほか、2012年、『スポーツ・運動生理学概説』、明和出版、9784901933247 上杉尹宏ほか、2016年、『生涯スポーツと運動の科学』、市村出版					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		25%		25%	
補 足							
質問への対応		学内メール、講義にて口頭・文書などにて、または講義でアポイントを取ってください。					
資 格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修、健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修、JATI認定トレーニング指導者_必修、アスレティックトレーナー_必修、レク・コーディネーター_必修					
そ の 他		前学期の「生理学」を単位修得済みであること。					

スポーツ教育学科 学 科 専 門 科 目

科目名	スポーツ教育学概論			授業形態	講義	単位数	2
教員名	永谷 稔、阿部 達彦、上田 知行、菊地 はるひ、小坂井 留美、竹田 唯史、吉田 真						
授業の目的	ねらい	生涯スポーツ社会における、スポーツ教育の意義・役割・対象・目的・内容などの理解を深め、それらに携わる人材となるべく、関係資格取得について理解する。					
	到達目標	(1)スポーツ教育について理解する。 (2)特別支援教育、障がい者スポーツについて理解する。 (3)健康運動指導およびアスレティックトレーナーについて理解する。 (4)競技スポーツについて理解する。 (5)各種資格取得について理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 講義の概要について説明を行う。(永谷稔) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を精読すること。					A、K
	第2回	【テーマ】 生涯スポーツとは 【計画内容】 生涯スポーツの意義・役割・内容について理解する。(小坂井留美) 【準備学習の内容】 生涯スポーツについて調べてくること。					A、K
	第3回	【テーマ】 生涯スポーツ振興について 【計画内容】 スポーツ立国戦略、スポーツ基本法、スポーツ基本計画、総合型地域スポーツクラブについて理解する。(小坂井留美) 【準備学習の内容】 スポーツ立国戦略、スポーツ基本法、スポーツ基本計画について調べてくること。					A、K
	第4回	【テーマ】 スポーツ教育について 【計画内容】 スポーツ教育の内容・概要について理解する。(竹田唯史) 【準備学習の内容】 スポーツ教育の意義・役割・対象・目的について調べてくること。					A、K
	第5回	【テーマ】 障がい者スポーツについて 【計画内容】 障がい者スポーツの内容・概要について理解する。(阿部達彦) 【準備学習の内容】 障がい者スポーツについて調べてくること。					A、K
	第6回	【テーマ】 健康運動指導について 【計画内容】 健康運動指導の内容・概要について理解する。(上田知行) 【準備学習の内容】 健康運動指導の内容について調べてくること。					A、K
	第7回	【テーマ】 アスレティックトレーナーについて 【計画内容】 アスレティックトレーナーの内容・概要について理解する。(吉田真) 【準備学習の内容】 アスレティックトレーナーの仕事内容について調べてくること。					A、K
	第8回	【テーマ】 競技スポーツについて① 【計画内容】 競技スポーツにおける「選手」に求められる資質について理解する。(菊地はるひ) 【準備学習の内容】 選手に求められる資質について考えてくること。					A、K
	第9回	【テーマ】 競技スポーツについて② 【計画内容】 競技スポーツにおける「指導者」に求められる資質について理解する。(永谷稔) 【準備学習の内容】 指導者に求められる資質について考えてくること。					A、K
	第10回	【テーマ】 保健体育教諭免許について 【計画内容】 保健体育教諭の役割および免許取得について理解する。(竹田唯史) 【準備学習の内容】 保健体育教諭免許取得について学生便覧等で確認してくること。					A、K
	第11回	【テーマ】 特別支援学校教諭免許および障害者スポーツ指導員資格について 【計画内容】 特別支援学校教諭の免許取得および障害者スポーツ指導員資格取得について理解する。(阿部達彦) 【準備学習の内容】 特別支援学校教諭免許および障害者スポーツ指導員資格取得について学生便覧等で確認してくること。					A、K
	第12回	【テーマ】 健康運動指導士資格について 【計画内容】 健康運動指導士の資格取得について理解する。(上田知行) 【準備学習の内容】 健康運動指導士の資格取得について学生便覧等で確認してくること。					A、K
	第13回	【テーマ】 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者について 【計画内容】 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の役割および資格取得について理解する。(永谷稔) 【準備学習の内容】 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格取得について学生便覧等で確認してくること。					A、K
	第14回	【テーマ】 アスレティックトレーナー資格について 【計画内容】 アスレティックトレーナーの資格取得について理解する。(吉田真) 【準備学習の内容】 アスレティックトレーナーの資格取得について学生便覧等で確認してくること。					A、K
	第15回	【テーマ】 そのほかスポーツ指導資格について 【計画内容】 エアロビック指導員・ジュニアスポーツ指導員・アシスタントマネージャー・JATIなどの資格取得について理解する。(菊地はるひ) 【準備学習の内容】 エアロビック指導員・ジュニアスポーツ指導員・アシスタントマネージャー・JATIなどの資格取得について学生便覧等で確認してくること。					A、K
テキスト	適宜プリントを用意します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
補足							
質問への対応	各担当教員のオフィスアワーで対応します。						
資格	[ス]JPSUスポーツトレーナー_必修、レク・コーディネーター_必修						
その他	適宜、課題(ミニレポート)を課します。 スポーツ教育を学ぶ学生として、また今後指導する立場になる学生として、積極的な受講姿勢であることを期待しています。						

科目名	基礎解剖学				授業形態	講義	単位数	2
教員名	高田 真吾							
授業の目的	ねらい	人体の組織および器官がどのような構造で成り立ち、どのような機能を持っているかを理解することを目的とする。特に、身体運動の基本となる受動的運動器である骨格系と能動的運動器である筋系の形態と機能を重点的に学ぶ。						
	習得目標	(1)人体の基礎的な構造に関し、その名称と働きを理解する。 (2)身体運動に関わる構造、形態、機能を理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】解剖学総論 【計画内容】解剖学の概念および細胞・組織・器官・系統・方向・面について学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】骨格系(1) 【計画内容】骨および関節の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第3回	【テーマ】骨格系(2) 【計画内容】頭部・体幹・胸部・腹部・上肢・下肢の骨について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第4回	【テーマ】筋系(1) 【計画内容】筋および軟部組織の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第5回	【テーマ】筋系(2) 【計画内容】頭部・体幹・胸部の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第6回	【テーマ】筋系(3) 【計画内容】腹部・背部の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第7回	【テーマ】筋系(4) 【計画内容】上肢・手の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第8回	【テーマ】筋系(5) 【計画内容】下肢・足の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第9回	【テーマ】脳・神経系 【計画内容】中枢神経・末梢神経の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第10回	【テーマ】循環系 【計画内容】心臓・血管の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第11回	【テーマ】呼吸器系 【計画内容】呼吸、ガス交換の機序と肺の構造について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第12回	【テーマ】内分泌系 【計画内容】身体の働きの調節機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第13回	【テーマ】感覚器系 【計画内容】感覚受容器の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第14回	【テーマ】消化器・泌尿器系 【計画内容】消化器・腎臓の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第15回	【テーマ】基礎解剖学総括・テスト 【計画内容】これまでの学習を振り返り、自己の課題を明らかにする。 【準備学習の内容】テキスト・ノートを熟読し、前回までの授業内容を復習し、理解を深めておくこと。						A
テキスト	細田多穂監修、2015年、『シンプル理学療法学 作業療法学シリーズ 運動器系解剖学テキスト』、南江堂、4524262032							
参考書	竹内修二監修、2012年、『カラー図解 人体解剖の基本がわかる事典』、西東社							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	60%		30%		10%		
	補足							
質問への対応	講義終了時に具体的な説明をします。							
資格	[ス]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修、健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修 [健]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修							
その他	健康運動実践指導者、健康運動指導士、教職希望者は履修することが望ましい。人間の身体の基礎を学ぶ授業であり、学習量も多くなるので、必ず毎回の授業の復習を行って、知識を積み重ねていくことが望ましい。							

科目名		機能解剖学	授業形態	講義	単位数	2
教員名		吉田 真				
授業の目的	ねらい	本講義は解剖学における人体の基本的構造の知識を基盤に、人体の運動発現がどのような仕組みで行われるのかについて筋骨格系を中心に理解を深めることを目的とする。筋骨格を構成する骨の名称、筋の名称と付着、支配神経、関節および靱帯の基本構造と機能について解説し、各種関節の基本的な関節運動について学ぶ。				
		(1)各部位の基礎解剖と運動について理解できる。 (2)各部位の運動時に関与する骨、筋、関節、靱帯、神経支配を同定できる。				
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション・機能解剖学概論 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の講義展開を説明します。また、機能解剖学の概論について解説します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。また、テキスト「解剖学総論」を読んでおくこと。				A
	第2回	【テーマ】骨格系 【計画内容】骨と関節・靱帯について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「骨総論」と「関節・靱帯総論」を読んでおくこと。				A、K
	第3回	【テーマ】筋系 【計画内容】筋について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「筋系総論」を読んでおくこと。				A、K
	第4回	【テーマ】肩関節の解剖と運動 【計画内容】肩関節の機能解剖と運動について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「肩関節」「骨格系の各論：上肢骨」「筋系の各論：胸部の筋、上肢の筋」「神経系の末梢神経系」「循環器系の鎖骨下動脈と上肢の動脈」を読んでおくこと。				A、K
	第5回	【テーマ】肘関節の解剖と運動 【計画内容】肘関節、前腕の機能解剖と運動について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「肘関節、前腕」「骨格系の各論：上肢骨」「筋系の各論：上肢の筋」「神経系の末梢神経系」を読んでおくこと。				A、K
	第6回	【テーマ】手関節、手指の解剖と運動 【計画内容】手関節、手指の機能解剖と運動について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「手関節、手指」「骨格系の各論：上肢骨」「筋系の各論：上肢の筋」「神経系の末梢神経系」を読んでおくこと。				A、K
	第7回	【テーマ】股関節の解剖と運動 【計画内容】股関節の機能解剖と運動について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「股関節」「骨格系の各論：下肢骨」「筋系の各論：下肢の筋」「神経系の末梢神経系」「循環器系：大腿動脈と下肢の動脈」を読んでおくこと。				A、K
	第8回	【テーマ】膝関節の解剖と運動 【計画内容】膝関節の機能解剖と運動について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「膝関節」「骨格系の各論：下肢骨」「筋系の各論：下肢の筋」「神経系の末梢神経系」を読んでおくこと。				A、K
	第9回	【テーマ】足関節、足部、足趾の解剖と運動 【計画内容】足関節、足部、足趾の機能解剖と運動について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「足関節、足部、足趾」「骨格系の各論：下肢骨」「筋系の各論：下肢の筋」「神経系の末梢神経系」を読んでおくこと。				A、K
	第10回	【テーマ】頸部の解剖と運動 【計画内容】頸部の機能解剖と運動について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「頸部」「骨格系の各論：脊柱」「筋系の各論：頸部の筋」「神経系の末梢神経系」を読んでおくこと。				A、K
	第11回	【テーマ】胸部、胸郭の解剖と運動 【計画内容】胸部、胸郭の機能解剖と運動について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「胸部、胸郭」「骨格系の各論：脊柱」「筋系の各論：胸部の筋」「神経系の末梢神経系」を読んでおくこと。				A、K
	第12回	【テーマ】腰部、骨盤の解剖と運動 【計画内容】腰部、骨盤の機能解剖と運動について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「腰部、骨盤」「骨格系の各論：脊柱」「筋系の各論：腹部の筋、背部の筋」「神経系の末梢神経系」を読んでおくこと。				A、K
	第13回	【テーマ】上肢の解剖と運動 【計画内容】上肢3関節の解剖と運動について振り返ります。 【準備学習の内容】テキスト「肩関節」「肘関節、前腕」「手関節、手指」「骨格系の各論：上肢骨」「筋系の各論：胸部の筋、上肢の筋」「神経系の末梢神経系」「循環器系の鎖骨下動脈と上肢の動脈」を読んでおくこと。				L
	第14回	【テーマ】下肢の解剖と運動 【計画内容】下肢3関節の解剖と運動について振り返ります。 【準備学習の内容】テキスト「股関節」「膝関節」「足関節、足部、足趾」「骨格系の各論：下肢骨」「筋系の各論：下肢の筋」「神経系の末梢神経系」「循環器系の大腿動脈と下肢の動脈」を読んでおくこと。				L
	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】これまでの講義内容を振り返り、本講義の到達度を確認します。 【準備学習の内容】第1回～第14回までの講義内容について復習し、理解を深めておくこと。				L
テキスト		細田多穂監修、2015年、『運動器系解剖学テキスト』、南江堂、9784524262038				
参考書		ドナルド・A・ニューマン(著)嶋田智明(監訳)、2012年、『筋骨格系のキネシオロジー』、医歯薬出版株式会社、9784263213957 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト編集班、2010年、『公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト2 運動器の解剖と機能』、日本スポーツ協会 坂井建雄・松村譲児監訳、2016年、『プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第3版』、医学書院、9784260025348				
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度
	配分	60%				40%
質問への対応		オフィスアワーの時間帯に953研究室にて対応します。				
資格		[ス]JATI認定トレーニング指導者_必修、アスレティックトレーナー_必修				
その他		「基礎解剖学」を履修済みであることが望ましい。				

科目名		トレーニング論		授業形態	講義	単位数	2
教員名		山本 敏美					
授業の目的	ねらい	体力の意義を学び、トレーニング理論と方法を学習する。対象や目的に応じた適切な身体運動のトレーニング方法の知見を広げる。その為にトレーニング全般に関する基礎理論と応用の知識を学ぶ。内容は競技スポーツ分野、フィットネス(一般)分野、高齢者から子どもに対してなどあらゆる対象に適したトレーニング方法の習得を目指す。					
	到達目標	(1)あらゆるニーズに対応したトレーニングプログラムの計画、作成することができる。 (2)トレーニングの原理原則を説明できる (3)トレーニングの正しい知識の理解と説明を行うことができる。					
	目標						
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 授業の内容と進め方を説明する。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読すること。					A
	第2回	【テーマ】 体力とトレーニング論 【計画内容】 トレーニングと体力、指導者とはなど、トレーニングの概要について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第1章第1節」を読んでおくこと。					A
	第3回	【テーマ】 トレーニング計画の立案と進め方 【計画内容】 トレーニングの原理・原則について説明し、トレーニングプログラム作成の全体的手順について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第1節」を読んでおくこと。					A
	第4回	【テーマ】 筋力トレーニングのプログラム作成と計画1 【計画内容】 筋力トレーニングの目的と効果、プログラムを構成する要素など、筋力トレーニングのプログラムの条件設定、計画について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第2節」を読んでおくこと。					A
	第5回	【テーマ】 筋力トレーニングのプログラム作成と計画2 【計画内容】 筋力トレーニングの実施に当たり、動作スピード、補助方法、呼吸法などについて学びます。また、筋肥大、筋力向上、筋持久力などトレーニング目的に応じた条件設定方法、計画についても学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第2節」を読んでおくこと。					A
	第6回	【テーマ】 パワー向上トレーニングの理論 【計画内容】 パワーの基本概念、力の立ち上がり率、パワー発揮様式の分類などについて学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第3節」を読んでおくこと。					A
	第7回	【テーマ】 パワー向上トレーニングのプログラム作成と計画 【計画内容】 パワー向上トレーニングのプログラム戦略、プログラム変数、反動動作における生理学的基礎、プライオメトリクスなどのパワー向上トレーニングの実施方法、計画について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第3節」を読んでおくこと。					A
	第8回	【テーマ】 持久力向上トレーニングの理論 【計画内容】 持久力に関する基礎理論、有酸素性持久力向上トレーニング及び無酸素性持久力向上トレーニングに対する基本的な適応について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第4節」を読んでおくこと。					A
	第9回	【テーマ】 持久力向上トレーニングのプログラム作成と計画 【計画内容】 持久力向上トレーニングのプログラム作成の基本を説明し、持久力を向上させる代表的トレーニング手段、方法、計画などについて学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第4節」を読んでおくこと。					A
	第10回	【テーマ】 スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成と計画 【計画内容】 スピードの概念、要因、スピード向上トレーニングの基本動作、エクササイズ、計画などについて学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第5節」を読んでおくこと。					A
	第11回	【テーマ】 調整力向上トレーニングの理論とプログラム作成と計画 【計画内容】 調整力(平衡性、巧緻性、敏捷性)の概念、トレーニングの実施方法、計画について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第5節」を読んでおくこと。					A
	第12回	【テーマ】 柔軟性向上トレーニングの理論 【計画内容】 柔軟性を規定する要因、関節可動域の制限因子、各関節可動域について、またストレッチングの基礎理論、効果、方法について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第6節」を読んでおくこと。					A
	第13回	【テーマ】 柔軟性向上トレーニングのプログラム作成と計画 【計画内容】 柔軟性プログラムの実施方法、ウォーミングアップとクールダウンの理論と効果、分類、方法、計画について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第6節」を読んでおくこと。					A
	第14回	【テーマ】 特別な対象のためのトレーニングとプログラム作成と計画 【計画内容】 メタボリックシンドローム、高齢者、妊婦、子どもに対するトレーニングプログラムの概念、効果、実施方法について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第7節」を読んでおくこと。					A
	第15回	【テーマ】 トレーニング論のまとめと振り返り 【計画内容】 これまでの講義のまとめと振り返り、テストの実施を行います。 【準備学習の内容】 これまでの講義内容について復習し、理解を深めておくこと。					A
テキスト		NPO法人日本トレーニング指導者協会、2016年、『トレーニング指導者テキスト「実践編」改訂版』、大修館書店、9784469267549					
参考書		講義時に説明します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%				50%	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資格		[ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修、JATI認定トレーニング指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修 [健]健康運動実践指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修					
その他							

科目名	コーチ学					授業形態	講義	単位数	2
教員名	大宮 真一、畠中 智志、竹内 雅明								
授業の目的	ねらい	スポーツ実施者の目的と個人的諸条件を考慮し、技術学だけでなく人間学的な側面をしっかりと理解し、より良い指導方法の基礎を学習する。優れたコーチの資質、役割、技術指導方法、指導計画、評価方法を理解する。また、競技に応じた指導計画の方法とIT機器の活用について学ぶ。							
	到達目標	(1)体育・スポーツ指導に関する基礎理論を理解する。 (2)指導計画、指導過程及び指導技術方法を理解する。 (3)各競技の特性を考えた指導法を理解する。							
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】15回の講義内容を説明し、「コーチ学」という講義で何を学ぶかを明確にする。(全教員) 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておく。							A
	第2回	【テーマ】職業の性質 【計画内容】体育教師・コーチという仕事の性質について考える。(大宮真一) 【準備学習の内容】前回の講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第3回	【テーマ】優れたコーチの資質 【計画内容】コーチとしての考え方、心構え、個性、プレーヤーとの望ましい関係について考える。(竹内雅明) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第4回	【テーマ】コーチの役割について 【計画内容】コーチの役割を果たすために必要な事柄(指導計画のたて方など)を考える。(畠中智志) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第5回	【テーマ】トップアスリートを育てるために～指導者が持つべき視点～ 【計画内容】指導者として成功するための着眼点、育成年代のコーチングについて考える。(大宮真一) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第6回	【テーマ】スキル指導の準備・安全管理 【計画内容】スキル習得のための事前準備・安全管理について考える。(竹内雅明) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第7回	【テーマ】指導上の倫理 【計画内容】体育指導者、コーチとしてふさわしい倫理感とは何かを考える。(畠中智志) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第8回	【テーマ】競技スポーツとIT(情報技術) 【計画内容】スポーツに関連する情報技術・分析について考える。(大宮真一) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第9回	【テーマ】スキルの学習過程 【計画内容】スポーツスキルを学習させる際の留意点について考える。(竹内雅明) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第10回	【テーマ】競技力向上のためのチームマネジメント 【計画内容】効果的なチームマネジメント方法およびミーティング方法を考える。(畠中智志) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第11回	【テーマ】個人競技の指導方法 【計画内容】個人競技に関する指導方法について考える。(大宮真一) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第12回	【テーマ】個人・集団混合競技の指導方法 【計画内容】個人競技要素と集団競技要素を含む種目に関する指導方法について考える。(竹内雅明) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第13回	【テーマ】集団競技の指導方法 【計画内容】集団競技に関する指導方法について考える。(畠中智志) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第14回	【テーマ】指導理念および指導計画の具体化 【計画内容】自身の経験をもと理想とするにコーチ理念および指導計画を作成する。(畠中智志) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、G、F、K
	第15回	【テーマ】コーチの具体的指導法まとめ 【計画内容】前回までの授業を振り返り、理解度を確認する。(全教員) 【準備学習の内容】前回までのノート・プリントを熟読し理解を深めておくこと。							A、H、K
テキスト	プリントを使用します								
参考書	講義時に説明します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	40%		30%		30%			
	補足			レポート					
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。								
資格	[ス]JATI認定トレーニング指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修 [健]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修								
その他	レポートは担当により返却後、講評を行います。								

科目名		生涯スポーツ(水泳・水中運動)			授業形態	実技	単位数	1
教員名		花井 篤子、高屋敷 亨子、中村 恵、畠山 綾子						
授業の目的	ねらい	水中運動は、水の特性である水温・浮力・水圧・抵抗など陸上環境と違う環境の中で運動を行うため、年齢を問わず健康づくりに有益な効果をもたらす運動として多くの人に親しまれている。特に水泳においては技能の獲得が必要なことから、基本泳法のスキルを身につけることを第1の目的とする。また教育者・指導者育成という観点から、水泳及び水中運動の指導力を身につけることを第2の目的とする。スキルを高めるための指導プログラムはもちろんのこと、水泳及び水中運動を安全かつ効果的に行うための水の特性や運動時の体の変化等についても学ぶ。						
	到達目標	(1)水の特性と水泳・水中運動がもたらす生理的特性を理解できる。 (2)水泳の基本的スキルを身につける。 (3)水泳・水中運動の指導方法について学ぶ。						
授業の計画	第1回	【テーマ】授業ガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明する。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。					A	
	第2回	【テーマ】講義：水の特性と効果、水中安全管理 【計画内容】水の特性と水泳・水中運動が身体にもたらす影響や水中安全管理について学び、テーマについてふり返り小レポートを作成する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L	
	第3回	【テーマ】水中運動①泳力ごとに3グループ分け 【計画内容】健康づくりのための水中運動と、水泳の技術度に応じて「初級」・「中級」(中村恵)、「上級」(高屋敷亨子)の3グループにわかれ、各クラス別に目標を設定します。初級は50mクロール、中級は50mクロール・25m背泳・25m平泳ぎ、上級は100m個人メドレーを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】実技に臨む準備を行うこと。					E、G、L	
	第4回	【テーマ】水中運動②基礎練習(1) 【計画内容】健康づくりのための水中運動と、初級は水慣れ、中級は基本姿勢、上級はバタフライドリルを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】初級・中級・上級のクラス到達目標を確認しておくこと。					E、G、L	
	第5回	【テーマ】水中運動③基礎練習(2) 【計画内容】健康づくりのための水中運動と、初級は呼吸練習、中級は基本動作、上級は背泳ぎドリルを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】前回行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。					E、G、L	
	第6回	【テーマ】泳法と技術① 【計画内容】初級はクロール(キック動作)、中級は平泳ぎ(キック)ドリル、上級は平泳ぎドリルを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。					E、G、L	
	第7回	【テーマ】泳法と技術② 【計画内容】初級はクロール(プル動作)、中級は平泳ぎ(プル)ドリル、上級はクロールドリルを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。					E、G、L	
	第8回	【テーマ】泳法と技術③ 【計画内容】初級はクロール(呼吸動作)、中級は背泳ぎドリル、上級は50m泳力練習を学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。					E、G、L	
	第9回	【テーマ】泳力と指導方法① 【計画内容】初級はクロール(キックとプルのコンビネーション)、中級は背泳ぎドリル、上級は50m泳力練習を学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。					E、G、L	
	第10回	【テーマ】泳力と指導方法② 【計画内容】初級はクロール(プルと呼吸のコンビネーション)、中級はクロールドリル、上級は50m泳力練習を学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。					E、G、L	
	第11回	【テーマ】泳力と指導方法③ 【計画内容】初級はクロール(トータルコンビネーション)、中級はクロールドリル・ターン、上級は個人メドレーを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。					E、G、L	
	第12回	【テーマ】総合練習① 【計画内容】初級は背泳ぎドリル、中級は背泳ぎ・クロール・総合練習、上級は個人メドレーを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。					E、G、L	
	第13回	【テーマ】総合練習② 【計画内容】初級はターン・総合練習、中級は背泳ぎ・平泳ぎ・総合練習、上級は個人メドレーを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。					E、G、L	
	第14回	【テーマ】総合練習③ 【計画内容】初級は背泳ぎドリル・ターン・総合練習、中級は総合練習、上級は個人メドレーを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。					E、G、L	
	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの技術の総まとめを行い、各自の泳力を確認する。 【準備学習の内容】総まとめに臨む準備を行っておくこと。					E、G、L	
テキスト		文部科学省、『中学校学習指導要領解説保健体育編』、4827815607 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説保健体育編』、4827814813						
参考書		2016年、『新版 生涯スポーツと運動の科学』、市村出版、9784902109405C1037						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分		50%	30%		20%		
補足								
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修、JPSUスポーツトレーナー_選必						
その他		生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)を履修する者は必ず履修して下さい。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。 各授業後に作成した授業のふり返りのレポートはまとめて第14回授業後に提出して下さい。						

科 目 名		生涯スポーツ(陸上競技)		授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名		大宮 真一、重成 敏史、品田 吉博、松橋 昌巳					
授 業 の 目 的	ねらい	陸上競技における走競技種目(短距離走・中長距離走・ハードル競走・リレー競走など)、跳躍競技種目(走り幅跳び・走り高跳び・三段跳びなど)、投てき競技種目(砲丸投げ・円盤投げ・やり投げなど)の特性を理解し、基本的な技術を習得することにより、各種目の技能向上をはかることを目標とする。また走競技種目では、健康づくりのためのジョギングを指導するために必要な項目についても学ぶ。					
	到達目標	(1)陸上競技各種目の基本的技術を身につける。 (2)陸上競技各種目の概要とルールを学ぶ。 (3)陸上競技各種目における技能向上の指導方法を学ぶ。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 基礎理論 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。(全教員) 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】ウォーキングとジョギングにおける概要と基本的技術 【計画内容】歩行、走行の基本的技術について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。					E、H
	第3回	【テーマ】短距離走における技術向上の指導方法 【計画内容】短距離走におけるスタートダッシュの技術、ピッチ・ストライドを向上させるトレーニング法について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。					E、H
	第4回	【テーマ】短距離走におけるまとめと技能評価 【計画内容】50m走タイムを測定し、全力疾走能力を評価します。測定者はストップウォッチの使用方法、およびスタート合図の仕方について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。					E、H
	第5回	【テーマ】ハードル競走における概要と基本的技術 【計画内容】ハードル競走におけるハードリング技術について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。					E、H
	第6回	【テーマ】ハードル競走における技術向上の指導方法 【計画内容】ハードル競走に必要な体力的要因およびトレーニング方法について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。					E、H
	第7回	【テーマ】ハードル競走におけるまとめと技能評価 【計画内容】50mハードル走のタイムを測定し、技能を評価します。(全教員) 【準備学習の内容】これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。					E、H
	第8回	【テーマ】走り幅跳びにおける概要と基本的技術 【計画内容】走り幅跳びで遠くに跳ぶための原理、空中フォーム、踏切脚・リード脚の技術を学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。					E、H
	第9回	【テーマ】走り幅跳びの技術向上の指導方法 【計画内容】走り幅跳の助走でのリズム、助走距離決定についての指導方法を学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。					E、H
	第10回	【テーマ】走り幅跳びにおけるまとめと技能評価 【計画内容】走り幅跳びの跳躍距離を測定します。測定方法、有効試技と失敗試技について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。					E、H
	第11回	【テーマ】砲丸投げにおける概要と基本的技術 【計画内容】投擲種目を行う際の安全に実施するための留意点について学び、砲丸投げの投法および遠くに飛ばすことの原理について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。					E、H
	第12回	【テーマ】砲丸投げにおける技術向上の指導方法 【計画内容】砲丸投げにおける遠くへ飛ばすためのトレーニング方法を学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。					E、H
	第13回	【テーマ】砲丸投げにおけるまとめと技能評価 【計画内容】砲丸投げの投擲距離を測定します。測定方法、有効試技と失敗試技について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。					E、H
	第14回	【テーマ】リレー競走における概要と基本的技術 【計画内容】リレー競走のルールおよびバトンパスの方法について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。					E、H
	第15回	【テーマ】リレー競走における技術向上の方法と技能評価 【計画内容】リレー競走でタイムが短縮する技術およびトレーニング方法について学び、最後にチーム対抗のリレー競争を実施します。(全教員) 【準備学習の内容】これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。					E、H
テキスト		必要に応じてプリントを配付します					
参 考 書		日本陸上競技連盟編、2013年、『陸上競技指導教本アンダー16・19 基礎から身につく陸上競技初級編』、大修館書店 日本陸上競技連盟編、2013年、『陸上競技指導教本アンダー16・19 レベルアップの陸上競技上級編』、大修館書店 『健康運動実践指導者テキスト』					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分 補 足			40% 各單元ごとのレポート		20% 平時	40% 技能到達度
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資 格		[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必					
そ の 他		競技種目の順序・内容に変更することもあります。 [生涯スポーツ指導演習(陸上競技)]を履修する者は必ず履修してください。					

科 目 名		生涯スポーツ(器械運動)		授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名		川端 茂夫					
授 業 の 目 的	ねらい	器械運動の基礎技能の習得をねらいとして、「マット運動」と「鉄棒運動」、「とび箱運動」を中心に基本的な技術の獲得と技能の向上を目指している。また、器械運動の技の指導法や補助法について学習することも本授業のねらいである。					
	到達目標	(1)マット運動・鉄棒運動・とび箱運動の基本技を習得する。 (2)基本技の学習方法を理解する。 (3)技の評価の視点を理解する。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業全体の説明と授業のねらいを理解する。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておく。					A、E
	第2回	【テーマ】 マット運動 接転技群「前転」の学習 【計画内容】 マット運動の前転に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】 参考図書を概観しておく。					E
	第3回	【テーマ】 マット運動 接転技群「伸膝前転」の学習 【計画内容】 マット運動の伸膝前転に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】 前回の学習記録をまとめておく。					E
	第4回	【テーマ】 マット運動 接転技群「後転」の学習 【計画内容】 マット運動の後転に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】 参考図書を概観しておく。					E
	第5回	【テーマ】 マット運動 接転技群「後転倒立」の学習 【計画内容】 マット運動の後転倒立に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】 前回の学習記録をまとめておく。					E
	第6回	【テーマ】 マット運動 翻転技群「首はねおき」の学習 【計画内容】 マット運動の首はねおきに必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】 参考図書を概観しておく。					E
	第7回	【テーマ】 マット運動 翻転技群「前方倒立回転とび」の学習 【計画内容】 マット運動の前方倒立回転とびに必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。また、マット運動の基本技術をとび箱運動に応用する。 【準備学習の内容】 参考図書を概観しておく。					E
	第8回	【テーマ】 マット運動 マット運動の技術確認 【計画内容】 これまでに行ったマット運動の技術確認を実施し、その反省を行う。 【準備学習の内容】 前回までの学習記録をまとめておく。					E、K、L
	第9回	【テーマ】 鉄棒運動 後方支持回転技群「後方支持回転」の学習 【計画内容】 鉄棒運動の後方支持回転に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】 参考図書を概観しておく。					E
	第10回	【テーマ】 鉄棒運動 前方支持回転技群「前方支持回転」の学習 【計画内容】 鉄棒運動の前方支持回転に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】 参考図書を概観しておく。					E
	第11回	【テーマ】 鉄棒運動 懸垂振動技の学習① 【計画内容】 鉄棒運動の懸垂振動技に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】 参考図書を概観しておく。					E
	第12回	【テーマ】 鉄棒運動 懸垂振動技の学習② 【計画内容】 鉄棒運動の懸垂振動技に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】 前回の学習記録をまとめておく。					E
	第13回	【テーマ】 鉄棒運動 け上がり技群「け上がり」の学習① 【計画内容】 鉄棒運動のけ上がりに必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】 参考図書を概観しておく。					E
	第14回	【テーマ】 鉄棒運動 け上がり技群「け上がり」の学習② 【計画内容】 鉄棒運動のけ上がりに必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】 前回の学習記録をまとめておく。					E
	第15回	【テーマ】 鉄棒運動 鉄棒運動の技術確認 【計画内容】 これまでに行った鉄棒運動の技術確認の実施と全体の学習内容の復習を行う。 【準備学習の内容】 前回までの学習記録をまとめておく。					E、K、L
テキスト		プリントを配付します					
参 考 書		金子明友、1982年、『マット運動』、大修館書店 金子明友、1984年、『鉄棒運動』、大修館書店					
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		70%			30%	
補 足							
質問への対応		初回授業時に説明します。					
資 格		[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必					
そ の 他		教職必修である2年次開講の「生涯スポーツ指導演習(器械運動)」を履修する者は、必ず履修してください。受講者が40名を超える場合は履修者を制限します。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。					

科 目 名		生涯スポーツ(エアロビック)			授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名		是枝 亮						
授 業 の 目 的	ねらい	エアロビックは、健康体力づくりを目的とした有酸素運動であるだけでなく、明確で多様な動きの身体表現と技術の向上を楽しむスポーツとしても発展してきている。授業では、エアロビックの基礎理論を学ぶとともに、基本動作を段階的に学習し、音楽にあわせてリズムカルに身体を動かす楽しさを体験する。エアロビックの基本技術、基礎技術を身につけることにより、生涯スポーツとして幅広く親しまれているエアロビックの特性を理解することをねらいとする。						
	到達目標	(1)エアロビックの基本動作を段階的に学習し、明確な動きを行う。 (2)エアロビックのプログラムの基本構成を理解する。 (3)複数で行うエアロビックの発表を通し、表現スポーツとしての理解を深める。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス・エアロビック総論 【計画内容】エアロビックの歴史と特性、指導者の資格と役割について学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。						E、K
	第2回	【テーマ】エアロビックの基礎理論と実際(1) 【計画内容】エアロビックのプログラム構成と基本姿勢、基本の動きについて学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第3回	【テーマ】エアロビックの基礎理論と実践(2) 【計画内容】エアロビックの運動強度およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第4回	【テーマ】エアロビックの基礎理論と実践(3) 【計画内容】ウォームアップとクールダウンの意義および音楽の選択について学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第5回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(1) 【計画内容】下肢の基本動作、動きの組み合わせおよびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第6回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(2) 【計画内容】上肢下肢の組み合わせによる基本動作およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第7回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(3) 【計画内容】上肢と下肢の複雑な動きの組み合わせおよびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第8回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(4) 【計画内容】方向転換、移動を伴った基本動作およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第9回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(5) 【計画内容】音楽、動きのリズム構成に対する理解を深め、リズム変化を伴った基本動作を学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第10回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(6) 【計画内容】多様な動きをリズムカルに動く技術およびストレッチングの方法を学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第11回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(7) 【計画内容】多様な動きで作られたルーティンを明確に行う技術を学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第12回	【テーマ】チームパフォーマンスの構成(1) 【計画内容】複数で行うエアロビックの基本を学ぶ。 【準備学習の内容】前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、H、K
	第13回	【テーマ】チームパフォーマンスの構成(2) 【計画内容】複数で行うエアロビックを創作する。 【準備学習の内容】前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、H、K
	第14回	【テーマ】チームパフォーマンスの構成(3) 【計画内容】複数で行うエアロビックを表現スポーツとして完成度を高める。 【準備学習の内容】前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、H、K
		第15回	【テーマ】まとめとチームパフォーマンスの発表 【計画内容】実技課題の確認と発表を行う。 【準備学習の内容】前回までの内容について十分に復習し、チームパフォーマンスを発表する準備をしておくこと。					
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		1995年、『エアロビック指導員教本』、(公社)日本エアロビック連盟 1999年、『新・エアロビックダンスエクササイズの実技指導』、(公社)日本フィットネス協会						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分		60%	20%		20%		
	補 足							
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[ス]健康運動実践指導者_必修、JPSUスポーツトレーナー_選必、エアロビック指導員_必修 [健]健康運動実践指導者_必修、エアロビック指導員_必修						
そ の 他		「生涯スポーツ指導演習(エアロビック)」は、この授業を履修していなければ受講できない。 健康運動指導士取得希望者は履修すること。教職(保健体育)希望者は履修することが望ましい。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。						

科 目 名	生涯スポーツ(バドミントン)				授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名	竹内 雅明、北村 優明							
授 業 の 目 的	ねらい	軽スポーツの領域の特徴を生かした内容を盛り込み、その種目の楽しさと効用について理解ならびに初級程度の技術から中級程度の技術を体系的に習得し、その指導法に関する知識を身につけます。また、基本的な審判法、競技運営規則を理解した上、大会の企画・運営方法・授業展開についても学びます。						
	到達目標	(1)基礎知識を理解し、練習により基礎技能を習得する。 (2)学習上のマナーを理解し、指導者としての安全管理を身につける。 (3)審判法、競技規則が理解できる。 (4)大会の企画・運営方法が理解できる。 (5)指導者としての視点に立ち、授業における進め方の理解と流れ等、指導法を習得する。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 15回の授業内容と、ねらい、到達目標について説明し、バドミントンの特性及び指導者としての心構えについて学びます。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。					A	
	第2回	【テーマ】 競技の特性と歴史 【計画内容】 課題整理・実践ノートの作成と活用及び競技の特性と歴史を学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。					A	
	第3回	【テーマ】 競技場の設置方法及び初級技術の指導(1) 【計画内容】 競技場に関する規則を理解し、用具の企画、用具の準備、競技場の作り方、ラケットワーク、フットワーク、ストロークを学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。					A、E、H	
	第4回	【テーマ】 初級技術の指導(2) 【計画内容】 ラケットワーク、フットワーク、ストロークを学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。					E	
	第5回	【テーマ】 初級技術の指導(3) 【計画内容】 トリプルス導入による実戦に近いストロークを学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。					E、H	
	第6回	【テーマ】 中級技術の指導(1) 【計画内容】 トリプルス導入による各種ストロークの反復練習による技術の上達過程を学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。					E、H	
	第7回	【テーマ】 中級技術の指導(2) 【計画内容】 サービス(ショート・ロング)及びネットを挟んでの前・後・左右の打ち分け方を学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。					E、H	
	第8回	【テーマ】 指導法(1) 【計画内容】 競技運営と規則、審判法、スコアシートの記入法等について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。					A、E、H	
	第9回	【テーマ】 指導法(2) 【計画内容】 中学校における授業展開法(トリプルス導入による活用法)を学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。					E、H、N	
	第10回	【テーマ】 指導法(3) 【計画内容】 中学校における授業展開法(トリプルス導入によるタイマーの活用法)を学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。					E、H、N	
	第11回	【テーマ】 指導法(4) 【計画内容】 高等学校におけるバドミントン教材のゲーム運営の工夫等、授業展開について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。					E、H、N	
	第12回	【テーマ】 指導法(5) 【計画内容】 高等学校におけるバドミントン教材のゲーム運営の工夫等、授業展開について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。					E、H、N	
	第13回	【テーマ】 ゲーム運営法(1) 【計画内容】 国内外で開催されている大会を基準とした大会運営法を学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。					E、H、N	
	第14回	【テーマ】 ゲーム運営法(2) 【計画内容】 ローカル大会など状況に応じた大会運営法を学びます。 【準備学習の内容】 理解・習得の進んでいない課題を整理しておくこと。					E、H、N	
	第15回	【テーマ】 技術確認とまとめ 【計画内容】 これまで学んできた技術について確認し、学習ノートを完成させ、今後の課題について考えます。 【準備学習の内容】 配付されたプリント(特に技術・ルール等について)を熟読し理解しておくこと。					E、L	
テキスト	(財)日本バドミントン協会、2018年、『2018-2019 BADMINTON 競技規則(諸規程集)』、(財)日本バドミントン協会 (財)日本バドミントン協会、2008年、『見てうまくなるバドミントン教本』、(財)日本バドミントン協会 その他講義時に説明する							
参 考 書	矢部京之助ほか、2004年、『アダプテッド・スポーツの科学』、市村出版、4902109018 小島一夫、2009年、『バドミントン世界TOP20のワザとシカケ』、講談社、9784062950077 文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領解説保健体育編』							
成績評価の方法			筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分			50%	20%		30%	
	補 足			最終	平時		平時	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資 格	[ス]中・高1種(保健体育)_選択、JPSUスポーツトレーナー_選必							
そ の 他	本講義は、北方圏生涯スポーツ研究センターの被験授業です。 第15回で学習ノートを完成、返却し、学んだ内容を振り返りながら講評をします。 第16回に最終評価のための実技テストを行います。							

科 目 名	生涯スポーツ(バレーボール)			授業形態	実技	単 位 数	1	
教 員 名	永谷 稔、工藤 憲							
授 業 の 目 的	ねらい	バレーボールにおける基礎からゲームに至るまでのさまざまな技術や方法を実践し、自らの技術向上のみならず、指導方法についても身につけたい。そして、最低限のプレー技術を習得するとともに、ルールや歴史の変遷、審判法についても学習し、教養を深め、何よりチームスポーツの素晴らしさを体得したい。						
	到達目標	(1)オーバーハンド・アンダーハンドパスなどの基礎技術において、一定レベルまでの到達。 (2)ローテーションやフォーメーションの理解。 (3)ルールの理解と審判法の習得。						
	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 本実技の紹介をし、15回の展開を説明する。 【準備学習の内容】 シラバス内容を熟読しておくこと。					A、E	
	第2回	【テーマ】 ボール慣れの練習 【計画内容】 バレーボールを使ってボール慣れの練習。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。					A、E	
授 業 の 計 画	第3回	【テーマ】 オーバー・アンダーハンドパスの構え、動き 【計画内容】 基本的なパスとトスの構えおよびその動き。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。					A、E	
	第4回	【テーマ】 パスとトスの練習方法 【計画内容】 パスとトスの練習方法の実践。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。					A、E	
	第5回	【テーマ】 スパイクの種類、動き 【計画内容】 基本的なスパイクの種類およびその動き。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。					A、E	
	第6回	【テーマ】 スパイクの練習方法 【計画内容】 スパイクの練習方法の実践。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。					A、E	
	第7回	【テーマ】 レシーブの構え、動き 【計画内容】 基本的なレシーブの構えおよびその動き。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。					A、E	
	第8回	【テーマ】 レシーブの練習方法 【計画内容】 レシーブの練習方法の実践。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。					A、E	
	第9回	【テーマ】 ブロックの構え、動き 【計画内容】 ブロックの構えおよびその動き。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。					A、E	
	第10回	【テーマ】 ブロックの練習方法 【計画内容】 ブロックの練習方法とその実践。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。					A、E	
	第11回	【テーマ】 サービスの種類、練習 【計画内容】 サービスの種類およびその練習。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。					A、E	
	第12回	【テーマ】 守備のフォーメーション 【計画内容】 守備フォーメーション(隊形)の確認と練習。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。					A、E	
	第13回	【テーマ】 攻撃のフォーメーション 【計画内容】 攻撃フォーメーション(隊形)の確認と練習。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。					A、E	
	第14回	【テーマ】 ルールと審判法 【計画内容】 ルールと審判法について、実践を交えて解説。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。					A、E	
	第15回	【テーマ】 まとめとふりかえり 【計画内容】 まとめとして実技スキルの確認とふりかえりを行う。 【準備学習の内容】 本実技のふりかえり、スキル向上確認を行う。					A、E	
	テキスト	必要に応じて資料やプリントを配付します						
	参 考 書	日本バレーボール協会、2019年、『バレーボール6人制競技規則(ルールブック)』、日本バレーボール協会 必要に応じて資料やプリントを配付します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配補	分足	25%	50%		25%		
質問への対応	初回授業時に具体的に説明します							
資 格	[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必							
そ の 他	上級者は示範など積極的に行うこと。適宜ゲームを行うが、チームスポーツとして協調性やチームワークを尊重すること。最低限のルール理解やゲーム運営に必要な知識は身につけること。 第16回に確認試験を実施する。教職必修である3年次開講の「生涯スポーツ指導演習(バレーボール)」を履修する者は、必ず履修すること。							

科 目 名	生涯スポーツ(バスケットボール)				授業形態	実技	単 位 数	1	
教 員 名	畠中 智志、横山 茜理								
授 業 の 目 的	ねらい	授業の目的は、1)パス・ドリブル・シュートなどの基礎技術を習得すること、2)バスケットボールのルールや審判法について理解を深めること、3)試合を楽しむ生涯スポーツにつなげることである。							
	到達目標	(1)24秒間のゴール下のシュートで一定の基準数を越える。 (2)サークルを使ったドリブルシュートを左右連続して決める。 (3)バスケットボールのルールと審判法を理解する。 (4)チームで戦略を考え、協力して試合に臨むことができる。							
	第1回	【テーマ】 授業のガイダンスとボールハンドリング 【計画内容】 バスケットボールに慣れるためにボールハンドリングを行う。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておく。						A、E	
	第2回	【テーマ】 ドリブル技術の習得 【計画内容】 ドリブルの技術習得に関する様々な練習を行う。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。						A、E	
授 業 の 計 画	第3回	【テーマ】 シュート技術の習得① 【計画内容】 ゴール下シュートとレイアップシュートの技術習得。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。						A、E	
	第4回	【テーマ】 シュート技術の習得② 【計画内容】 前回のシュート技術の復習とセットシュートの練習。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。						A、E	
	第5回	【テーマ】 動きのなかでのパス技術の習得 【計画内容】 様々なパス技術に関する練習を行う。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。						A、E	
	第6回	【テーマ】 1対1の攻防とリバウンド技術の習得 【計画内容】 様々な状況における1対1の練習とリバウンド練習。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。						A、E	
	第7回	【テーマ】 速攻とアウトナンバー(攻撃側の数的有利な状況)の攻め方 【計画内容】 速攻と2対1や3対2の練習。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。						A、E	
	第8回	【テーマ】 これまでの授業内容の復習と確認 【計画内容】 ゴール下シュートとドリブルレイアップシュートの技能達成度について確認する。 【準備学習の内容】 ゴール下シュートとレイアップシュートについて復習する。						A、E	
	第9回	【テーマ】 チームオフェンスの学習 【計画内容】 3on3の攻防を通して、チームオフェンスの基本を学ぶ。 【準備学習の内容】 これまでの授業内容を復習する。						A、E	
	第10回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合① 【計画内容】 バスケットボールのルールを確認してから試合を行う。 【準備学習の内容】 バスケットボールのルールについて予習する。						A、E	
	第11回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合② 【計画内容】 マンツーマン・ディフェンスの基本を学習する。 【準備学習の内容】 これまでの授業内容を復習する。						A、E	
	第12回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合③ 【計画内容】 審判法の学習。 【準備学習の内容】 審判法について予習する。						A、E	
	第13回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合④ 【計画内容】 学生主体のチーム作りを行い、試合をする。 【準備学習の内容】 これまでの授業内容を復習する。						A、E	
	第14回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合⑤ 【計画内容】 学生主体のチーム作りを行い、試合をする。 【準備学習の内容】 これまでの授業内容を復習する。						A、E	
	第15回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合⑥ 【計画内容】 学生主体のチーム作りを行い、試合をする。 【準備学習の内容】 これまでの学習の振り返りを復習する。						A、E	
	テキスト	適宜資料を配付します							
	参 考 書	文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領解説 保健体育編』、東山書房 日本バスケットボール協会、2018年、『2018～バスケットボール競技規則』、セキ出版社							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分		50%			50%			
補 足									
質問への対応	授業時間の前後に質問に対応します。								
資 格	[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必								
そ の 他	初回から実技を行う予定であり、指定ジャージと室内シューズを準備してください。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。								

科目名	冬季スポーツボランティア実習				授業形態	実習	単位数	2
教員名	石井 由依、竹田 唯史							
授業の目的	ねらい	本講義では、冬季スポーツイベントのボランティアを実施することにより、事業の企画運営について学ぶとともに、参加者への対応などを身に付け、実践力の育成を図る。						
	到達目標	(1)冬季スポーツイベントの運営能力を身に付ける。 (2)参加者への対応方法について学ぶ。 (3)地域貢献、ボランティアの概念を理解する。						
授業の計画	【計画内容】 第1回： ガイダンス1 授業概要の説明 第2回： ガイダンス2 冬季スポーツイベントの理解 第3回： ガイダンス3 冬季スポーツイベントにおけるボランティア方法の理解 第4回～第8回： 事前ボランティア 冬季スポーツイベントに参加し冬季スポーツイベントのボランティア方法を学ぶ。(5時間×2回) 第9回～第28回： 冬季スポーツ競技会におけるボランティア 冬季スポーツイベントにおいてボランティアを実施する。(40時間) 第29回・第30回： 報告会 実施したボランティア活動について報告し、学習者で共有する。 【レポート課題】 ・履修者全員の必修とする。 ・レポートは報告書として編集作成し、関係者に配付する。 【準備学習の内容】 ボランティアの必要性、心構えなどについて考えてくる。							A A A、H D D F、H、L
テキスト	プリントを使用します							
参考書	随時各教員から指示します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	50%					50%	
	補足						レポート	
質問への対応	E-Mail(竹田) : take@hokusho-u.ac.jp							
資格								
その他	2020年2月21日(金)～23日(日)のスペシャルオリンピックス冬季大会での運営ボランティアや、小学校でのスキー指導ボランティアを実施します。 前学期にオリエンテーションを実施するので、掲示に注意してください。							

科目名	特別支援教育総論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	瀧澤 聡、阿部 達彦、佐藤 至英、石川 大、石塚 誠之、磯貝 隆之							
授業の目的	ねらい	はじめに、特殊教育から特別支援教育へ大きく変化した教育の流れについて学ぶ。特別支援教育はこれまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、知的に遅れない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものである。 本講義では、「障害」のとらえ方や様々な障害種に対応した特別支援教育の在り方と諸課題について学ぶ。						
		到達目標						
		(1)「障害」、「差別」について理解する。 (2)各障害における特別支援教育の内容と諸課題について理解する。						
授業計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 特別支援教育の諸課題について、全体像を説明し、15回の講義展開を具体的に説明する。(瀧澤聡) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】 障害者差別と特別支援教育の歴史 【計画内容】 「障害」者差別を克服するための一翼を担う特別支援教育の歴史について学ぶ。(瀧澤聡) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、L
	第3回	【テーマ】 特別支援教育の場 【計画内容】 特別支援学校や特別支援学級、通級指導における指導・支援の在り方や、通常の学級における発達障害のある児童生徒の指導、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の在り方について学ぶ。(磯貝隆之) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、L
	第4回	【テーマ】 特別支援学級の教育 【計画内容】 小中学校に併設される特別支援学級の種類や機能、教育の在り方について学校現場における実際の取り組みから学ぶ。(磯貝隆之) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、L
	第5回	【テーマ】 知的障害の特別支援学校の教育 【計画内容】 重度・重複化、多様化している知的障害の特別支援学校の教育における諸課題について学ぶ。(磯貝隆之) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、L
	第6回	【テーマ】 肢体不自由の特別支援学校の教育 【計画内容】 重度・重複化、複雑化している肢体不自由の特別支援学校の教育における諸課題について学ぶ。(阿部達彦) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、L
	第7回	【テーマ】 病弱の特別支援学校の教育 【計画内容】 入院期間の短期化、入退院の繰り返しなど、学習の空白に対応する病弱の特別支援学校の教育における諸課題について学ぶ。(阿部達彦) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、L
	第8回	【テーマ】 視覚障害の特別支援学校の教育 【計画内容】 全盲、弱視に対する点字や白杖の指導の在り方など視覚障害の特別支援学校の教育における諸課題について学ぶ。(石川大) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、L
	第9回	【テーマ】 聴覚障害の特別支援学校の教育 【計画内容】 口話法、手話法(日本語対応手話、日本手話)など多様なコミュニケーションの指導の在り方について学ぶ。(佐藤至英) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、L
	第10回	【テーマ】 重度・重複障害児の教育 【計画内容】 特別支援学校に在籍している児童生徒の障害の重度・重複化、多様化の現状と指導上の諸課題について学ぶ。(阿部達彦) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、L
	第11回	【テーマ】 発達障害の理解と通常の学級における特別支援教育の在り方 【計画内容】 通常の学級に在籍している発達障害のある児童生徒の支援の在り方について学ぶ。(瀧澤聡) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、L
	第12回	【テーマ】 学習障害児への指導・支援 【計画内容】 学習障害児の認知特性に応じた指導法・支援の在り方について事例をもとに学ぶ。(石塚誠之) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、L
	第13回	【テーマ】 親の支援の在り方と寄宿舎教育 【計画内容】 親の不安、疑問、ストレス、育児不安など様々な課題をかかえた親の支援の在り方について学ぶ。あわせて寄宿舎教育の役割について学ぶ。(瀧澤聡) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、L
	第14回	【テーマ】 共生社会、ボランティア活動の在り方 【計画内容】 障害の有無やその他の個々の違いを認識し、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成、ボランティア活動の在り方について学ぶ。(瀧澤聡) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、L
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 様々な期待と課題のある特別支援教育の在り方について振り返りをし、再確認する。(瀧澤聡) 【準備学習の内容】 これまで配付したプリント等を再確認しておくこと。						A、L
テキスト	プリントを使用します							
参考書	文部科学省、2009年、『特別支援学校学習指導要領』、海文堂出版株式会社							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足	80%				20%		
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[ス][教]特支1種_必修							
その他								

科 目 名		アスレティックトレーナー概論			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		吉田 真						
授 業 の 目 的	ねらい	本科目では、日本におけるアスレティックトレーナーの歴史について諸外国におけるアスレティックトレーナーに相当する制度と比較しながら、本邦におけるアスレティックトレーナーの社会的位置づけやスポーツ現場におけるチームスタッフ内での位置づけを解説する。さらにアスレティックトレーナーとして活動する上での役割、医科学スタッフの役割や連携・協力の重要性、アスレティックトレーナーチームとしての組織の運営と管理、そして倫理について理解することを目的とする。						
	到達目標	(1)アスレティックトレーナーの役割を理解できる。 (2)アスレティックトレーナー養成の歴史的背景や世界の状況を理解できる。 (3)アスレティックトレーナーの具体的な業務を理解できる。 (4)他の専門スタッフとの連携協力の意義と体制について理解できる。 (5)組織の運営及び管理能力を養うことを理解し、社会的な秩序や倫理規定を理解できる。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の講義展開を説明します。また、アスレティックトレーナーという専門職の社会的位置づけについて概要を学びます。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】アスレティックトレーナーとは 【計画内容】アスレティックトレーナー制度の歴史、日本・諸外国におけるアスレティックトレーナー制度について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「アスレティックトレーナーとは」を読んでおくこと。						A、G
	第3回	【テーマ】アスレティックトレーナーの任務・役割・業務 【計画内容】アスレティックトレーナーの任務・役割・業務について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「アスレティックトレーナーの任務と役割」「アスレティックトレーナーの業務」を読んでおくこと。						A、G
	第4回	【テーマ】アスレティックトレーナーの活動 【計画内容】アスレティックトレーナーの活動について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「アスレティックトレーナーの活動」を読んでおくこと。						A、G
	第5回	【テーマ】競技別アスレティックトレーナーの活動1 【計画内容】競技別アスレティックトレーナーの活動について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「アスレティックトレーナーの活動」を読んでおくこと。						A、G
	第6回	【テーマ】競技別アスレティックトレーナーの活動2 【計画内容】競技別アスレティックトレーナーの活動について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「アスレティックトレーナーの活動」を読んでおくこと。						A、G
	第7回	【テーマ】グループディスカッション1 【計画内容】アスレティックトレーナーの役割についてグループディスカッションを行います。 【準備学習の内容】第2回-第6回までの講義内容を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。						G、H
	第8回	【テーマ】医科学スタッフの構成と役割 【計画内容】医科学スタッフの構成と役割について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「医科学スタッフの構成と役割」を読んでおくこと。						A、G
	第9回	【テーマ】スポーツドクターおよびコーチとの連携・協力 【計画内容】スポーツドクターおよびコーチとの連携・協力について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「スポーツドクターとの連携・協力」「コーチとの連携・協力」を読んでおくこと。						A、G
	第10回	【テーマ】アスレティックトレーナーの組織と運営 【計画内容】アスレティックトレーナーの組織と運営について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「アスレティックトレーナーの組織と運営」を読んでおくこと。						A、G
	第11回	【テーマ】競技者におけるコンディショニングに関するデータの管理 【計画内容】競技者におけるコンディショニングに関するデータの管理について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「競技者におけるコンディショニングに関するデータの管理」を読んでおくこと。						A、G
	第12回	【テーマ】アスレティックトレーナーと倫理 【計画内容】アスレティックトレーナーと倫理について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「アスレティックトレーナーと倫理」を読んでおくこと。						A、G
	第13回	【テーマ】グループディスカッション2 【計画内容】医科学スタッフとの連携・協力、組織の運営と管理についてグループディスカッションを行います。 【準備学習の内容】第8回-第12回までの講義内容を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。						G、H
	第14回	【テーマ】アスレティックトレーナーの今後の展望 【計画内容】アスレティックトレーナーの学術レベル、技能レベル、社会的認知度の向上を図るために、今後どのような取組が必要となるかについて議論します。 【準備学習の内容】専門雑誌あるいは図書などから情報収集をすること。						A、G
	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】これまでの講義内容を振り返り、本科目の到達度を確認します。 【準備学習の内容】第1回-第14回までの講義内容について復習し、理解を深めておくこと。						L
テキスト		日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト編集班、2007年、『公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト1 アスレティックトレーナーの役割』、日本スポーツ協会						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	30%		30%		40%		
	補 足							
質問への対応		オフィスアワーの時間帯に953研究室にて対応します						
資 格		[ス]アスレティックトレーナー_必修						
そ の 他		テキストの購入は次のURLを参照の上、各自で購入してください。 https://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid677.html 日本スポーツ協会HP：トップページ>広報・出版・ビデオ>指導者用テキスト・書籍 前回の課題を返却し、学んだ内容を振り返りながら講評します。						

教職に関する科目

科目名		教育原理		授業形態	講義	単位数	2
教員名		堂徳 将人					
授業の目的	ねらい	これまでの教育の歴史や思想を概観し、教育の基本的概念・理念を学ぶとともに、教育・学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを学ぶ。					
	到達目標	(1)教育の基本的概念を身に付け、教育を成り立たせる諸要因との関係を説明することができる。 (2)教育の歴史の基礎知識を身に付け、それらと多様な教育理念・教育との関わり及び教育・学校の変遷を説明することができる。 (3)教育に関する思想や理念、それらと今日の教育・学校との関わりについて理解することができる。					
	第1回	【テーマ】教育を学ぶ意義と学校の役割について 【計画内容】胎児及び小児、少年の発達過程を理解し、教育を学ぶ意義、学校の果たすべき役割について考えをまとめる。 【準備学習の内容】テキストを概観すること。					G
授業の計画	第2回	【テーマ】教育の基本概念と教育の必要性について 【計画内容】子どもの成長の記録から教育の重要性・必要性を理解し、教育の基本概念を考える。また自己のライフストーリーをみつめ、そのなかでの教育の果たす意義・必要性を考える。 【準備学習の内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。					G、J
	第3回	【テーマ】教育の目標、義務としての教育について 【計画内容】教育の目標、教育の義務の必要性を教育思想を踏まえて考え、教育が必要となった理由及び教育に義務が生じた理由を、その過程・歴史を踏まえて学ぶ。 【準備学習の内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。					G、K
	第4回	【テーマ】日本の教育の歴史について(1) 終戦まで 【計画内容】明治5年までの教育、明治・大正・昭和初期の教育に関する政策・制度、教育内容の特徴を理解する。また教育勅語の内容と当時の教育のあり方を学ぶ。 【準備学習の内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。					G、K
	第5回	【テーマ】日本の教育の歴史について(2) 戦後から現在まで 【計画内容】戦後から高度成長期、現在に至るまでの教育政策・制度と教育内容の特徴を、教育を受ける権利と義務を視点として学ぶ。 【準備学習の内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。					G、K
	第6回	【テーマ】教育思想と子どもの権利について(1) 子どもの発見、産業革命と子どもの生活 【計画内容】子どもの発見、産業革命と子どもの生活を概観したうえで、フレーベル等の教育思想について学ぶ。 【準備学習の内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。					G、J
	第7回	【テーマ】教育思想と子どもの権利について(2) 新教育運動と子どもの権利 【計画内容】新教育運動などの教育思想・思想家を概観し、人権思想の高まり(世界人権宣言他)を理解したうえで、子どもに関する権利条約の内容、基本的理念を学ぶ。 【準備学習の内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。					G、K
	第8回	【テーマ】教育を受ける権利について 【計画内容】日本国憲法における教育に係る条文を確認し、教育を受ける権利、平等主義、個人の尊重他を理解する。また、権利と義務の関係、権利の意味を学ぶ。 【準備学習の内容】日本国憲法の該当条文を確認しておくこと。					G
	第9回	【テーマ】教育基本法の理念と教育の目的・目標について 【計画内容】法律主義の意味を理解したうえで、教育基本法の各条文から教育の理念、その目的・目標、教育の果たすべき役割を学ぶ。 【準備学習の内容】教育基本法の条文を読んでおくこと。					J、K
	第10回	【テーマ】教育制度の成立と展開について 【計画内容】ドイツ、アメリカ等の教育制度を理解し、日本の教育制度の変遷と教育行政(教育委員会)の仕組みを学ぶ。 【準備学習の内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。					G
	第11回	【テーマ】現代社会における教育の課題について(1) 教育課程と課題 【計画内容】学校の教育課程の変遷を概観し、今日の教育の基盤である「生きる力」の内容を理解する。また今日の教育改革の動向や学校の新しい方向性を踏まえながら、そこに横たわる課題を考える。 【準備学習の内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。					G、L
	第12回	【テーマ】現代社会における教育の課題について(2) 今日の課題 【計画内容】教育や学校が抱える今日の課題として、子どもの貧困、支援を要する子ども(特別支援教育の充実)、教員の多忙(チーム学校の必要性)の問題を取り上げ、その内容を理解し、解決の方策を考える。 【準備学習の内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。					G、L
	第13回	【テーマ】子ども・家庭・地域・学校と相互関係について 【計画内容】今日の地域や家庭が抱える課題を理解したうえで、地域・家庭と学校との相互関係について学ぶ。また学校が地域・家庭に理解されるための連携等の方策を考える。 【準備学習の内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。					J
	第14回	【テーマ】教師・子どもとの相互関係について 【計画内容】教育実践における教師と児童生徒との係りから、教員育成指標を含めながら、教育の理念を考える。 【準備学習の内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。					G、K
	第15回	【テーマ】教育の理念と学校教育について 【計画内容】教育は「子どもの未来をつくるため」に必要な不可欠であることを理解し、「教育とはなにか」について考える。またこの授業で学んだことを、振り返りまとめる。 【準備学習の内容】まとめのレポートを作成すること。					G、L
	テキスト		佐々木正治、2018年、『新教育原理』、福村出版株式会社 文部科学省、2017年告示、『中学校学習指導要領』、東山書房、4827815585 文部科学省、2018年告示、『高等学校学習指導要領』				
参考書		授業中に資料を配付する					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%			40%
	補足			レポート			授業の最後に提出する小レポート等
質問への対応		講義終了後に質問に対応する。また、課題レポートへの質問などには、講義中に講評する。					
資格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修					
その他		課題プリントや課題に積極的に取り組むこと。出席登録を忘れないこと。					

科目名		教職概論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名		西村 貴之						
授業の目的	ねらい	本講義では、教職の社会的意義・職務内容(チーム学校運営を含む)について理解を深め、教師の役割・資質能力を身に付けることを目標にします。また、この講義を通して適性の判断を履修者自らが考え、教職を目指すかどうか見極める機会とします。						
	到達目標	(1)教職の社会的意義、教師の具体的職務内容・義務を理解できる。 (2)教師の役割と資質能力を理解し、自らの適性について自覚を持てる。 (3)多職種連携の必要性を理解できる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の全体像を説明します。また教職課程の履修をはじめるにあたっての聴講するにあたっての態度の留意点等を説明します。 【準備学習の内容】指定された課題に取り組むこと。					A	
	第2回	【テーマ】公教育と教師という専門職の誕生 【計画内容】公教育制度の社会的意義と子どもの教育に関わる専門職である教師の存在意義について考えます。 【準備学習の内容】指定された課題に取り組むこと。					A	
	第3回	【テーマ】子どもを取り巻く社会情勢と学校教育の関連 【計画内容】社会の変容とともに学校に求められる教育的ニーズについて、学習指導要領の変遷を通して考えます。 【準備学習の内容】指定された課題に取り組むこと。					A	
	第4回	【テーマ】今日の教師に求められる役割や資質能力 【計画内容】社会的変容にともない、教師に求められる役割や資質能力について、教員養成に関する中央教育審議会答申等を読み解きながら考えます。 【準備学習の内容】指定された課題に取り組むこと。					A、H	
	第5回	【テーマ】教員養成について 【計画内容】教員養成の内容(中学校保健体育の免許取得に必要な介護等体験を含む)を学びながら、どのように教職にむけた進路実現が目指せるのか理解します。 【準備学習の内容】指定された課題に取り組むこと。					A	
	第6回	【テーマ】教師の仕事① 【計画内容】学校における多様な職務の全体について解説をします。 【準備学習の内容】指定された課題に取り組むこと。					A	
	第7回	【テーマ】教師の仕事② 【計画内容】日本の教育課程について説明したのち、学習指導(授業)に関して教育実践をもとに考えていきます。 【準備学習の内容】指定された課題に取り組むこと。					A	
	第8回	【テーマ】教育の仕事③ 【計画内容】生徒指導(体罰と懲戒を含む)、教育相談、進路指導やキャリア教育の特徴等について学びます。 【準備学習の内容】指定された課題に取り組むこと。					A	
	第9回	【テーマ】教育の仕事④ 【計画内容】ドキュメンタリー映画をみて、特別活動の意義と学校づくりの事例を学びます。 【準備学習の内容】指定された課題に取り組むこと。					G、J	
	第10回	【テーマ】教科教育 【計画内容】学習指導要領を通して保健体育科教育の内容を確認したのち、教育実践記録を検討します。 【準備学習の内容】指定された課題に取り組むこと。					A、H	
	第11回	【テーマ】教師の服務と身分保障 【計画内容】教師の不祥事事件を調べてもらい、それをもとに服務と身分保障に関する教育法規を解説します。 【準備学習の内容】指定された課題に取り組むこと。					A、H	
	第12回	【テーマ】学び続ける教員像と研修 【計画内容】学び続ける教員像について、実際に行われている研修を通して解説をします。 【準備学習の内容】指定された課題に取り組むこと。					A	
	第13回	【テーマ】多職種連携による学校経営 【計画内容】多職種連携という今日的な教師の新しい職務のあり方(チーム学校)について検討します。 【準備学習の内容】指定された課題に取り組むこと。					A	
	第14回	【テーマ】学校現場の事例をもとに教育的思考を実践する 【計画内容】メタ認知的に学校で営まれている教育事象を理解するトレーニングを共同学習をもとに行います。 【準備学習の内容】指定された課題に取り組むこと。					A、G、H	
	第15回	【テーマ】教師に期待されていること-求められる教師像と自らの教師像- 【計画内容】授業全体の振り返りを行います。 【準備学習の内容】これまでの授業内容を見直して授業に臨むこと。					A、L	
テキスト		適宜プリントを配付します						
参考書		文部科学省、『中学校学習指導要領』 文部科学省、『高等学校学習指導要領』 高橋勝編著、『教職概論』、一藝社 適宜プリントを配付します						
成績評価の方法			筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	足	80%				20%	
						グループワークへの参加態度をみます		
質問への対応		オフィスアワーあるいは事前にアポイントメントをとり研究室を訪問すること。						
資格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修						
その他		この授業では、教員という職業の適性を自分自身で見極める機会になります。また、これまでの自分自身が受けてきた学校教育の内容・方法・評価といった在り方を相対化する作業に努めてもらいます。						

科 目 名		教育心理学		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		新川 広樹					
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、教育心理学領域の基礎理論や最新の知見を通じて、児童生徒の心理を多角的に理解するための理論的枠組みを解説し、教育心理学を応用した教育実践の具体的な方法およびその評価プロセスについて理解を深め、多様なニーズに応じた教育実践を行うための引き出しを備えることを目的とする。					
	到達目標	(1)教育心理学に関する基礎的な用語を説明できる。 (2)児童生徒の心の発達過程を理論的な枠組みを用いて説明できる。 (3)行動問題や障害を個人と環境の相互作用の観点から理解できる。					
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】教育心理学とは何かを概観し、15回の授業展開、成績評価について説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく読んでおくこと。					A、L
授 業 の 画	第2回	【テーマ】学習への行動論的アプローチ 【計画内容】古典的条件づけ、オペラント条件づけについて学び、ヒトの行動の学習形態に関する理解を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。					A、L
	第3回	【テーマ】学習への認知論的アプローチ 【計画内容】情報処理過程、記憶の構造について学び、簡単な認知実験を通じて、ヒトの認知過程に関する理解を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。					A、L
	第4回	【テーマ】個人差 【計画内容】パーソナリティ、知能について、心理テストや心理検査を通じて理解を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。					A、K、L
	第5回	【テーマ】動機づけ 【計画内容】多様な動機づけ理論を学び、外発的動機づけと内発的動機づけの違い、帰属について理解を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。					A、K、L
	第6回	【テーマ】学習過程 【計画内容】学習方略や適性処遇交互作用について学び、個々の学習スタイルに応じた教育方法について理解を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。					A、K、L
	第7回	【テーマ】発達と教育 【計画内容】遺伝か環境かというテーマについて考え、多様な発達理論を比較することを通じて、発達に応じた教育の在り方に関する理解を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。					A、L
	第8回	【テーマ】乳幼児期の発達 【計画内容】運動・ことばの発達、愛着形成について理解を深め、発達を促す働きかけを学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。					A、L
	第9回	【テーマ】児童期の発達 【計画内容】社会性、仲間関係の発達について、認知発達の観点から理解を深め、社会性を伸ばす教育実践を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。					A、H、L
	第10回	【テーマ】青年期の発達 【計画内容】道徳性、アイデンティティの発達について理解を深め、高校生を対象とした心理的援助の実際を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。					A、K、L
	第11回	【テーマ】教師と児童生徒 【計画内容】学級集団の構造、カウンセリング技術について学び、教師に求められるコミュニケーションを考えます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。					A、L、N
	第12回	【テーマ】学校生活への不適応 【計画内容】不登校、いじめなどの学校不適応の実態について理解を深め、事例に基づいて支援の組み立て方を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。					A、J、L
	第13回	【テーマ】発達障害の理解と支援 【計画内容】障害の定義やインクルーシブ教育の発想について理解を深め、合理的配慮の多様な実践例を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。					A、H、L
	第14回	【テーマ】心理教育的援助サービスの実践 【計画内容】予防的支援としての集団心理教育プログラムを実際に体験し、その具体的方法と評価プロセスについて学びます。 【準備学習の内容】これまで配付した資料を復習しておくこと。					A、H、L
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでに学習した内容を振り返り、教育心理学の発想について総括します。 【準備学習の内容】これまで配付した資料を復習しておくこと。					A、L
	テキスト		西村純一・井森澄江編、2010年、『教育心理学エッセンシャルズ(第2版)』、ナカニシヤ出版、9784779504518				
参 考 書		スライド資料を使用する					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%		30%			
	補 足						
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資 格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修					
そ の 他		第16回に最終評価のためのテストを行います。毎回の講義終了後、コメントカードの提出を求めます。					

健康福祉学科
学科専門科目

科 目 名		健康福祉学概論			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		小田 史郎、本間 美幸、吉田 修大						
授 業 の 目 的	ねらい	これからの長寿社会で求められる概念・事象を健康とスポーツ、社会福祉、介護福祉という三つの視野で学び、健康福祉学科で学ぶ意識を高める。健康福祉学科での学びを通して取得できる諸資格について、関連する法・制度を理解し資格の持つ特性と社会における現状を把握する。その上で、自らの将来像を明確にし、志望する進路に沿った学習計画を立てる力量を身に付けることを目指す。						
	到達目標	(1)相談援助、介護福祉、健康づくりで活躍する専門職の仕事の魅力について理解する。 (2)専門職として仕事をするために必要な知識や技能、資格について理解する。 (3)他領域とのつながりについて理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の展開予定および、健康福祉学科で養成する人材が活躍する3つの領域について説明をします。(全教員) 【準備学習の内容】シラバスを読んでおく。						A、G
	第2回	【テーマ】当事者・実践者から学ぶ(1) 【計画内容】何らかの支援を必要とする当事者をお招きして、日々のかかわりや生活の様子を講義していただき、その思いにふれます。(吉田修大) 【準備学習の内容】配付した資料を読み、予習しておく。						A、G、J
	第3回	【テーマ】社会福祉士の理解(1) 【計画内容】社会福祉士の概要、活躍している場などを理解します。(吉田修大) 【準備学習の内容】配付した資料を読み、予習しておく。						A、G、K
	第4回	【テーマ】社会福祉士の理解(2) 【計画内容】社会福祉の支援を踏まえ、考え方や価値観を理解します。(吉田修大) 【準備学習の内容】配付した資料を読み、予習しておく。						A、G、K
	第5回	【テーマ】介護福祉士の理解(1) 【計画内容】介護とは何か・介護福祉とは何かを学び、介護福祉の専門職である介護福祉士の役割を理解します。(本間美幸) 【準備学習の内容】配付した資料を読み、予習しておく。						A、G、K
	第6回	【テーマ】介護福祉士の理解(2) 【計画内容】介護福祉士国家資格の誕生から今日的な課題までを概観し、求められる態度を理解します。(本間美幸) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組む。						A、G、K
	第7回	【テーマ】スポーツ系資格の理解 【計画内容】健康運動実践指導者、レクリエーション・インストラクター、初級障がい者スポーツ指導員などのスポーツ系資格について理解し、運動指導者としての仕事の魅力ややりがいについて学びます。(小田史郎) 【準備学習の内容】配付した資料を読み、予習しておく。						A、G、K
	第8回	【テーマ】公務員と社会教育主事の理解 【計画内容】社会教育主事について理解し、公務員としての仕事の魅力ややりがいについて学びます。(小田史郎) 【準備学習の内容】配付した資料を読み、予習しておく。						A、G、J
	第9回	【テーマ】認知症のサポートについて 【計画内容】認知症サポーター養成講座の内容を学びます。(全教員) 【準備学習の内容】認知症サポーターについて調べておく。						A、G、K
	第10回	【テーマ】現場を知る(1-1) 【計画内容】施設見学にあたり事前学習を行います。(吉田修大) 【準備学習の内容】施設の概要などを調べておく。						A、G、K
	第11回	【テーマ】現場を知る(1-2) 【計画内容】福祉の現場を訪れて専門職の方に説明をしていただきながら、見学をします。(全教員) 【準備学習の内容】事前学習の内容を復習しておく。						M
	第12回	【テーマ】現場を知る(1-3) 【計画内容】福祉の現場を訪れて専門職の方に説明をしていただきながら、見学をします。(全教員) 【準備学習の内容】事前学習の内容を復習しておく。						M
	第13回	【テーマ】現場を知る(1-4) 【計画内容】見学した内容を振り返り、グループワークなどをとおして学びを深めます。(吉田修大) 【準備学習の内容】見学したときの配付資料やメモを読み返して復習をしておく。						G、H、L
	第14回	【テーマ】当事者・実践者から学ぶ(2) 【計画内容】社会福祉、介護福祉の現場で活躍している卒業生をお招きして、支援の実際にふれます。(全教員) 【準備学習の内容】配付した資料を読み、予習しておく。						A、G、J
	第15回	【テーマ】健康福祉学科で取得できる資格取得までの学習の流れの理解、学習のまとめ 【計画内容】社会福祉士や介護福祉士などの資格取得に関する今後の流れについて理解し、併せて今後の学習計画や進路選択などの見通しをたてます。(全教員) 【準備学習の内容】これまでの講義で配付された資料を読み返して復習し、自分の進路について考えておく。						G、L
テキスト		講義内で提示します						
参 考 書		講義内で提示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			30%		60%	10%	
	補 足			最終レポート				
質問への対応		講義全体にかかわることについては小田先生、個別の回の内容にかかわることはそれぞれの担当教員が対応します。						
資 格								
そ の 他								

科 目 名	健康運動実践論				授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名	小田 史郎、新開谷 深							
授 業 の 目 的	健康づくり運動の指導者に必要となる「運動生理学」「機能解剖学」「スポーツバイオメカニクス」の3分野についての基礎知識を身につけることを目的とする。							
	(1)運動生理学の基本的な内容について理解する。							
	(2)機能解剖学の基本的な内容について理解する。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス、運動が発現する仕組み 【計画内容】 運動が発現する仕組みについて学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 シラバスをよく読んでおく。						A、G
	第2回	【テーマ】 骨格筋の構造と収縮 【計画内容】 骨格筋の構造と収縮のメカニズムについて学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。						A、G
	第3回	【テーマ】 筋線維の収縮特性 【計画内容】 筋線維の収縮特性について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。						A、G
	第4回	【テーマ】 運動時の呼吸器応答 【計画内容】 運動時の呼吸器応答について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。						A、G
	第5回	【テーマ】 運動時の循環応答① 【計画内容】 運動時の循環応答について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。						A、G
	第6回	【テーマ】 運動時の循環応答② 【計画内容】 運動時の循環応答について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。						A、G
	第7回	【テーマ】 最大酸素摂取量、無酸素性作業閾値 【計画内容】 最大酸素摂取量、無酸素性作業閾値について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。						A、G
	第8回	【テーマ】 運動トレーニングの効果について 【計画内容】 運動トレーニングの効果について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。						A、G
	第9回	【テーマ】 運動と免疫、体温調節 【計画内容】 運動と免疫、体温調節について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。						A、G
	第10回	【テーマ】 年齢に応じた体力変化と体力を決める要因 【計画内容】 年齢に応じた体力変化と体力を決める要因について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。						A、G
	第11回	【テーマ】 身体運動に関係する骨、筋、関節 【計画内容】 身体運動に関係する骨、筋、関節について学ぶ。(新開谷深) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。						A、G
	第12回	【テーマ】 単関節運動と多関節運動 【計画内容】 単関節運動と多関節運動について学ぶ。(新開谷深) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。						A、G
	第13回	【テーマ】 筋と腱の弾性エネルギー 【計画内容】 筋と腱の弾性エネルギーについて学ぶ。(新開谷深) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。						A、G
	第14回	【テーマ】 着地衝撃とその緩和法 【計画内容】 着地衝撃とその緩和法について学ぶ。(新開谷深) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。						A、G
	第15回	【テーマ】 基本的な動作の力学的特徴 【計画内容】 基本的な動作の力学的特徴について学ぶ。(新開谷深) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。						A、G
テキスト	プリントを使用します							
参 考 書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	50%		50%				
	補 足	第16回に実施		毎回の小レポート提出				
質問への対応	研究室での対応のほか、メールでも対応します。E-Mail:os@hokusho-u.ac.jp (小田史郎)							
資 格	[健]健康運動実践指導者_必修							
そ の 他								

科 目 名	コーチ学					授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名	大宮 真一、畝中 智志、竹内 雅明								
授 業 の 目 的	ねらい	スポーツ実施者の目的と個人的諸条件を考慮し、技術学だけでなく人間学的な側面をしっかりと理解し、より良い指導方法の基礎を学習する。優れたコーチの資質、役割、技術指導方法、指導計画、評価方法を理解する。また、競技に応じた指導計画の方法とIT機器の活用について学ぶ。							
	到達目標	(1)体育・スポーツ指導に関する基礎理論を理解する。 (2)指導計画、指導過程及び指導技術方法を理解する。 (3)各競技の特性を考えた指導法を理解する。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】15回の講義内容を説明し、「コーチ学」という講義で何を学ぶかを明確にする。(全教員) 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておく。							A
	第2回	【テーマ】職業の性質 【計画内容】体育教師・コーチという仕事の性質について考える。(大宮真一) 【準備学習の内容】前回の講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第3回	【テーマ】優れたコーチの資質 【計画内容】コーチとしての考え方、心構え、個性、プレーヤーとの望ましい関係について考える。(竹内雅明) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第4回	【テーマ】コーチの役割について 【計画内容】コーチの役割を果たすために必要な事柄(指導計画のたて方など)を考える。(畝中智志) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第5回	【テーマ】トップアスリートを育てるために～指導者が持つべき視点～ 【計画内容】指導者として成功するための着眼点、育成年代のコーチングについて考える。(大宮真一) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第6回	【テーマ】スキル指導の準備・安全管理 【計画内容】スキル習得のための事前準備・安全管理について考える。(竹内雅明) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第7回	【テーマ】指導上の倫理 【計画内容】体育指導者、コーチとしてふさわしい倫理感とは何かを考える。(畝中智志) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第8回	【テーマ】競技スポーツとIT(情報技術) 【計画内容】スポーツに関連する情報技術・分析について考える。(大宮真一) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第9回	【テーマ】スキルの学習過程 【計画内容】スポーツスキルを学習させる際の留意点について考える。(竹内雅明) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第10回	【テーマ】競技力向上のためのチームマネジメント 【計画内容】効果的なチームマネジメント方法およびミーティング方法を考える。(畝中智志) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第11回	【テーマ】個人競技の指導方法 【計画内容】個人競技に関する指導方法について考える。(大宮真一) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第12回	【テーマ】個人・集団混合競技の指導方法 【計画内容】個人競技要素と集団競技要素を含む種目に関する指導方法について考える。(竹内雅明) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第13回	【テーマ】集団競技の指導方法 【計画内容】集団競技に関する指導方法について考える。(畝中智志) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、F、H、K
	第14回	【テーマ】指導理念および指導計画の具体化 【計画内容】自身の経験をもと理想とするにコーチ理念および指導計画を作成する。(畝中智志) 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておく。							A、G、F、K
	第15回	【テーマ】コーチの具体的指導法まとめ 【計画内容】前回までの授業を振り返り、理解度を確認する。(全教員) 【準備学習の内容】前回までのノート・プリントを熟読し理解を深めておくこと。							A、H、K
テキスト	プリントを使用します								
参 考 書	講義時に説明します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分	40%		30%		30%			
	補 足			レポート					
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。								
資 格	[健]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修 [ス]JATI認定トレーニング指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修								
そ の 他	レポートは担当により返却後、講評を行います。								

科 目 名	基礎解剖学				授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名	高田 真吾							
授 業 の 目 的	ねらい	人体の組織および器官がどのような構造で成り立ち、どのような機能を持っているかを理解することを目的とする。特に、身体運動の基本となる受動的運動器である骨格系と能動的運動器である筋系の形態と機能を重点的に学ぶ。						
	到達目標	(1)人体の基礎的な構造に関し、その名称と働きを理解する。 (2)身体運動に関わる構造、形態、機能を理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】解剖学総論 【計画内容】解剖学の概念および細胞・組織・器官・系統・方向・面について学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】骨格系(1) 【計画内容】骨および関節の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第3回	【テーマ】骨格系(2) 【計画内容】頭部・体幹・胸部・腹部・上肢・下肢の骨について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第4回	【テーマ】筋系(1) 【計画内容】筋および軟部組織の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第5回	【テーマ】筋系(2) 【計画内容】頭部・体幹・胸部の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第6回	【テーマ】筋系(3) 【計画内容】腹部・背部の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第7回	【テーマ】筋系(4) 【計画内容】上肢・手の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第8回	【テーマ】筋系(5) 【計画内容】下肢・足の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第9回	【テーマ】脳・神経系 【計画内容】中枢神経・末梢神経の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第10回	【テーマ】循環系 【計画内容】心臓・血管の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第11回	【テーマ】呼吸器系 【計画内容】呼吸、ガス交換の機序と肺の構造について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第12回	【テーマ】内分泌系 【計画内容】身体の働きの調節機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第13回	【テーマ】感覚器系 【計画内容】感覚受容器の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第14回	【テーマ】消化器・泌尿器系 【計画内容】消化器・腎臓の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第15回	【テーマ】基礎解剖学総括・テスト 【計画内容】これまでの学習を振り返り、自己の課題を明らかにする。 【準備学習の内容】テキスト・ノートを熟読し、前回までの授業内容を復習し、理解を深めておくこと。						A
テキスト	細田多穂監修、2015年、『シンプル理学療法学 作業療法学シリーズ 運動器系解剖学テキスト』、南江堂、4524262032							
参 考 書	竹内修二監修、2012年、『カラー図解 人体解剖の基本がわかる事典』、西東社							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	60%		30%		10%		
	補 足							
質問への対応	講義終了時に具体的な説明をします。							
資 格	[健]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修 [ス]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修、健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修							
そ の 他	健康運動実践指導者、健康運動指導士、教職希望者は履修することが望ましい。人間の身体の基礎を学ぶ授業であり、学習量も多くなるので、必ず毎回の授業の復習を行って、知識を積み重ねていくことが望ましい。							

科 目 名	トレーニング論				授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名	山本 敏美							
授 業 の 目 的	ねらい	体力の意義を学び、トレーニング理論と方法を学習する。対象や目的に応じた適切な身体運動のトレーニング方法の知見を広げる。その為にトレーニング全般に関する基礎理論と応用の知識を学ぶ。内容は競技スポーツ分野、フィットネス(一般)分野、高齢者から子どもに対してなどあらゆる対象に適したトレーニング方法の習得を目指す。						
	到達目標	(1)あらゆるニーズに対応したトレーニングプログラムの計画、作成することができる。 (2)トレーニングの原理原則を説明できる。 (3)トレーニングの関する正しい知識の理解と説明を行うことができる。						
	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 授業の内容と進め方を説明する。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読すること。						A
授 業 の 計 画	第2回	【テーマ】 体力とトレーニング論 【計画内容】 トレーニングと体力、指導者とはなど、トレーニングの概要について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第1章第1節」を読んでおくこと。						A
	第3回	【テーマ】 トレーニング計画の立案と進め方 【計画内容】 トレーニングの原理・原則について説明し、トレーニングプログラム作成の全体的手順について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第1節」を読んでおくこと。						A
	第4回	【テーマ】 筋力トレーニングのプログラム作成と計画1 【計画内容】 筋力トレーニングの目的と効果、プログラムを構成する要素など、筋力トレーニングのプログラムの条件設定、計画について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第2節」を読んでおくこと。						A
	第5回	【テーマ】 筋力トレーニングのプログラム作成と計画2 【計画内容】 筋力トレーニングの実施に当たり、動作スピード、補助方法、呼吸法などについて学びます。また、筋肥大、筋力向上、筋持久力などトレーニング目的に応じた条件設定方法、計画についても学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第2節」を読んでおくこと。						A
	第6回	【テーマ】 パワー向上トレーニングの理論 【計画内容】 パワーの基本概念、力の立ち上がり率、パワー発揮様式の分類などについて学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第3節」を読んでおくこと。						A
	第7回	【テーマ】 パワー向上トレーニングのプログラム作成と計画 【計画内容】 パワー向上トレーニングのプログラム戦略、プログラム変数、反動動作における生理学的基礎、プライオメトリクスなどのパワー向上トレーニングの実施方法、計画について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第3節」を読んでおくこと。						A
	第8回	【テーマ】 持久力向上トレーニングの理論 【計画内容】 持久力に関する基礎理論、有酸素性持久力向上トレーニング及び無酸素性持久力向上トレーニングに対する基本的な適応について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第4節」を読んでおくこと。						A
	第9回	【テーマ】 持久力向上トレーニングのプログラム作成と計画 【計画内容】 持久力向上トレーニングのプログラム作成の基本を説明し、持久力を向上させる代表的トレーニング手段、方法、計画などについて学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第4節」を読んでおくこと。						A
	第10回	【テーマ】 スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成と計画 【計画内容】 スピードの概念、要因、スピード向上トレーニングの基本動作、エクササイズ、計画などについて学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第5節」を読んでおくこと。						A
	第11回	【テーマ】 調整力向上トレーニングの理論とプログラム作成と計画 【計画内容】 調整力(平衡性、巧緻性、敏捷性)の概念、トレーニングの実施方法、計画について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第5節」を読んでおくこと。						A
	第12回	【テーマ】 柔軟性向上トレーニングの理論 【計画内容】 柔軟性を規定する要因、関節可動域の制限因子、各関節可動域について、またストレッチングの基礎理論、効果、方法について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第6節」を読んでおくこと。						A
	第13回	【テーマ】 柔軟性向上トレーニングのプログラム作成と計画 【計画内容】 柔軟性プログラムの実施方法、ウォーミングアップとクールダウンの理論と効果、分類、方法、計画について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第6節」を読んでおくこと。						A
	第14回	【テーマ】 特別な対象のためのトレーニングとプログラム作成と計画 【計画内容】 メタボリックシンドローム、高齢者、妊婦、子どもに対するトレーニングプログラムの概念、効果、実施方法について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「第2章第7節」を読んでおくこと。						A
	第15回	【テーマ】 トレーニング論のまとめと振り返り 【計画内容】 これまでの講義のまとめと振り返り、テストの実施を行います。 【準備学習の内容】 これまでの講義内容について復習し、理解を深めておくこと。						A
	テキスト	NPO法人日本トレーニング指導者協会、2016年、『トレーニング指導者テキスト「実践編」改訂版』、大修館書店、9784469267549						
参 考 書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	50%				50%		
	補足							
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資 格	[健]健康運動実践指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修、JATI認定トレーニング指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修							
そ の 他								

科 目 名		レジャー・レクリエーション論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		坂谷 充					
授 業 の 目 的	ねらい	科学技術の進歩とともに労働の効率化がなされ、物質的に豊かになってきた反面、自然破壊や心身への過度のストレスなど多くの課題が生まれてきています。そのような背景から、単に働くばかりでは真の豊かさを築くことが出来ない事に気付き、労働時間の短縮や生涯学習事業の充実など、余暇活動の整備が図られてきました。レジャー・レクリエーションは労働と対比する遊びの領域で展開され、豊かでゆとりのある暮らしを支える重要な要素です。国民の誰もが生涯を通じてレジャー・レクリエーションサービスを楽しむことができる社会システムが望まれています。本講義では、労働と余暇という本質的なテーマを問いつつ、レクリエーションの企画・展開方法についても学びます。					
	目標	(1)現代社会におけるレジャー・レクリエーションの意義について理解する。 (2)レクリエーションの企画や運営、安全管理等について理解する。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 講義内容や展開方法について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】 レジャーの概念 【計画内容】 レクリエーションの類似概念である「レジャー」について学習します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。					A
	第3回	【テーマ】 現代社会におけるレクリエーションの意義 【計画内容】 現代社会におけるレクリエーションの意義、役割について学習します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。					A、G
	第4回	【テーマ】 ライフスタイルとレクリエーション 【計画内容】 各ライフステージにおけるレクリエーションの意義について学習します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。					A、G
	第5回	【テーマ】 レクリエーションイベントの企画と運営 【計画内容】 レクリエーションイベントの企画や運営の基礎について学習します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。					A、H
	第6回	【テーマ】 レクリエーションイベントの企画 【計画内容】 レクリエーションイベントの企画をグループに分かれて行います。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。					H
	第7回	【テーマ】 レクリエーションイベントの企画書作成 【計画内容】 実際にレクリエーションイベントを企画し、企画書を作成します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。					A、G、H
	第8回	【テーマ】 レクリエーションイベントの実際①(説明・準備) 【計画内容】 学習理解度調査レポートの実施と室内で手軽にできるレクリエーションイベントの説明を行います。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。					A、G
	第9回	【テーマ】 レクリエーションイベントの実際②(課題作成) 【計画内容】 誰でも手軽にできる室内レクリエーションイベントを実際に体験します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。					H
	第10回	【テーマ】 レクリエーションイベントの実際③(評価) 【計画内容】 前回の授業内容をもとにレクリエーションがもたらす成果について学習します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。					A、H
	第11回	【テーマ】 レクリエーションマネジメントの基礎 【計画内容】 レクリエーション組織のマネジメントに関する基礎理論を学習します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。					A、G
	第12回	【テーマ】 レクリエーション組織のマネジメント 【計画内容】 レクリエーション組織のマネジメントに関する基礎理論を学習します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。					A、G
	第13回	【テーマ】 レクリエーションイベントにおける安全管理 【計画内容】 レクリエーションイベントにおける安全管理について学習します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。					A、H
	第14回	【テーマ】 講義の振り返り 【計画内容】 これまでの講義を振り返り、学習状況を把握するためのレポートを行います。 【準備学習の内容】 これまでの講義内容を復習しておくこと。					G、L
	第15回	【テーマ】 講義のまとめ 【計画内容】 これまでの講義のまとめを行います。 【準備学習の内容】 これまでの講義内容を整理し、まとめておくこと。					L
テキスト		プリントを使用する					
参 考 書		財団法人日本レクリエーション協会編、1994年、『レクリエーションマネジメント』、大修館書店、4469262838 財団法人日本レクリエーション協会編、2010年、『レクリエーション支援の基礎』、財団法人日本レクリエーション協会、9784931180819 財団法人日本レクリエーション協会編、2006年、『豊かに遊べる仕組みをつくる：レクリエーション・コーディネートのすすめかた：レクリエーション・コーディネーター養成テキスト』、財団法人日本レクリエーション協会、493118068X					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分 補 足	50%		30%		20%	
質問への対応		初回の講義時に説明します。					
資 格		[健]レク・インストラクター_必修 [ス]レク・インストラクター_必修、レク・コーディネーター_必修					
そ の 他		毎回配付するプリントに講義内容を記入し、講義ノートを作成させます。					

科 目 名		生涯スポーツ(陸上競技)			授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名		大宮 真一、重成 敏史、品田 吉博、松橋 昌巳						
授 業 の 目 的	ねらい	陸上競技における走競技種目(短距離走・中長距離走・ハードル競走・リレー競走など)、跳躍競技種目(走り幅跳び・走り高跳び・三段跳びなど)、投てき競技種目(砲丸投げ・円盤投げ・やり投げなど)の特性を理解し、基本的な技術を習得することにより、各種目の技能向上をはかることを目標とする。また走競技種目では、健康づくりのためのジョギングを指導するために必要な項目についても学ぶ。						
	到達目標	(1)陸上競技各種目の基本的技術を身につける。 (2)陸上競技各種目の概要とルールを学ぶ。 (3)陸上競技各種目における技能向上の指導方法を学ぶ。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】オリエンテーション 基礎理論 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。(全教員) 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】ウォーキングとジョギングにおける概要と基本的技術 【計画内容】歩行、走行の基本的技術について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。						E、H
	第3回	【テーマ】短距離走における技術向上の指導方法 【計画内容】短距離走におけるスタートダッシュの技術、ピッチ・ストライドを向上させるトレーニング法について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。						E、H
	第4回	【テーマ】短距離走におけるまとめと技能評価 【計画内容】50m走タイムを測定し、全力疾走能力を評価します。測定者はストップウォッチの使用方法、およびスタート合図の仕方について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。						E、H
	第5回	【テーマ】ハードル競走における概要と基本的技術 【計画内容】ハードル競走におけるハードリング技術について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。						E、H
	第6回	【テーマ】ハードル競走における技術向上の指導方法 【計画内容】ハードル競走に必要な体力的要因およびトレーニング方法について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。						E、H
	第7回	【テーマ】ハードル競走におけるまとめと技能評価 【計画内容】50mハードル走のタイムを測定し、技能を評価します。(全教員) 【準備学習の内容】これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。						E、H
	第8回	【テーマ】走り幅跳びにおける概要と基本的技術 【計画内容】走り幅跳びで遠くに跳ぶための原理、空中フォーム、踏切脚・リード脚の技術を学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。						E、H
	第9回	【テーマ】走り幅跳びの技術向上の指導方法 【計画内容】走り幅跳の助走でのリズム、助走距離決定についての指導方法を学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。						E、H
	第10回	【テーマ】走り幅跳びにおけるまとめと技能評価 【計画内容】走り幅跳びの跳躍距離を測定します。測定方法、有効試技と失敗試技について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。						E、H
	第11回	【テーマ】砲丸投げにおける概要と基本的技術 【計画内容】投擲種目を行う際の安全に実施するための留意点について学び、砲丸投げの投法および遠くに飛ばすことの原理について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。						E、H
	第12回	【テーマ】砲丸投げにおける技術向上の指導方法 【計画内容】砲丸投げにおける遠くへ飛ばすためのトレーニング方法を学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。						E、H
	第13回	【テーマ】砲丸投げにおけるまとめと技能評価 【計画内容】砲丸投げの投擲距離を測定します。測定方法、有効試技と失敗試技について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。						E、H
	第14回	【テーマ】リレー競走における概要と基本的技術 【計画内容】リレー競走のルールおよびバトンパスの方法について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。						E、H
	第15回	【テーマ】リレー競走における技術向上の方法と技能評価 【計画内容】リレー競走でタイムが短縮する技術およびトレーニング方法について学び、最後にチーム対抗のリレー競走を実施します。(全教員) 【準備学習の内容】これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。						E、H
テキスト		必要に応じてプリントを配付します						
参 考 書		日本陸上競技連盟編、2013年、『陸上競技指導教本アンダー16・19 基礎から身につく陸上競技初級編』、大修館書店 日本陸上競技連盟編、2013年、『陸上競技指導教本アンダー16・19 レベルアップの陸上競技上級編』、大修館書店 『健康運動実践指導者テキスト』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			40%		20%	40%	
	補 足			各単元ごとのレポート		平時	技能到達度	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必						
そ の 他		競技種目の順序・内容は変更することもあります。 「生涯スポーツ指導演習(陸上競技)」を履修する者は必ず履修してください。						

科 目 名	生涯スポーツ(バレーボール)				授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名	永谷 稔							
授 業 の 目 的	ねらい	バレーボールにおける基礎からゲームに至るまでのさまざまな技術や方法を実践し、自らの技術向上のみならず、指導方法についても身につけたい。そして、最低限のプレー技術を習得するとともに、ルールや歴史の変遷、審判法についても学習し、教養を深め、何よりチームスポーツの素晴らしさを体得したい。						
	到達目標	(1)オーバーハンド・アンダーハンドパスなどの基礎技術において、一定レベルまでの到達。 (2)ローテーションやフォーメーションの理解。 (3)ルールの理解と審判法の習得。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 本実技の紹介をし、15回の展開を説明する。 【準備学習の内容】 シラバス内容を熟読しておくこと。						A、E
	第2回	【テーマ】 ボール慣れの練習 【計画内容】 バレーボールを使ってボール慣れの練習。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。						A、E
	第3回	【テーマ】 オーバー・アンダーハンドパスの構え、動き 【計画内容】 基本的なパスとトスの構えおよびその動き。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。						A、E
	第4回	【テーマ】 パスとトスの練習方法 【計画内容】 パスとトスの練習方法の実践。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。						A、E
	第5回	【テーマ】 スパイクの種類、動き 【計画内容】 基本的なスパイクの種類およびその動き。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。						A、E
	第6回	【テーマ】 スパイクの練習方法 【計画内容】 スパイクの練習方法の実践。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。						A、E
	第7回	【テーマ】 レシーブの構え、動き 【計画内容】 基本的なレシーブの構えおよびその動き。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。						A、E
	第8回	【テーマ】 レシーブの練習方法 【計画内容】 レシーブの練習方法の実践。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。						A、E
	第9回	【テーマ】 ブロックの構え、動き 【計画内容】 ブロックの構えおよびその動き。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。						A、E
	第10回	【テーマ】 ブロックの練習方法 【計画内容】 ブロックの練習方法とその実践。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。						A、E
	第11回	【テーマ】 サービスの種類、練習 【計画内容】 サービスの種類およびその練習。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。						A、E
	第12回	【テーマ】 守備のフォーメーション 【計画内容】 守備フォーメーション(隊形)の確認と練習。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。						A、E
	第13回	【テーマ】 攻撃のフォーメーション 【計画内容】 攻撃フォーメーション(隊形)の確認と練習。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。						A、E
	第14回	【テーマ】 ルールと審判法 【計画内容】 ルールと審判法について、実践を交えて解説。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。						A、E
	第15回	【テーマ】 まとめとふりかえり 【計画内容】 まとめとして実技スキルの確認とふりかえりを行う。 【準備学習の内容】 本実技のふりかえり、スキル向上確認を行う。						A、E
テキスト	必要に応じて資料やプリントを配付します							
参 考 書	日本バレーボール協会、2019年、『バレーボール6人制競技規則(ルールブック)』、日本バレーボール協会 必要に応じて資料やプリントを配付します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足	25%	50%			25%		
質問への対応	初回授業時に具体的に説明します							
資 格	[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必							
そ の 他	上級者は示範など積極的に行うこと。適宜ゲームを行うが、チームスポーツとして協調性やチームワークを尊重すること。最低限のルール理解やゲーム運営に必要な知識は身につけること。 第16回に確認試験を実施する。教職必修である3年次開講の「生涯スポーツ指導演習(バレーボール)」を履修する者は、必ず履修すること。							

科 目 名		生涯スポーツ(エアロビック)			授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名		是枝 亮						
授 業 の 目 的	ねらい	エアロビックは、健康体力づくりを目的とした有酸素運動であるだけでなく、明確で多様な動きの身体表現と技術の向上を楽しむスポーツとしても発展してきている。授業では、エアロビックの基礎理論を学ぶとともに、基本動作を段階的に学習し、音楽にあわせてリズムカルに身体を動かす楽しさを体験する。エアロビックの基本技術、基礎技術を身につけることにより、生涯スポーツとして幅広く親しまれているエアロビックの特性を理解することをねらいとする。						
	到達目標	(1)エアロビックの基本動作を段階的に学習し、明確な動きを行う。 (2)エアロビックのプログラムの基本構成を理解する。 (3)複数で行うエアロビックの発表を通し、表現スポーツとしての理解を深める。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス・エアロビック総論 【計画内容】 エアロビックの歴史と特性、指導者の資格と役割について学ぶ。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。						E、K
	第2回	【テーマ】 エアロビックの基礎理論と実際(1) 【計画内容】 エアロビックのプログラム構成と基本姿勢、基本の動きについて学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第3回	【テーマ】 エアロビックの基礎理論と実践(2) 【計画内容】 エアロビックの運動強度およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第4回	【テーマ】 エアロビックの基礎理論と実践(3) 【計画内容】 ウォームアップとクールダウンの意義および音楽の選択について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第5回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(1) 【計画内容】 下肢の基本動作、動きの組み合わせおよびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第6回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(2) 【計画内容】 上肢下肢の組み合わせによる基本動作およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第7回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(3) 【計画内容】 上肢と下肢の複雑な動きの組み合わせおよびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第8回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(4) 【計画内容】 方向転換、移動を伴った基本動作およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第9回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(5) 【計画内容】 音楽、動きのリズム構成に対する理解を深め、リズム変化を伴った基本動作を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第10回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(6) 【計画内容】 多様な動きをリズムカルに動く技術およびストレッチングの方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第11回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(7) 【計画内容】 多様な動きで作られたルーティンを明確に行う技術を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、K
	第12回	【テーマ】 チームパフォーマンスの構成(1) 【計画内容】 複数で行うエアロビックの基本を学ぶ。 【準備学習の内容】 前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、H、K
	第13回	【テーマ】 チームパフォーマンスの構成(2) 【計画内容】 複数で行うエアロビックを創作する。 【準備学習の内容】 前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、H、K
	第14回	【テーマ】 チームパフォーマンスの構成(3) 【計画内容】 複数で行うエアロビックを表現スポーツとして完成度を高める。 【準備学習の内容】 前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。						E、H、K
	第15回	【テーマ】 まとめとチームパフォーマンスの発表 【計画内容】 実技課題の確認と発表を行う。 【準備学習の内容】 前回までの内容について十分に復習し、チームパフォーマンスを発表する準備をしておくこと。						E、F、K
テキスト	プリントを使用します							
参 考 書	1995年、『エアロビック指導員教本』、(公社)日本エアロビック連盟 1999年、『新・エアロビックダンスエクササイズの実技指導』、(公社)日本フィットネス協会							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分		60%	20%		20%		
	補 足							
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資 格	[健]健康運動実践指導者_必修、エアロビック指導員_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、JPSUスポーツトレーナー_選必、エアロビック指導員_必修							
そ の 他	「生涯スポーツ指導演習(エアロビック)」は、この授業を履修していなければ受講できない。 健康運動指導士取得希望者は履修すること。教職(保健体育)希望者は履修することが望ましい。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。							

科目名		精神保健	授業形態	講義	単位数	2
教員名		杉岡 子子				
授業の目的	ねらい	精神保健とは、精神障害の予防と治療のみならず、人間の発達過程や社会生活における環境への適応に関わる学問であり、メンタルヘルスに関わる全ての人に必要な知識である。 ここでは、精神保健の概念や歴史について基礎的知識を得たのち、ライフサイクルと個別課題に沿って、主要な精神保健上の課題と対応について実践例を交えながら学ぶ。そして、講義を通して知識だけでなく、生涯にわたって関連する自らの精神保健について考える機会を持つことを目的とする。				
	目標	(1)精神保健及び精神疾患についての基礎的知識を理解する。 (2)メンタルヘルスを自分のこととして捉えることができる。				
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の目的、目標、展開内容、評価方法などについて説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。				A
	第2回	【テーマ】精神保健の基礎(1) 【計画内容】精神保健の概論について学ぶ。 【準備学習の内容】精神保健とは何かを調べておくこと。				A、G
	第3回	【テーマ】精神保健の基礎(2) 【計画内容】精神保健の歴史について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。				A、G
	第4回	【テーマ】人間の成長と発達の基礎的理解及びライフサイクルと精神保健(1) 【計画内容】人間の成長と発達を学び、また、乳児期の特徴と心理的問題について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。				A、G
	第5回	【テーマ】ライフサイクルと精神保健(2) 【計画内容】幼児期・学童期の特徴と心理的問題について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。				A、G
	第6回	【テーマ】ライフサイクルと精神保健(3) 【計画内容】青年期の特徴と心理的問題について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。				A、G
	第7回	【テーマ】まとめと確認(中間)・ライフサイクルと精神保健(4) 【計画内容】振り返りと確認(中間)を行う。また、成人期・壮年期・老年期の特徴と心理的問題について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。				A、G
	第8回	【テーマ】個別課題への理解と対応(1) 【計画内容】精神疾患について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。				A、G
	第9回	【テーマ】個別課題への理解と対応(2) 【計画内容】精神疾患について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。				A、G
	第10回	【テーマ】個別課題への理解と対応(3) 【計画内容】精神疾患について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。				A、G
	第11回	【テーマ】家庭における精神保健 【計画内容】家庭における精神保健について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。				A、G
	第12回	【テーマ】学校における精神保健 【計画内容】学校における精神保健について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。				A、G
	第13回	【テーマ】職場・地域における精神保健 【計画内容】職場・地域における精神保健について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。				A、G
	第14回	【テーマ】精神保健福祉制度等について 【計画内容】精神保健福祉制度、精神障害者の人権・社会復帰に向けた支援について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。				A、G
	第15回	【テーマ】まとめと確認(最終) 【計画内容】これまでの講義を振り返り、まとめと確認(最終)を行う。 【準備学習の内容】これまでの講義内容を復習し、理解しておくこと。				A、G
テキスト		プリントを使用します				
参考書		十束士朗他、2004年、『あたらしい精神保健』、医学出版社				
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度
	配分			40%		30%
		補足		レポート		小レポート取組み
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。				
資格		[健]介護福祉士_必修				
その他		成績評価は、各項目の60%以上取得した場合を合格とする。 大学生としてのマナー、受講態度で受講すること。意欲的、積極的に学ぶ姿勢を重視するので、講義に集中できない学生はよく熟考して履修を決めること。				

科 目 名		生活の中の介護福祉			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		福島 義典						
授 業 の 目 的	ねらい	少子高齢社会といわれる現代では、介護を必要とする人の増加を背景に「介護」に関連する様々な課題が問われています。それらの課題と関連させながら「介護」とは何かを考えていきます。高齢者福祉、障がい者福祉及び権利擁護等の制度・施策について、介護実践に必要な観点から基礎的な知識を習得します。						
	到達目標	(1)介護・介護福祉についての基本的な知識を身につける。 (2)介護を取り巻く状況について、社会情勢と関連付けて考えることができる。 (3)介護を必要とする人の尊厳の保持と自立支援の重要性を理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 介護・介護福祉の概念・理念、介護における倫理について 【計画内容】 講義展開の説明から講義の全体像を把握し、学び方を考えます。介護等の理念等、人権と尊厳を支える介護、自立支援など介護における倫理についても学びます。 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおいてください。					A	
	第2回	【テーマ】 社会と生活のしくみについて 【計画内容】 介護、介護福祉に関連する社会と生活のしくみの課題等について学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。					A、H	
	第3回	【テーマ】 介護におけるコミュニケーションについて 【計画内容】 日常で行っているバーバル、ノンバーバルコミュニケーションを含めて、介護を通じてその意味と方法について学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。					A、B	
	第4回	【テーマ】 移動、排せつの介護について 【計画内容】 移動、排せつに関する介護等を介護用品も確認しながら、QOLも含めてケア内容等について学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。					A、H	
	第5回	【テーマ】 食事、入浴の介護について 【計画内容】 食事、入浴に関する介護等をQOLも含めてケア内容等について学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。					A、H	
	第6回	【テーマ】 認知症ケアについて 【計画内容】 アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症等の疾病、そのケア対応内容などについて学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。					A、B	
	第7回	【テーマ】 福祉用具の意義と活用について 【計画内容】 よりよい生活を送るために福祉用具にはどのようなものがあるのか。福祉用具を利用した自立と介護について学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。					A、H	
	第8回	【テーマ】 リスクマネジメントについて 【計画内容】 日常生活で起こり得るリスクについて、ソフト(人)やハード(物)を活用した予防方法等について学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。					A、B	
	第9回	【テーマ】 心身の健康管理について 【計画内容】 介護を行う上で大切となる心と体の健康管理を感染症予防、腰痛予防、メンタルヘルス等を通じて学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。					A、B	
	第10回	【テーマ】 介護実践に関連する諸制度について 【計画内容】 介護実践に関連する介護保険制度、老人福祉法などについて学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。					A、B	
	第11回	【テーマ】 障がいの理解について 【計画内容】 介護を行う上で障がいの制度、内容や関わり、手話などについて学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。課題に取り組んで下さい。					A、E	
	第12回	【テーマ】 ターミナルケアについて 【計画内容】 ホームに入居している介護が必要な高齢者が、エンディングまで人生を生き抜くために行う支援と介護について学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。					A、H	
	第13回	【テーマ】 介護予防について 【計画内容】 ケアレクやケアアクティビティ等、現在の介護予防の取り組みについて学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを復習しておいてください。					A、E	
	第14回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 講義全体の振り返りをし、学びの確認をします。 【準備学習の内容】 これまでの講義内容を配付したプリントと各自のノートで復習してください。					A、L	
	第15回	【テーマ】 今後のケアワークについて～地域共生社会の実現に向けた制度や施策 【計画内容】 ケアワークの現状と課題と魅力と今後、地域共生社会の実現に向けた制度や施策について学びます。 【準備学習の内容】 これまでの講義内容を配付したプリントと各自のノートで復習してください。					A、H	
テキスト		講義時にプリントを配付します。						
参 考 書		講義時にプリントを配付します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	50%				40%	10%	
	補 足						講義課題	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[健]介護福祉士_必修						
そ の 他		第16回に最終評価のためのテストを行います。自ら考え学ぶ姿勢と積極的な受講態度を期待します。						

科 目 名	介護予防実践演習				授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名	小田 史郎、阿部 豊、岩本 希、尾形 良子、梶 晴美、黒澤 直子、小坂井 留美、佐藤 郁子、佐藤 克之、杉岡 品子、本間 美幸、八巻 貴穂、吉田 修大							
授 業 の 目 的	ねらい	本科目では、介護予防論を踏まえ、地域で活動している団体等で実践している内容について現場実習を通じて体験する。また、本講座終了後、介護予防リーダーとしてどのような活動を行っていきたいのかについての修了レポートを作成し、介護予防計画の立案についての学びを深める。						
	到達目標	(1)住民が主体となった介護予防推進の実践について理解する。 (2)現場での体験をしながら介護予防リーダーの役割について理解する。 (3)住民主体の介護予防計画を立案できるようになる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の展開予定について理解する。(小田史郎) 【準備学習の内容】介護予防論で学んだことを復習しておく。						A、G
	第2回	【テーマ】現場実習Ⅰの準備① 【計画内容】月形町で行われているヘルシーアカデミーや「がたりんピック」の取り組みについての話を聞く。さらに実習の内容や心構えを理解し、実習への準備を進める。(小田史郎) 【準備学習の内容】月形町で行われている取り組みについて調べておく。						A、G
	第3回	【テーマ】現場実習Ⅰの準備② 【計画内容】がたりんピックで行われるニュースポーツの実施方法を理解し、運営できるように準備を進める。(小田史郎) 【準備学習の内容】担当するニュースポーツ種目について復習しておく。						B
	第4回	【テーマ】現場実習Ⅰ① 【計画内容】月形町のがたりんピックに参加し、ニュースポーツコーナーの担当を通じて、運営方法についての理解を深める。(小田史郎) 【準備学習の内容】実習のルールや心構えを復習しておく。						M
	第5回	【テーマ】現場実習Ⅰ② 【計画内容】月形町のがたりんピックに参加し、ニュースポーツコーナーの担当を通じて、運営方法についての理解を深める。(小田史郎) 【準備学習の内容】実習のルールや心構えを復習しておく。						M
	第6回	【テーマ】現場実習Ⅰ③ 【計画内容】月形町のがたりんピックに参加し、ニュースポーツコーナーの担当を通じて、運営方法についての理解を深める。(小田史郎) 【準備学習の内容】実習のルールや心構えを復習しておく。						M
	第7回	【テーマ】地域における介護予防事業の理解 【計画内容】江別市における介護予防事業の取り組みや、住民主体で行われている介護予防イベントについて理解を深める。(小田史郎) 【準備学習の内容】江別市の取り組みについて調べておく。						A、G
	第8回	【テーマ】現場実習Ⅱの準備① 【計画内容】フィールドワークを通じて江別市についての理解を深める。(小田史郎) 【準備学習の内容】江別市について調べておく。						M
	第9回	【テーマ】現場実習Ⅱの準備② 【計画内容】フィールドワークを通じて江別市についての理解を深める。(小田史郎) 【準備学習の内容】江別市について調べておく。						M
	第10回	【テーマ】現場実習Ⅱ① 【計画内容】江別市で行われている住民主体の介護予防事業に参加し、運営についての理解を深める。(小田史郎) 【準備学習の内容】これまでの実習で得た知識や経験を整理し、実習のルールや心構えを復習しておく。						M
	第11回	【テーマ】現場実習Ⅱ② 【計画内容】江別市で行われている住民主体の介護予防事業に参加し、運営についての理解を深める。(小田史郎) 【準備学習の内容】これまでの実習で得た知識や経験を整理し、実習のルールや心構えを復習しておく。						M
	第12回	【テーマ】現場実習Ⅱ③ 【計画内容】江別市で行われている住民主体の介護予防事業に参加し、運営についての理解を深める。(小田史郎) 【準備学習の内容】これまでの実習で得た知識や経験を整理し、実習のルールや心構えを復習しておく。						M
	第13回	【テーマ】現場実習Ⅱのふりかえりと介護予防計画の立案に向けての準備 【計画内容】現場実習で得た知識や経験を整理し、介護予防計画を立案するための準備を進める。(小田史郎) 【準備学習の内容】実習で得た知識や経験をまとめておく。						G、H
	第14回	【テーマ】介護予防計画の立案 【計画内容】実習で得た知識や経験をもとに、介護予防計画を立案する。(全教員) 【準備学習の内容】実習で得た知識や経験をまとめておく。						G
	第15回	【テーマ】介護予防計画の完成 【計画内容】介護予防計画を修正し、完成を目指す。(小田史郎) 【準備学習の内容】自らが作成した介護予防計画を説明できるようにしておく。						F、G
テキスト	講義内で提示します							
参 考 書	講義内で提示します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			60%		40%		
補 足	足							
質問への対応	講義全体についての質問は小田先生、それ以外の学習内容等についてはそれぞれの担当教員が対応します。							
資 格								
そ の 他	本演習は、介護予防論を履修済みの学生が対象となります。							

科 目 名		医学概論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		大宮司 信					
授 業 の 目 的	ねらい	科学と医学の進歩により、例えばヒトの遺伝情報の全貌が明らかにされつつある。このような現代医学の進歩を踏まえて、健康と長寿をキーワードとし、介護や福祉に従事するために必要なからだのしくみを習得する。また心身機能と身体機能及び疾病や傷害について、人間の成長・発達と日常生活との関係を踏まえて理解する。さらに国際生活機能分類(ICF)に基づきリハビリテーションの概要を理解する。					
	到達目標	(1)健康と長寿をキーワードとし、身体の構造と生理機能を学ぶ。 (2)介護や福祉に従事するために、必要なからだのしくみや疾病を習得する。 (3)国際生活機能分類(ICF)に基づきリハビリテーションの概要を理解する。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】講義全体のオリエンテーション及び人体の解剖・生理の基礎 【計画内容】人体の主要部位の名称、人体を構成する細胞の構造と機能、そして全体としてのからだの働きを学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスにより講義内容を把握しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】がん(総論) 【計画内容】がんとはどのようなものかについて理解する。 【準備学習の内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。					A
	第3回	【テーマ】がん(各論) 【計画内容】現代問題にされているがんについて理解し、その社会的な影響について考える。 【準備学習の内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。					A
	第4回	【テーマ】感染症(1) 【計画内容】結核を中心に、感染症に対する公衆衛生を踏まえた社会の取り組みについて学ぶ。 【準備学習の内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。					A
	第5回	【テーマ】感染症(2) 【計画内容】エイズ、ノロウイルス感染症などの新しい感染症とその社会に与える影響について学ぶ。 【準備学習の内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。					A
	第6回	【テーマ】人の成長と発達(1) 【計画内容】出生から死亡までの人の一生とその各時期の特徴から、からだのしくみを理解する。 【準備学習の内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。					A
	第7回	【テーマ】人の成長と発達(2) 【計画内容】若者にすでにみられるメタボリック症候群、その結果中年以降に問題となる生活習慣病について学ぶ。 【準備学習の内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。					A
	第8回	【テーマ】人の成長と発達(3) 【計画内容】生活習慣病の結果として高血圧・脳血管疾患について学ぶ。 【準備学習の内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。					A
	第9回	【テーマ】ICFの基本的な考え方と概要 【計画内容】WHOの疾病の把握の仕方や取り組みの概要について学ぶ。 【準備学習の内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。					A
	第10回	【テーマ】健康のとらえ方 【計画内容】健康・病気・未病などの考え方を西洋と東洋を比較しながら、からだのしくみを理解する。 【準備学習の内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。					A
	第11回	【テーマ】リハビリテーション(1) 【計画内容】第8回で学んだ脳血管疾患を例にとりてリハビリテーションの概略を知る。 【準備学習の内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。					A
	第12回	【テーマ】リハビリテーション(2) 【計画内容】地域リハビリテーションやエンパワーメントなどのリハビリテーションについて最近の知見を学ぶ。 【準備学習の内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。					A
	第13回	【テーマ】話題の病気 【計画内容】これからパンデミックな広がりが懸念される、鳥インフルエンザ感染症などについて取り上げる。 【準備学習の内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。					A
	第14回	【テーマ】日本の医療 【計画内容】他の国々と比較した際の我が国の疾病の特徴や取り組みについて学ぶ。 【準備学習の内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。					A
	第15回	【テーマ】全体のまとめ:病気からみた健康と人間の一生 【計画内容】疾病をとおしてみた健康や人の成長と一生を全体として考える。 【準備学習の内容】これまで学んだことをあらかじめ復習しておくこと。					A
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『人体の構造と機能及び疾病(新・社会福祉養成講座-1)』、中央法規出版、4805851007						
参 考 書	講義時に適宜紹介します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分			40%		60%	
	補 足			毎回の小レポート			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資 格	[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必						
そ の 他	欠席時は事後でもよいので必ず欠席届を提出すること。						

科 目 名		医学知識			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		大宮司 信						
授 業 の 目 的	ねらい	死・ターミナルケア・緩和医療などを念頭に、からだのしくみの基礎、すなわち身体の構造並びに生理機能、特に死にゆくひとのこのころとからだのしくみを理解するために医療の各分野を全般的に紹介し、現代に特徴的な疾病についての講義をねらいとする。特に死の捉え方、終末期から危篤の時期・死亡期の身体的・精神的諸問題の理解など、医療職との連携をふまえ、疾病を広く理解できることを目標とする。						
	到達目標	(1)介護領域を中心に出会うことの多い疾患とその背景にある身体の仕組みを説明できる。 (2)臨死・緩和ケアに関する考え方の基礎を理解している。 (3)他の医療機関との関係・協力、それぞれの果たす役割が理解できている。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】オリエンテーション:医療の倫理 【計画内容】介護・福祉に携わる立場の専門家として必要な医療の倫理を学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスをあらかじめよく読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】医療の中の介護と福祉 【計画内容】他の医療機関との関係、連携の仕方、役割分担などを知ることを通して、からだのしくみを理解する重要性を学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。						A
	第3回	【テーマ】人の身体の恒常性の維持機能(1) 【計画内容】人が外界の変化に関わらず身体を恒常的に維持できる機能、すなわちホメオスタシスについて学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。						A
	第4回	【テーマ】人の身体の恒常性の維持機能(2) 【計画内容】ホメオスタシスの具体的な機能である内分泌や免疫系について学び、からだのしくみを理解する。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。						A
	第5回	【テーマ】脳・神経の構造と機能 【計画内容】神経系のしくみと働きを脊髄反射などを通して学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。						A
	第6回	【テーマ】循環のしくみと構造 【計画内容】心臓を中心とする体循環・肺循環・抹消循環、動脈と静脈、リンパの循環などについて学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。						A
	第7回	【テーマ】循環の異常と病気 【計画内容】高血圧、心筋梗塞などの虚血性心疾患とその治療について学ぶ。AEDの使用法についても実習する。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。						A
	第8回	【テーマ】消化のしくみと構造 【計画内容】口から肛門へ至る消化器の構造と機能、消化・吸収の意義などについて学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。						A
	第9回	【テーマ】消化の異常と病気 【計画内容】介護場面で問題となる嚥下障害をはじめ、主な消化器の病気について学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。						A
	第10回	【テーマ】呼吸のしくみと構造、その病気 【計画内容】外呼吸と内呼吸、肺の構造とはたらき、肺炎や誤嚥による気道閉塞の危険性などについて学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。						A
	第11回	【テーマ】排泄のしくみと構造 【計画内容】腎臓における尿の生成のしくみ、排尿のしくみ、泌尿器系の病気について学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。						A
	第12回	【テーマ】皮膚の構造と病気 【計画内容】褥瘡のできるしくみ・治療・予防を中心に皮膚の病気について学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。						A
	第13回	【テーマ】臨死(1) 【計画内容】死にゆく人のこのころとからだのしくみを学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。						A
	第14回	【テーマ】臨死(2) 【計画内容】ターミナルケアと緩和医療を学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付する資料を読んでおくこと。						A
	第15回	【テーマ】まとめ:医療の中の介護と福祉の役割 【計画内容】医療の中において介護・福祉が置かれている現在の状況やこれからの可能性について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付する資料を読んでおくこと。						A
テキスト		社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『人体の構造と機能及び疾病(新・社会福祉士養成講座-1)』、中央法規出版、4805851007						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			40%		60%		
	補 足			毎回の小レポート				
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[健]介護福祉士_必修						
そ の 他		欠席時は事後でよいので必ず欠席届を提出すること。						

科 目 名		社会学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		松下 守邦						
授 業 の 目 的	ねらい	社会学は、「人々の社会とは何か」を明らかにする、社会科学の一つの学問です。経済学や政治学の扱う領域に近いものですが、人間生活をあつかう社会福祉学にも近い学問です。社会学は独自の視点として、社会関係、社会的行為、社会集団、社会構造、社会変動などの考え方(概念)を使って説明をします。個人と社会、家族社会、地域社会、産業労働社会、福祉社会など、ミクロからマクロの現代社会における人間関係、ジェンダー、社会階層と格差、少子化と高齢化など、社会事象の特質について学ぶことをねらいとします。						
	到達目標	(1)社会学の基本的概念を理解し、説明(記述)ができる。 (2)社会事象を社会学の基本的用語を使い、説明(記述)ができる。 (3)現代の社会事象について、その問題点と対策を、説明(記述)ができる。 (4)知識の外化(3手法:書く、話す、発表する)を使い、表現ができる。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】テキスト、配付資料、ノート、作業課題(斉藤孝氏「3色線引読み」、授業の振り返りなど、授業のながれについて説明をします。 【準備学習の内容】能動的ノートのとり方(飯間浩明氏twitter記事)、講義の受け方(佐藤望氏動画)を参考にしてください。飯間浩明氏(日本語辞書編纂者)twitter (2015, April, 11)「板書をスマホで撮影してノートに代える」学生” https://twitter.com/IIMA_Hiroaki/status/586525324088774657/photo/1 、他 Blog http://www.asahi-net.or.jp/~QM4H-IIM/ (https://twitter.com/IIMA_Hiroaki)					A	
	第2回	【テーマ】社会学の考え方 【計画内容】社会学の基本的概念である、社会化、社会的地位、役割、社会集団について、その定義と問題点を学習します。 【準備学習の内容】テキスト第1章「社会学の考え方」を読み、予習してください。					A	
	第3回	【テーマ】家族社会-1 【計画内容】家族の類型と機能について、その定義と問題点を学習します。 【準備学習の内容】テキスト第2章「家族の構成と機能」を読み、予習してください。					A	
	第4回	【テーマ】家族社会-2 【計画内容】日本の家族形態の変化と親族関係について、解説しその問題点を学習します。 【準備学習の内容】テキスト第3章「日本の家族の変容と親族関係」と配付資料を読み、予習してください。					A	
	第5回	【テーマ】ライフコース 【計画内容】ライフコース、ライスカイクルについて、その定義と問題点を学習します。 【準備学習の内容】テキスト第4章「ライフコースの発想」と学習のヒントを読み、予習してください。					A	
	第6回	【テーマ】「社会学の基本的概念」「家族社会」「ライフコース」のまとめ 【計画内容】3テーマ「社会学の基本的概念」「家族社会」「ライフコース」の復習と理解度を確認する作業をおこないます。 【準備学習の内容】これまでの学習内容を整理し、テキスト、配付資料、オリジナルノートを確認してください。					A、L	
	第7回	【テーマ】ジェンダー 【計画内容】性別役割規範、ジェンダー、社会文化的性差について、その定義と問題点を学習します。 【準備学習の内容】テキスト第5章「ジェンダー」と学習のヒントを読み、予習をしてください。					A	
	第8回	【テーマ】地域社会-1 【計画内容】都市化、都市的生活様式、過疎化について、その定義と問題点を学習します。 【準備学習の内容】テキスト第8章「都市と都市的生活様式」と学習のヒントを読み、予習をしてください。					A	
	第9回	【テーマ】地域社会-2 【計画内容】第一次関係、パーソナル・ネットワーク、地域社会の人口変動について、解説し問題点を学習します。 【準備学習の内容】テキスト第10章「都市社会のパーソナル・ネットワーク」と学習のヒントを読み、予習をしてください。					A	
	第10回	【テーマ】少子化と高齢化 【計画内容】少子化と高齢化、人口転換(出生力、死亡率)について、その定義と問題点を学習します。 【準備学習の内容】テキスト第11章と学習のヒントを読み、予習をしてください。					A	
	第11回	【テーマ】「ジェンダー」「地域社会」「少子化と高齢化」のまとめ 【計画内容】3テーマ「ジェンダー」「地域社会」「少子化と高齢化」の復習と理解度を確認する作業をおこないます。 【準備学習の内容】これまでの学習内容を整理し、テキスト、配付資料、オリジナルノートを確認してください。					A、L	
	第12回	【テーマ】社会階層と格差 【計画内容】平等と公平の意味、公正の定義について説明します。さらに社会的少数者への配慮について学習をします。 【準備学習の内容】テキスト第7章「社会階層と格差」と学習のヒントを読み、予習をしてください。					A	
	第13回	【テーマ】産業労働社会 【計画内容】労働社会学の文献読解をおこないます。 【準備学習の内容】配付資料を読み、予習をしてください。					A、K	
	第14回	【テーマ】福祉社会 【計画内容】ギデンス「貧困」、社会福祉と対人サービスのあり方に関する文献を学習します。 【準備学習の内容】配付資料を読み、予習をしてください。					A、K	
	第15回	【テーマ】授業全体のまとめと振り返り 【計画内容】授業内容の全体についてまとめをおこない、確認をおこないます。 【準備学習の内容】テキスト、配付資料、オリジナルノートを確認、その上で不明な点を質問できるよう準備してください。					A、L	
テキスト		森岡清志、2016年、『改訂版 社会学入門』、放送大学教育振興会、9784595316319						
参考書		日本社会学会、2010年、『社会学事典』、丸善、9784621082546 クリストファー・ソープ他、2018年、『10代からの社会学図鑑』、三省堂、9784385162423						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	50%		30%		10%	10%	
	補足	筆記試験		作業シート		協働学習に参加	ノート作成	
質問への対応		初回授業の際に説明をします。						
資 格		[健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必、社会教育主事_選必						
そ の 他		第15回授業にて、家族、地域社会、社会集団の作業課題はふりかえり、講評を実施します。ていねいに深く学びつづけることを大切にします。アカデミック・スキルズは、佐藤望先生の動画資料を参考にしてください。 https://www.youtube.com/watch?v=xrSBW8NLDaA 第16回にはまとめ試験をおこないます。						

科 目 名		心理学概論			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		澤 聡一						
授 業 の 目 的	ねらい	人間の心のはたらきについて、乳幼児期から高齢期に至るまでの生涯発達の観点から捉え、心理学の基礎的知識を得ることとは、自己洞察や他者理解を深めるための大切な営みです。また心理学を学ぶことは、教育や介護等における対人援助実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び豊かな人間性を養う上でも重要です。サイエンスとアートの両方の面を持ちながら、社会のニーズに応じて裾野を広げ続ける心理学の基本的知識の習得とその学習姿勢の醸成を、本講義の目標とします。						
	到達目標	(1)心理学の成立の背景を知り、人間の心のはたらきについての基本的な知識を習得する。 (2)生涯発達の観点から人間の成長のプロセスを理解する。 (3)日常生活における心の健康の維持についての理論を学び実践につなげる。 (4)福祉や教育等との関連をふまえながら心理的支援の方法と実際についての知識を得る。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】心理学の成り立ち 【計画内容】講義全体の流れを説明すると共に、心理学の成立の背景について学び、心理学が社会からどのように必要とされてきたかを知ること、心の学びのイントロダクションとします。 【準備学習の内容】シラバスの内容をあらかじめ読んでおくこと。					A、K	
	第2回	【テーマ】集団心理 【計画内容】人間は社会的存在であり、他者とかかわりあいながら生きています。ここでは、人間の行動が集団の中にあることで受ける影響等について学びます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第3回	【テーマ】パーソナリティ 【計画内容】類型論、特性論などの代表的なパーソナリティ理解の視点について学び、心理テストの体験学習等を通して自己理解を深めます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第4回	【テーマ】自己理解・他者理解 【計画内容】自己概念や自尊感情など、自分や他人を理解するために有用な様々な概念を学びます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第5回	【テーマ】感覚・知覚 【計画内容】視覚、聴覚、知覚の体制化、錯視、文脈効果などの体験学習を通して、人間が外界からどのように情報を得て、用いているかを学びます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第6回	【テーマ】記憶 【計画内容】記憶の仕組みに関する心理学的モデルや、記憶の種類、記憶の方略について学びます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第7回	【テーマ】学習 【計画内容】新しい行動の学習や、一度学習した行動の変容について、学習理論を中心に学びます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第8回	【テーマ】思考と言語 【計画内容】思考と推論の心理的プロセスについて学び、次いで言語やコミュニケーションに関わる心理学的知見を学びます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第9回	【テーマ】心と脳 【計画内容】心の生物学的基盤としての脳の構造や機能を知り、心のはたらきとどのように対応しているかを学びます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第10回	【テーマ】感情・動機づけ 【計画内容】感情についての理論、感情の発達、感情と表情、感情と文化、動機づけ、生理的欲求、社会的欲求、認知的欲求等について概説します。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第11回	【テーマ】心の健康と臨床心理学 【計画内容】臨床心理学の適用領域と、さまざまな理論について紹介します。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第12回	【テーマ】心の問題への心理的支援 【計画内容】クライアント中心療法や認知行動療法などのさまざまな心理療法について概説します。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第13回	【テーマ】乳幼児期・児童期の発達 【計画内容】遺伝と環境、人間の成長の特殊性、認知発達理論、発達段階説、言語発達の様相などについて学びます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第14回	【テーマ】青年期以降の生涯発達 【計画内容】自我同一性などの青年期のテーマのほか、成人期、高齢期について学び、生涯発達の視点を深めます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義の内容を振り返ると共に、現代社会のなかで心理学をどのように活かすかを、ストレス等を例に考えます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。					A、K	
テキスト		プリント等を適宜配付します						
参 考 書		平田裕美・伊藤美奈子編、2010年、『心理学入門-こころの仕組みを理解する-』、建帛社、9784767940137 長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦・濱中直行、2008年、『はじめて出会う心理学 改訂版』、有斐閣、9784641123458 繁樹算男、2018年、『心理学概論（公認心理師の基礎と実践）』、遠見書房、9784866160528						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	40%				30%	30%	
	補足	最終				平時	毎回の感想・考察シート	
質問への対応		リアクションペーパー等で講義の都度質問するか、E-Mail:sawat@hokusho-u.ac.jpを用いてください。						
資 格		[健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]公認心理師_必修、精神保健福祉士_選必、認定心理士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必						
そ の 他		第16回に最終評価のためのテストを行います。希望者には、後日解説と講評を行います。 私語や携帯電話使用などの講義の進行を妨げる行為や他の受講生への迷惑行為に対し、注意されても受講態度が変わらない場合は単位を認定しません。						

科 目 名		ソーシャルワーク概説Ⅰ			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		岩本 希						
授 業 の 目 的	ねらい	本講義は社会福祉士やソーシャルワーカーに求められる人間の多面的理解と尊厳の保持、自立・自律した生活を支える必要性について理解することを目的とします。さらに、ソーシャルワークの形成過程を踏まえつつ、相談援助に必要な理念について学ぶことによって社会福祉およびソーシャルワークの基礎的概念を理解します。						
	到達目標	(1)社会福祉専門職である社会福祉士の役割や意義について説明することができる。 (2)社会福祉士およびソーシャルワーカーに必要な資格制度の歴史、法制度、ソーシャルワークの定義など相談援助の概念と範囲及び専門職倫理について理解する。 (3)社会福祉士およびソーシャルワーカーに必要な人権尊重や社会正義など相談援助の理念を理解する。 (4)総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション ソーシャルワークとは何か 【計画内容】ソーシャルワークの概念を踏まえ、ソーシャルワークの視点に沿ったクライアントを理解する考え方について学びます。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】社会福祉士の役割と意義(1)～社会福祉士とは～ 【計画内容】社会福祉士及び精神保健福祉士の仕事内容や活躍している施設・機関について学びます。さらに社会福祉士が社会に対して果たすべき役割や意義について学びます。 【準備学習の内容】テキスト第1章第1節を読んでおくこと。						A
	第3回	【テーマ】社会福祉士の役割と意義(2)～社会福祉士の専門性～ 【計画内容】社会福祉士としてクライアントを支援する場合、どのような専門的な知識、技術、価値・倫理を用いているのか学びます。 【準備学習の内容】テキスト第1章第1節を読んでおくこと。						A
	第4回	【テーマ】社会福祉士の役割と意義(3)～社会的背景～ 【計画内容】ソーシャルワークを必要とする背景として、現代社会の特徴や地域生活における諸問題を学びます。 【準備学習の内容】テキスト第1章第2節を読んでおくこと。						A、K
	第5回	【テーマ】相談援助の概念と範囲(1)～ソーシャルワークの定義～ 【計画内容】ソーシャルワークの概念や定義について学びます。 【準備学習の内容】テキスト第2章第1節を読んでおくこと。						A
	第6回	【テーマ】相談援助の概念と範囲(2)～相談援助の構成要素～ 【計画内容】ソーシャルワークの構成要素の内容と相互の影響について学びます。 【準備学習の内容】テキスト第2章第2節を読んでおくこと。						A、K
	第7回	【テーマ】ソーシャルワークの形成過程(1)～ソーシャルワークの源流、基礎確立期～ 【計画内容】ソーシャルワークの歴史について学びます。また、歴史的背景を踏まえつつソーシャルワークがどのように発展してきたのか学びます。 【準備学習の内容】テキスト第3章を読んでおくこと。						A
	第8回	【テーマ】ソーシャルワークの形成過程(2)～ソーシャルワークの発展期・展開期～ 【計画内容】ソーシャルワークの歴史について学びます。また、歴史的背景を踏まえつつソーシャルワークがどのように発展してきたのか学びます。 【準備学習の内容】テキスト第4章第1、2節を読んでおくこと。						A
	第9回	【テーマ】ソーシャルワークの形成過程(3)～ソーシャルワークの統合化とジェネラリスト・ソーシャルワーク～ 【計画内容】ソーシャルワークの歴史について学びます。また、歴史的背景を踏まえつつソーシャルワークがどのように発展してきたのか学びます。 【準備学習の内容】テキスト第4章第3節を読んでおくこと。						A、K
	第10回	【テーマ】相談援助の理念(1)～ソーシャルワーク実践と価値～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【準備学習の内容】テキスト第5章第1、2節を読んでおくこと。						A
	第11回	【テーマ】相談援助の理念(2)～ソーシャルワーク実践と権利擁護～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【準備学習の内容】テキスト第5章第3節を読んでおくこと。						A
	第12回	【テーマ】相談援助の理念(3)～クライアントの尊厳と自己決定～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【準備学習の内容】テキスト第6章第1節を読んでおくこと。						A
	第13回	【テーマ】相談援助の理念(4)～ソーシャルワークと自立支援～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【準備学習の内容】テキスト第6章第1節を読んでおくこと。						A
	第14回	【テーマ】相談援助の理念(5)～ノーマライゼーション、社会的包摂～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【準備学習の内容】テキスト第6章第2節を読んでおくこと。						A
	第15回	【テーマ】総括と確認 【計画内容】今日的なソーシャルワーク(相談援助)と専門職のありかたについての整理と理解度の確認をします。 【準備学習の内容】第14回までの復習をしておくこと。						A、K、L
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『社会福祉士養成講座 第6巻 相談援助に基盤と専門職 第3版』、中央法規出版、4805851023							
参 考 書	講義で適宜紹介します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	40%		30%		30%		
	補 足			ワークシート				
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資 格	[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必							
そ の 他	第7回、13回講義で中間振り返り課題に取り組んでいただきます。課題へのフィードバックはポータル及び第15回講義内で行います。							

科 目 名	ソーシャルワーク概説Ⅱ				授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名	岩本 希							
授 業 の 目 的	ねらい	本講義は、ソーシャルワーク(相談援助)専門職の概念や専門職倫理について我が国の資格制度と関連させながら理解することを目的としています。また、地域におけるソーシャルワーク(相談援助)の考え方やその理論的背景について学びます。						
	到達目標	(1)ソーシャルワーク(相談援助)専門職の概念と範囲について理解する。 (2)ソーシャルワーク(相談援助)における専門的倫理について理解する。 (3)総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)、多職種連携について理解を深める。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション(社会福祉とソーシャルワークの関係) 【計画内容】講義の展開方法の説明及び本講義で扱うソーシャルワーク(相談援助)の社会福祉相対システムにおける位置づけを確認する。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】ソーシャルワーク(相談援助)専門職の概念と範囲1ー専門職と専門職団体 【計画内容】ソーシャルワーク(相談援助)専門職の成立要件や専門職団体の意義や目的を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第10章第1節を読んでおくこと。						A
	第3回	【テーマ】ソーシャルワーク(相談援助)専門職の概念と範囲2ー社会福祉専門職とその範囲 【計画内容】わが国の社会福祉従事者と社会福祉専門職の理解と分野別社会福祉専門職の業務や役割を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第10章第2節を読んでおくこと。						A、K
	第4回	【テーマ】専門的倫理と倫理的ジレンマ1ー専門職倫理の概念 【計画内容】価値と倫理に関する基本的な理解及び専門職倫理の必要性について学ぶ。 【準備学習の内容】テキスト第7章第1節を読んでおくこと。						A
	第5回	【テーマ】専門的倫理と倫理的ジレンマ2ー倫理綱領 【計画内容】倫理綱領の意義と内容について理解する。 【準備学習の内容】テキスト第7章第2節を読んでおくこと。						A
	第6回	【テーマ】専門的倫理と倫理的ジレンマ3ー倫理的ジレンマへの対応 【計画内容】倫理的ジレンマへの対応方法について、事例に基づいて理解する。 【準備学習の内容】テキスト第7章第3節を読んでおくこと。						A、J、K
	第7回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)1ー動向と背景 【計画内容】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)をめぐる動向とその理解する。 【準備学習の内容】テキスト第8章第1節を読んでおくこと。						A
	第8回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)2ー基本的視座 【計画内容】地域を基盤としたソーシャルワーク(相談援助)の基本的視座について理解する。 【準備学習の内容】テキスト第8章第2節を読んでおくこと。						A、K
	第9回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)を支える理論1 【計画内容】総合的なソーシャルワーク(相談援助)の考え方と政策動向を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第9章第1節を読んでおくこと。						A
	第10回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)を支える理論2 【計画内容】ジェネラリスト・ソーシャルワークに関する理論を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第9章第2節を読んでおくこと。						A
	第11回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)を支える理論3 【計画内容】ジェネラリスト・ソーシャルワークの特質を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第9章第2節を読んでおくこと。						A、K
	第12回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)における専門的機能1ー総合相談の全体像 【計画内容】総合相談システムの今日的課題を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第11章の解説を読んでおくこと。						A
	第13回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)における専門的機能2ー機能の解説1 【計画内容】個と地域の一体的機能、予防機能、新しいニーズへの対応機能を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第11章第1節から第3節を読んでおくこと。						A
	第14回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)における専門的機能3ー機能の解説2 【計画内容】総合的支援機能、多問題家族支援機能、権利擁護機能、社会資源開発機能を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第11章第4節から第7節を読んでおくこと。						A
	第15回	【テーマ】総括と確認 【計画内容】ソーシャルワークの専門職倫理及び総合的かつ包括的な相談援助についての整理と理解度の確認をする。 【準備学習の内容】第14回までの復習をしておくこと。						A、K、L
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『新・社会福祉士養成講座 第6巻 相談援助の基盤と専門職 第3版』、中央法規出版、4805832533							
参 考 書	講義で適宜紹介します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	40%		30%		30%		
	補 足			ワークシート				
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資 格	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必							
そ の 他	本講義は、「相談援助の基盤と専門職」で教育されるべき内容の一部に該当しています。 第7回、第13回講義で振り返り課題に取り組んでいただきます。課題へのフィードバックはポータル及び第15回講義で行います。							

科 目 名		ソーシャルワーク論Ⅰ				授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		尾形 良子							
授 業 の 目 的	ねらい	相談援助の過程とそれに関わる知識と技術について理解します。相談援助における援助関係のあり方や面接技術の知識などの理解を通して、人間関係形成のための基礎的なコミュニケーションや対人援助の技法を学びます。							
	到達目標	(1)実践のために必要な人間理解や、他者への情報の伝達に必要な基礎的なコミュニケーションに関する知識を習得します。 (2)ソーシャルワークの展開過程や面接技術について理解します。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション、ソーシャルワークとは何か 【計画内容】 講義の内容を紹介し、15回の講義展開を説明します。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。							A、K、L
	第2回	【テーマ】 相談援助における援助関係① 【計画内容】 援助関係の意義と概念について学び、相談援助のあり方について考えます。 【準備学習の内容】 講義時に提示する予習課題に取り組むこと。							A、K、L
	第3回	【テーマ】 相談援助における援助関係② 【計画内容】 援助関係を築く際の人間関係形成の方法について学びます。 【準備学習の内容】 講義時に提示する予習課題に取り組むこと。							A、K、L
	第4回	【テーマ】 相談援助における援助関係③ 【計画内容】 援助関係に必要なコミュニケーションの基礎について理解を深めます。 【準備学習の内容】 講義時に提示する予習課題に取り組むこと。							A、K、L
	第5回	【テーマ】 相談援助の過程① 【計画内容】 問題発見から援助につながる過程について理解します。 【準備学習の内容】 講義時に提示する予習課題に取り組むこと。							A、K、L
	第6回	【テーマ】 相談援助の過程② 【計画内容】 インテークからアセスメントに至る過程について学びます。 【準備学習の内容】 講義時に提示する予習課題に取り組むこと。							A、K、L
	第7回	【テーマ】 相談援助の過程③ 【計画内容】 プランニングから援助の実施に進む過程について学びます。 【準備学習の内容】 講義時に提示する予習課題に取り組むこと。							A、K、L
	第8回	【テーマ】 相談援助の過程④ 【計画内容】 モニタリング、終結までの援助過程について学びます。 【準備学習の内容】 講義時に提示する予習課題に取り組むこと。							A、K、L
	第9回	【テーマ】 相談援助のための面接技術① 【計画内容】 面接の意義や目的について学びます。面接のために重要なことは何か理解を深めます。 【準備学習の内容】 講義時に提示する予習課題に取り組むこと。							A、K、L
	第10回	【テーマ】 相談援助のための面接技術② 【計画内容】 面接の方法や技術について学びます。面接に必要なコミュニケーション技術についても理解します。 【準備学習の内容】 講義時に提示する予習課題に取り組むこと。							A、K、L
	第11回	【テーマ】 相談援助の技術① 【計画内容】 スーパービジョンの目的や機能、方法について学び、実践の場で活用することの重要性を理解します。 【準備学習の内容】 授業時に提示する予習課題に取り組むこと。							A、K、L
	第12回	【テーマ】 相談援助の技術② 【計画内容】 ソーシャルワーカーが用いる記録のスタイルや様式について学び、その方法を理解します。 【準備学習の内容】 講義時に提示する予習課題に取り組むこと。							A、K、L
	第13回	【テーマ】 相談援助の現代的課題 【計画内容】 ソーシャルワークにおける現代的な特徴と、それに伴う課題について学びます。 【準備学習の内容】 講義時に提示する予習課題に取り組むこと。							A、K、L
	第14回	【テーマ】 相談援助の実際 【計画内容】 事例を用いて、援助関係のあり方について理解を深め、援助のプロセスを学びます。 【準備学習の内容】 講義時に提示する予習課題に取り組むこと。							A、K、L
	第15回	【テーマ】 相談援助の実際と試験 【計画内容】 事例から、面接技術の活用方法やコミュニケーションのあり方について学び、また、まとめを行います。 【準備学習の内容】 これまでに配付したプリントを復習しておくこと。							A、K、L
テキスト		プリントで実施します							
参 考 書		講義の中で適宜紹介します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分 補足	40%				60%			
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。							
資 格		[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修							
そ の 他									

科 目 名		高齢者福祉論Ⅰ			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		吉田 修大						
授 業 の 目 的	ねらい	現代社会における高齢者問題について、人口構造、家族形態、地域社会等の変化などから理解を深める。また、高齢者福祉制度の発展過程について理解することをねらいとする。さらに、高齢者福祉の理念・目的を押さえつつ、相談援助活動に必要なとなる高齢者福祉ニーズ・介護需要に対応する法制度について理解することをねらいとする。						
	到達目標	(1)高齢者の生活実態を多方面から理解する。 (2)高齢者福祉の発展過程を歴史展開から理解する。 (3)高齢者の生活や支援に関する法律・制度を理解する。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】高齢者の社会的理解を定義とイメージ、家族と社会関係、社会参加と生きがい、安全と差別のキーワードから考え理解する。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。						A、K
	第2回	【テーマ】現代社会と高齢者問題1 【計画内容】高齢者の生活実態について、生涯発達の意味、人生と社会変動、死とスピリチュアリティ等から理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、K
	第3回	【テーマ】現代社会と高齢者問題2 【計画内容】高齢者を取り巻く社会情勢について、少子高齢社会の現状やその原因、地域間格差をキーワードにして、国内外の状況を理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、K
	第4回	【テーマ】現代社会と高齢者問題3 【計画内容】高齢者の暮らしと福祉及び介護需要について、住居や居住条件をめぐる変化、産業別従事者の推移、就労の実態から理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、K
	第5回	【テーマ】高齢者と家族 【計画内容】高齢者介護と家族の関係について、ライフサイクルの変化、扶養に関する変化から介護の問題と家族関係の変化について理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、K
	第6回	【テーマ】高齢者の理解 【計画内容】高齢者の身体・精神的特性について、加齢に伴う身体機能の変化、老化の指標（外面、内面）、心理的な特徴と心の病気から理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、K
	第7回	【テーマ】高齢者福祉の発展過程1 【計画内容】老人福祉法制定前の歴史について、古代の養老律令から四箇院、恤救規則といった制度とその背景を考えることにより理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、K
	第8回	【テーマ】高齢者福祉の発展過程2 【計画内容】老人福祉法制定以降の歴史 昭和40年代から60年代、平成元年から7年、平成7年から12年の年代ごとの特徴から理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、K
	第9回	【テーマ】高齢期の諸問題と生活ニーズ1 【計画内容】高齢者を取り巻く諸問題の中から、特に健康問題、介護問題、老老介護、認知症の問題を中心に理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、K
	第10回	【テーマ】高齢期の諸問題と生活ニーズ2 【計画内容】高齢者の住まいと環境、就労・雇用・収入など所得状況、貯蓄の分布、生活保護、生活意識から理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、K
	第11回	【テーマ】高齢者の法制度1 【計画内容】老人福祉法の概要について、成立の経緯、構成、総則の内容、福祉の措置、老人福祉計画、有料老人ホームについて理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、K
	第12回	【テーマ】高齢者の法制度2 【計画内容】高齢者の医療制度の概要について、成立の経緯、背景、主な内容、これからの課題について理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、K
	第13回	【テーマ】高齢者の法制度3 【計画内容】介護保険法の概要について、介護保険制度の全体像、目的と理念、改正の背景と方向性、保険財政について理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、K
	第14回	【テーマ】高齢者の法制度4 【計画内容】関連諸施策の概要について、高齢者虐待防止法、バリアフリー法の内容、高齢者の居住の安定確保に関する法律等について理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、K
	第15回	【テーマ】高齢者保健福祉制度の課題（まとめ） 【計画内容】高齢者保健福祉制度における高齢者支援の課題について、第11回から14回以外の制度施策（権利擁護・成年後見制度等）について理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、K
テキスト		講義時に説明します						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			70%		30%		
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		〔健〕社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必						
そ の 他		課題等に対するフィードバックは、随時、授業内において行う。						

科 目 名				高齢者福祉論Ⅰ		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名				若狭 重克					
授 業 の 目 的		ねらい 現代社会における高齢者問題について、人口構造、家族形態、地域社会等の変化などから理解を深める。また、高齢者福祉制度の発展過程について理解することをねらいとする。さらに、高齢者福祉の理念・目的を押さえつつ、相談援助活動に必要なとなる高齢者福祉ニーズ・介護需要に対応する法制度について理解することをねらいとする。							
		到達目標 (1)高齢者の生活実態を多方面から理解する。 (2)高齢者福祉の発展過程を歴史展開から理解する。 (3)高齢者の生活や支援に関する法律・制度を理解する。							
授 業 の 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】 高齢者の社会的理解を定義とイメージ、家族と社会関係、社会参加と生きがい、安全と差別のキーワードから考え理解する。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。							A、K
	第2回	【テーマ】現代社会と高齢者問題1 【計画内容】 高齢者の生活実態について、生涯発達の意味、人生と社会変動、死とスピリチュアリティ等から理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A、K
	第3回	【テーマ】現代社会と高齢者問題2 【計画内容】 高齢者を取り巻く社会情勢について、少子高齢社会の現状やその原因、地域間格差をキーワードにして、国内外の状況を理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A、K
	第4回	【テーマ】現代社会と高齢者問題3 【計画内容】 高齢者の暮らしと福祉及び介護需要について、住居や居住条件をめぐる変化、産業別従事者の推移、就労の実態から理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A、K
	第5回	【テーマ】高齢者と家族 【計画内容】 高齢者介護と家族の関係について、ライフサイクルの変化、扶養に関する変化から介護の問題と家族関係の変化について理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A、K
	第6回	【テーマ】高齢者の理解 【計画内容】 高齢者の身体・精神的特性について、加齢に伴う身体機能の変化、老化の指標(外面、内面)、心理的な特徴と心の病気から理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A、K
	第7回	【テーマ】高齢者福祉の発展過程1 【計画内容】 老人福祉法制定前の歴史について、古代の養老律令から四箇院、恤救規則といった制度とその背景を考えることにより理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A、K
	第8回	【テーマ】高齢者福祉の発展過程2 【計画内容】 老人福祉法制定以降の歴史 昭和40年代から60年代、平成元年から7年、平成7年から12年の年代ごとの特徴から理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A、K
	第9回	【テーマ】高齢期の諸問題と生活ニーズ1 【計画内容】 高齢者を取り巻く諸問題の中から、特に健康問題、介護問題、老老介護、認知症の問題を中心に理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A、K
	第10回	【テーマ】高齢期の諸問題と生活ニーズ2 【計画内容】 高齢者の住まいと環境、就労・雇用・収入など所得状況、貯蓄の分布、生活保護、生活意識から理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A、K
	第11回	【テーマ】高齢者の法制度1 【計画内容】 老人福祉法の概要について、成立の経緯、構成、総則の内容、福祉の措置、老人福祉計画、有料老人ホームについて理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A、K
	第12回	【テーマ】高齢者の法制度2 【計画内容】 高齢者の医療制度の概要について、成立の経緯、背景、主な内容、これからの課題について理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A、K
	第13回	【テーマ】高齢者の法制度3 【計画内容】 介護保険法の概要について、介護保険制度の全体像、目的と理念、改正の背景と方向性、保険財政について理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A、K
	第14回	【テーマ】高齢者の法制度4 【計画内容】 関連諸施策の概要について、高齢者虐待防止法、バリアフリー法の内容、高齢者の居住の安定確保に関する法律等について理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A、K
	第15回	【テーマ】高齢者保健福祉制度の課題(まとめ) 【計画内容】 高齢者保健福祉制度における高齢者支援の課題について、第11回から14回以外の制度施策(権利擁護・成年後見制度等)について理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A、K
テキスト		講義時に説明します							
参 考 書		講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
		配分			70%		30%		
補 足									
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。							
資 格		[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必							
そ の 他		課題等に対するフィードバックは、随時、授業内において行う。							

科 目 名		児童・家庭福祉論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		小松 留美子					
授 業 の 目 的	ねらい	①児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要(子育て、一人親家庭、児童虐待及び家庭内暴力(D.V)の実態を含む。)について理解する。 ②児童・家庭福祉制度の発展過程について理解する。 ③児童の権利について理解する。 ④相談援助活動において必要となる児童・家庭福祉制度や児童・家庭福祉に係る他の法制度について理解する。					
	到達目標	(1)児童・家庭福祉に関する基礎知識を習得する。 (2)現代社会と児童・家庭福祉の問題について理解する。 (3)将来の担い手として、子どもと家庭を取り巻く課題及び今後の展望について自らの意見を述べることができる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容、講義の進め方、評価等について説明する。児童家庭福祉を学ぶ意義を考える。 【準備学習の内容】シラバスの内容を確認しておくこと。					A、G
	第2回	【テーマ】現代の児童家庭福祉 【計画内容】子どもを取り巻く環境の変化について考え、子どもの貧困など子どもと家庭を取り巻く諸問題について理解を深める。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。					A、G、H
	第3回	【テーマ】児童の定義と権利 【計画内容】子どもの権利について理解を深め、子どもの定義を確認しながら、その変遷と現代の課題について考える。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。					A、G、H
	第4回	【テーマ】配偶者からの暴力とDV禁止法 【計画内容】ドメスティックバイオレンスの現状と法的な対応についての理解を深め、課題と今後の展望について考える。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。					A、G、H
	第5回	【テーマ】児童虐待の現状と取り組み 【計画内容】児童虐待について理解を深め、その対策について考えながら、法制度などを理解する。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。					A、G、H
	第6回	【テーマ】親子の関係と愛着について 【計画内容】親子の絆の大切さと影響について理解を深め、役割を理解する。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。					A、G、H
	第7回	【テーマ】子育て支援と健全育成事業 【計画内容】現代社会における子育ての実際と地域社会の変容について理解し、今後求められる課題について理解を深める。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。					A、G、H
	第8回	【テーマ】児童福祉施設の現状と課題 【計画内容】現代社会における児童福祉施設の現状と課題について理解し、今後求められる対策について考える。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。					A、G、H
	第9回	【テーマ】児童・家庭福祉を実施する行政機関と施設 【計画内容】社会的養護の種類について理解し、課題と展望について考える。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。					A、G、H
	第10回	【テーマ】児童相談所の役割と現状 【計画内容】児童相談の内容や関係機関との連携について理解を深め、現代の課題と今後の展望について考察する。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。					A、G、H
	第11回	【テーマ】児童・家庭福祉の歴史 【計画内容】これまで学習した諸制度などを踏まえながら、子ども家庭福祉の歴史について理解を深め、今日における課題について考察する。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。					A、G、H
	第12回	【テーマ】児童・家庭福祉の法制度と行政の仕組み 【計画内容】法制度の変遷と現状及び行政の仕組みについて理解を深める。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。					A、G、H
	第13回	【テーマ】児童・家庭福祉のネットワーク 【計画内容】児童・家庭福祉におけるネットワークの意義とその機能について理解を深める。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。					A、G、H
	第14回	【テーマ】児童・家庭福祉に関わる専門機関の役割と実際 【計画内容】専門機関および専門職の役割と現状を理解し、今後の課題について考える。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。					A、G、H
	第15回	【テーマ】児童家庭福祉に関わる基本的な知識の振り返り 【計画内容】児童家庭福祉にかかわる基本的な知識について復習し、理解を深める。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。					A、G
テキスト	木村容子/有村大士、2018年、『子ども家庭福祉[第2版]』、ミネルヴァ書房、9784623083169 伊藤嘉余子/澁谷昌史、2018年、『新版よくわかる子ども家庭福祉』、ミネルヴァ書房、9784623083176						
参 考 書	浅井春夫、2017年、『子ども家庭福祉[第3版]』、建帛社、9784767950587						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分			75%		25%	
	補 足			授業内レポート実施			
質問への対応	初回時に説明します。						
資 格	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必						
そ の 他	授業中の私語やスマートフォンの利用には厳粛に対応する。						

科 目 名	生活生理学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名	長屋 智美						
授 業 の 目 的	ねい	解剖学・生理学からの心身のメカニズムを知り、生活行為の成り立ちを理解する。その上で「生活行為の障害はなぜ起きるのか、それにどのように効果的で根拠のある対応すればいいか」について理解できる。					
	到達目標	(1)生活行為の生理的なしくみを理解することができる。 (2)精神面を含めたからだの仕組みを知り、必要な援助とその根拠を考えることができる。 (3)根拠をもって適した介護技術を行うことが、生活行為の自立を促す意味を説明することができる。					
授 業 の 画	第1回	【テーマ】 ころのしくみを理解する 【計画内容】 授業全体の目標の説明。ころのしくみについての基本を講義。脳や神経ところの関連を学習する。 【準備学習の内容】 指定テキストを事前に準備し、全体の目次に目を通しておく。					A
	第2回	【テーマ】 からだのしくみを理解する① 【計画内容】 解剖学的な視点からからだのしくみを学習する。 【準備学習の内容】 事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。					A
	第3回	【テーマ】 からだのしくみを理解する② 【計画内容】 からだの動きに関連するしくみを学習する。高齢者のからだの特徴について学習する。 【準備学習の内容】 事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。					A
	第4回	【テーマ】 身じたくに関連したしくみ 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。身じたくに関するころとからだの仕組みについて理解する。身じたくの援助に関わる観察のポイントや医療職との連携のポイントについて理解する。 【準備学習の内容】 事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。					A
	第5回	【テーマ】 移動に関連したしくみ① 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。移動に関するころとからだの仕組みについて理解する。 【準備学習の内容】 事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。					A
	第6回	【テーマ】 移動に関連したしくみ② 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。移動の援助に関わる観察のポイント、医療職との連携のポイントについて理解する。 【準備学習の内容】 事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。					A
	第7回	【テーマ】 食事のしくみ① 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。食事に関するころとからだのしくみについて理解する。 【準備学習の内容】 事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。					A
	第8回	【テーマ】 食事のしくみ② 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。食事の援助に関わる観察のポイント、医療職との連携のポイントについて理解する。 【準備学習の内容】 事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。					A
	第9回	【テーマ】 入浴・清潔保持に関連したしくみ① 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。入浴や清潔に関するころとからだのしくみについて理解する。 【準備学習の内容】 事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。					A
	第10回	【テーマ】 入浴・清潔保持に関連したしくみ② 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。入浴や清潔の援助に関わる観察のポイント、医療職との連携のポイントについて理解する。 【準備学習の内容】 事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。					A
	第11回	【テーマ】 排泄に関連したしくみ① 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。排泄に関するころとからだのしくみについて理解する。 【準備学習の内容】 事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。					A
	第12回	【テーマ】 排泄に関連したしくみ② 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。排泄の援助に関わる観察のポイント、医療職との連携のポイントについて理解する。 【準備学習の内容】 事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。					A
	第13回	【テーマ】 睡眠に関連したしくみ 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。睡眠に関するころとからだのしくみについて理解する。睡眠の援助に関わる観察のポイント、医療職との連携のポイントについて理解する。 【準備学習の内容】 事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。					A
	第14回	【テーマ】 ころとからだのしくみについてのまとめ 【計画内容】 これまでの授業内容の確認テスト。知識を活用して事例演習を実施。 【準備学習の内容】 授業で配付した資料やテキストで復習をする。					L
	第15回	【テーマ】 死にゆく人に関連したしくみ 【計画内容】 人生の最終段階とは。ACPやリビングウィルについて。看取りにおけるケアの目的について。医療職との連携について。 【準備学習の内容】 インターネット等でACP・リビングウィル・看取りなどのキーワードを検索して意味を理解しておく。					A
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会、2015年、『ころとからだのしくみ』、中央法規、9784805839430						
参 考 書	プリントを使用する。講義時に説明する。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		50%		20%	
補 足		理解度の確認テスト		授業振り返りシート			
質問への対応	授業中か終了後のいずれか						
資 格	[健]介護福祉士_必修						
そ の 他	テキストを購入・準備すること						

科目名		介護概論Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名		本間 美幸				
授業の目的	ねらい	本講義では、介護及び介護福祉の概念を様々な角度から学ぶことを目的とする。 介護福祉の意義・介護福祉士の役割と専門性を考え、介護福祉サービス利用者の尊厳の保持と自立支援の重要性を認識する。 介護福祉士の社会的な役割を、社会福祉・介護福祉の歴史を踏まえて学んでいく。地域福祉・社会福祉施設の取り組みや諸外国の事例などから、介護福祉士としての姿勢と利用者理解を深めていく。				
	到達目標	(1)介護福祉士を取り巻く状況や背景を、介護の歴史を通して理解し、社会情勢と関連付けて考えることができる。 (2)介護福祉の理念、介護福祉士の倫理について学ぶとともに、実践場面でどのように活かせるのかを理解する。				
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション：介護福祉の基本となる理念 【計画内容】15回の講義の全体像を説明します。導入として、介護福祉とは何か？生活支援の範囲は？など具体的に示しながら、尊厳の保持や自立支援という介護福祉の基本理念を学びます。 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく読んでおくこと。				A、H
	第2回	【テーマ】介護福祉の概念と歴史 【計画内容】介護福祉の成り立ちを概観し、介護福祉に関連する制度・社会情勢、対象者を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第2章Ⅰを読むこと。				A
	第3回	【テーマ】介護福祉士を取り巻く状況 【計画内容】介護福祉に関連する社会情勢と介護をめぐる諸課題を整理し、求められる介護福祉士像を考えます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第2章Ⅱを読むこと。				A
	第4回	【テーマ】介護のはたらきと基本視点 【計画内容】生活支援技術の意義を学び、観察をはじめとする基本視点を理解します。 【準備学習の内容】指定したテキストの第1章を読むこと。				A、H
	第5回	【テーマ】介護福祉士の役割と機能、それを支えるしくみ～介護福祉士制度 【計画内容】介護福祉士資格制度の成立過程、介護福祉士の役割と機能を学びます。さらに、施設や在宅、地域社会など様々な場面や状況における介護福祉士の役割と機能を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第2章Ⅲを読むこと。				A
	第6回	【テーマ】介護が必要な人と家族のための制度～介護保険制度 【計画内容】介護保険制度の概観を学び、制度における介護福祉士の役割を考えます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第3章Ⅰを読むこと。				A
	第7回	【テーマ】専門職団体の活動について 【計画内容】日本介護福祉士会の役割と機能を知り、専門職としてのあり方を学びます。 【準備学習の内容】事前に配付した資料を読んでくること。				A
	第8回	【テーマ】尊厳を支える介護 【計画内容】介護福祉の理念の基盤となる「尊厳」について、考えます。尊厳を支える介護とは何か、その実現のために必要な専門職としての資質を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第3章ⅡⅢを読むこと。				A、H
	第9回	【テーマ】ノーマライゼーションの視点とICFの考え方 【計画内容】ノーマライゼーションの理念を知り、ICFの基本的な考え方と介護福祉サービスへの活かし方を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第3章ⅢⅣを読むこと。				A
	第10回	【テーマ】自立に向けた介護～自立支援のための生活支援技術 【計画内容】日常生活における生活支援技術を介護サービス利用者の自立支援という視点で考えます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第3章Ⅳを読むこと。				A
	第11回	【テーマ】介護福祉士の専門性と個別ケア 【計画内容】介護福祉士の専門性とは何かを考えるとともに、個別ケアの実践方法としてのユニットケアを学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでくること。				A
	第12回	【テーマ】介護福祉士の倫理(1) 【計画内容】介護福祉の専門性と倫理を理解し、介護福祉士に求められる専門職としての態度を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第8章ⅠⅡを読むこと。				A
	第13回	【テーマ】介護福祉士の倫理(2) 【計画内容】介護福祉に関連する倫理的諸問題を取り上げ、介護福祉士に求められる倫理観について考えます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第8章Ⅲを読むこと。				A、H
	第14回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】講義全体の振り返りをし、学びの確認をします。 【準備学習の内容】テキストおよび講義のプリントを復習すること。				L
	第15回	【テーマ】介護福祉の課題と展望 【計画内容】わが国の介護福祉の状況と新たなサービスの展開について学び、その中で介護福祉士の可能性について考えます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第13章を読むこと。				A、H
テキスト		西村洋子編、2017年、『最新介護福祉全書第3巻 介護の基本』、メヂカルフレンド社、9784839231668 講義時にプリントを配付します				
参考書		適宜プリントに示します				
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度
	配分補足			40%		40%
						20%
						小テストなど
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。				
資格		〔健〕介護福祉士_必修、社会福祉主事_選必				
その他		自ら考え学ぶ姿勢と積極的な受講態度を期待します。 小テスト・課題は、次の授業時に返却し振り返りを行います。				

科 目 名	介護技術演習Ⅰ				授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名	藤原 素子							
授 業 の 目 的	ねらい	介護福祉の基本となる人間関係の形成、コミュニケーションについて学ぶ。利用者の生活場面で考えられるコミュニケーションを、人間関係形成の基本的視点から、また介護専門職の視点から考えていく。						
	到達目標	(1)人間関係形成の要素を考え、日常的なコミュニケーションのとり方を理解する。 (2)介護専門職としてコミュニケーションの方法を理解し、実践に活用する基盤を学ぶ。 (3)介護専門職に求められる観察・記録・報告を理解し、チームにおけるコミュニケーションを学ぶ。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明する。人と関わることの基本を述べる。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】コミュニケーションとは 介護技術の意味とコミュニケーション 【計画内容】介護技術の基本要素を説明し、コミュニケーションの重要性について考える。 【準備学習の内容】指定したテキストの第1章を読んでおくこと。						A
	第3回	【テーマ】介護におけるコミュニケーションの基本 【計画内容】人間関係形成の重要性を理解し、介護技術の基本要素としてコミュニケーションをとらえ、姿勢・方法を学ぶ。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A
	第4回	【テーマ】介護における関わりづくりの要素 様々なコミュニケーション手段の活用 【計画内容】言語的、非言語的要素を合わせてメッセージの受け止め方、伝え方を考える。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A
	第5回	【テーマ】心身の状況に応じたコミュニケーション(1) 【計画内容】高齢者の方、感覚機能に障害がある方とのコミュニケーション。 【準備学習の内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。						A、B
	第6回	【テーマ】心身の状況に応じたコミュニケーション(2) 【計画内容】運動機能障害のある方、知的障害のある方とのコミュニケーション。 【準備学習の内容】テキストにある指定した事例を読んでおくこと。						A、B
	第7回	【テーマ】心身の状況に応じたコミュニケーション(3) 【計画内容】認知症のある方とのコミュニケーション。認知症のある方自身の困難さを理解し、尊厳を守る関わり方の基本を学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。						A、B
	第8回	【テーマ】演習 事例による学習 【計画内容】事例に基づきグループディスカッションを行う。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						B、H
	第9回	【テーマ】介護における観察の意義 【計画内容】介護実践における観察の意義を理解し、コミュニケーションにおける観察の重要性を学ぶ。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。						A、B
	第10回	【テーマ】介護過程の理解 【計画内容】個人の生活理解と支援方法を探るため、観察とコミュニケーションの役割を理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントの示す予習課題に取り組むこと。						A
	第11回	【テーマ】介護における記録・報告の基本 【計画内容】記録・報告の原則を学び、介護専門職の役割を理解する。 【準備学習の内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。						A
	第12回	【テーマ】ケアチームにおける連携とコミュニケーション 【計画内容】利用者主体の生活支援のための他職種との連携と介護職チーム内のコミュニケーションについて述べる。 【準備学習の内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。						A
	第13回	【テーマ】介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 【計画内容】利用者家族との意思疎通をはかり、利用者主体の生活支援に結びつけることの重要性を学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。						A、B
	第14回	【テーマ】場面を想定した演習 ロールプレイによる学習 【計画内容】利用者に関わる姿勢・言葉かけを体験的に学習し、意見交換を行う。 【準備学習の内容】プリントの示す場面を想定し、検討しておくこと。						B、D
	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】講義、演習で学んだ内容を振り返り、実践での対応の仕方を考える。 【準備学習の内容】プリント、テキストを復習し、理解を深めておくこと。						A、B
テキスト	黒澤貞夫、2009年、『コミュニケーション技術』、建帛社、9784767933535							
参 考 書	介護福祉士養成講座編集委員会編、2016年、『コミュニケーション技術第3版』、中央法規、9784805853085 プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	50%		30%		20%		
	補足			課題提出・レポート				
質問への対応	初回講義時具体的に説明します。							
資 格	[健]介護福祉士_必修							
そ の 他								

講義要綱
SYLLABUS
生涯スポーツ学部 1 年次

2019年 4 月 発行
北翔大学・北翔大学短期大学部
〒069-8511 江別市文京台23番地
TEL (011) 386－8011
FAX (011) 387－1542

